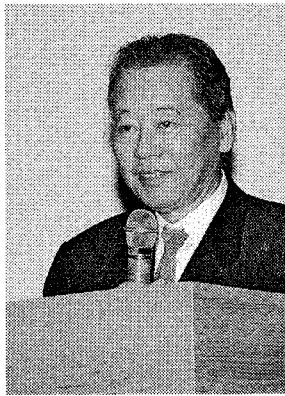


個性ある地域増やせ

おかやま
お塾

福武ベネッセ会長講演

地元で活躍する著名人らの講演を通し、郷土の未来を考える「第十八回おかやま適塾」が十二日、岡山市柳町の山陽新聞社さん太ホールで開かれ、ベネッセコーポレーション(岡山市南方)の福武總一郎会長兼CEOが「日本の現状と地



講演するベネッセコーポレーションの福武会長兼CEO

域づくり」と題し話し

た。福武氏は「個性のない町にしないためには、コミュニティを良くしようという思いを住民が持つべき。町づくりは為政者の責任だけではない」と指摘。その上で「この国を良くするには、個性と魅力ある地域を増やすこと。世界から注目される地域づくりを目指してほしい」と述べた。教育問題にも触れ「これから子どもたちには国際社会を生き抜く力をどうつけさせるかが重要なテーマ。英語力と世界に通用する技能が不可欠に

た。

福武氏は「個性のない町にしないためには、コミュニティを良くしようという思いを住民が持つべき。町づくりは為政者の責任だけではない」と指摘。その上で「この国を良くするには、個性と魅力ある地域を増やすこと。世界から注目される地域づくりを目指してほしい」と述べた。

なる」と強調した。おかやま適塾は毎月第二、第四水曜日(今月二十六日は除く)、産学官

の幅広い分野から講師を招いて開催している。(佐藤貴宏)

県政振り返り地域展望

おかやま
お塾

元県議の原氏講演

地元で活躍する著名人らの講演を通し、郷土の未来を考える「第十九回おかやま適塾」が九日、岡山市柳町の山陽新聞社さん太ホールであり、県議を十期務めて昨年引退した原寿男氏が「四十年間の長き議員経験を生かし岡山の展望を語る」と題して話した。原氏は県議の心構えについて「土俵の上で相撲をとるのと同じで、三百六十度から見られてい



おかやま適塾で講演する原元県議

る。力を抜いたら分かる」と強調。最もやりがいを感じたプロジェクトに吉備高原都市の建設を挙げ、「物事は五十年、百年の物差しで見なければならぬ」と説いた。今後の在り方が議論さ

れている倉敷チボリ公園に関しては「倉敷市にとつては、利益を生まなくても心の癒やしになる庭のようなもの。つぶせという声もあるが十分考えてほしい」とした。おかやま適塾は毎月第二、第四水曜日、幅広い分野から講師を招いて開いている。(長田憲司)

平成19年12月13日号

平成20年1月10日号

大手製造業誘致を

おかもやま塾
中川トマト銀社長講演

地元で活躍する著名人の低い人向け住宅ロー
の講演を通し、郷土の未来を考える「第二
十回おかもやま塾」が
二十三日、岡山市柳町
の山陽新聞社さん太ホ
ールで開かれ、トマト銀
行（同市番町）の中川隆
進社長が最近の経済情
勢などをテーマに講演し
た。

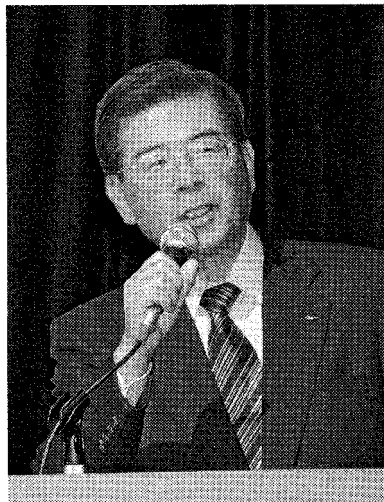
中川社長は米国のサブ
プライムローン（信用力
の低い人向け住宅ロー
ン）問題の損失拡大によ
る景気後退懸念が強まっ
ていることに触れ、「日
本の金融機関の損失は限
定的だが、世界的な金融
不安の広がりなど影響は
今後も続くだろう」と見
通した。

地場経済については
「JR岡山駅前地区に商
業施設の集積が進むな
ど、明るい動きもある。

地震の少なさといった岡
山の魅力をアピールし、
大手製造業を誘致できれ
ばもう一段の発展につな
がる」と話した。約百八
十人が聴いた。

おかもやま塾は毎月第
二、第四水曜日、産学官
の幅広い分野から講師を
招いて行っている。

（萩原聡）



講演するトマト銀行の中川社長

平成20年1月24日号

新興国から観光客を

ホテルオークラ 皆木社長が講演

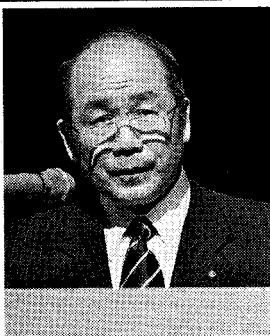
おかもやま塾

地元で活躍する著名人の動向と経済効果」と題
の講演を通し、郷土の
未来を考える「第二十
一回おかもやま塾」が十三
日、岡山市柳町の山陽新
聞社さん太ホールで開か
れ、ホテルオークラ岡山
（同市門田本町）の皆木
敬太郎社長が「ホテル産業
やインドから増えてい

皆木社長は国内を訪れ
る外国人観光客が二〇〇
七年は八百万人を超えた
ことに触れ、「四分の三
をアジア地域が占め、中
でも経済発展が続く中国

る」と説明した。

その上で「中国など新
興国の富裕層をいかに呼
び込めるかが今後の岡山
の観光産業の鍵を握る。
ホテル側もスイートル
ームを増やすなど、受
け入れ態勢を整える必要
がある」と話し
た。



講演するホテルオークラ岡山の
皆木社長

おかもやま塾
は毎月第二、第
四水曜日、産学
官の幅広い分野
から講師を招い
て行っている。
（大河原三恵）



平成20年2月14日号



講演する岡山県中小企業
団体中央会の中島会長

産学官で中小振興を

おかやま
塾 中島氏(県中央
会)が講演

地元で活躍する著名人らの講演を通し、郷土の未来を考える「第二十二回おかやま塾」が二十七日、岡山市柳町の山陽新聞社さん太ホールで開かれ、岡山県中小企業団体中央会(同市弓之町)の中島博会長(ナカシマプロペラ会長)が中小企業の振興策などをテーマに講演した。

約五十年前に中国を視察した際、現地のライバル企業が既に設計業務にコンピューターを導入し

ていたエピソードを紹介。世界との格差は国内では分らない。積極的に海外に出て、視野を広げることが必要」と指摘した。

中小企業の競争力強化については、「一社の力に限られているが、産学能になる。連携を深め、優れた製品開発につなげてほしい」と話した。約百四十人が聴いた。

おかやま塾は毎月第二、第四水曜日、産学官の幅広い分野から講師を招いて行っている。

(萩原聡)

平成20年2月28日号

魅力加え、まち再生

おかやま塾 榎村氏が講演

地元で活躍する著名人らの講演を通し、郷土の未来を考える「第二十三回おかやま塾」が十二日、岡山市柳町の山陽新聞社さん太ホールで開かれ、榎村徹設計室(倉敷市東町)の榎村徹代表が「『再生から修正へ』」と

題して講演した。

古民家再生で知られる榎村氏。自らが改修した同市美観地区の建物のスライドを上映し、古民家の魅力を説明した。「古いものに新しい魅力を加え、歴史をつなぐ作業が



古民家再生とまちづくりについて話す榎村氏

再生。若い人が住みたくなくなるような価値付けをすることで次世代につなげる」と話した。

その上で、「倉敷の街並みは古いものを重視しながら、時代の先端を吸収し変化してきた。日本が迎える成熟社会のモデルケースとなる可能性がある」と提言した。

おかやま塾は毎月第二、第四水曜日、産学官の幅広い分野から講師を招いて開催している。

(赤沢昌典)

平成20年3月13日号

誠実さ育てる教育を

おかやま
塾 森学芸館校長が講演

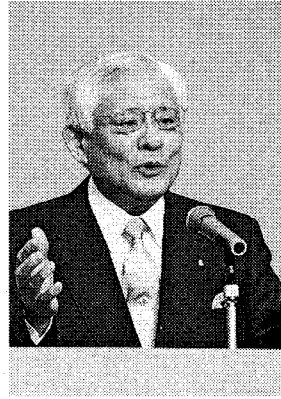
地元で活躍する著名人らの講演を通して郷土の未来を考える「第二十四回おかやま適塾」が二十

六日、岡山市柳町の山陽新聞社さん太ホールであり、学芸館高校の森靖喜校長が教育改革をテーマに話した。

戦後教育は欧米的な価値観に振り回されてきたと指摘。教育改革の方向は「日本の伝統文化を大切にし、日本人が本来持っているまじめさ、勤勉さ、誠実さを育てていくべき」とした。

子どもの能力を高めるには基礎、基本を何度も

平成20年 3月27日号



講演する森学芸館校長

(近藤秀孝)

いと説き、「自主性に任せるだけでなく、厳しい指導も必要だ」と強調した。

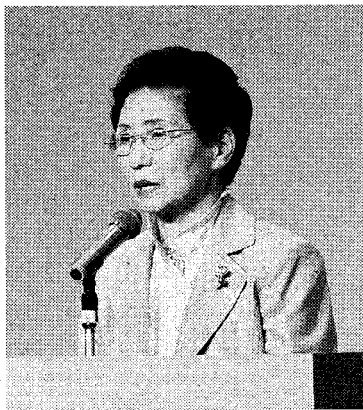
おかやま適塾は毎月第二、第四水曜日、産学官の幅広い分野から講師を招いて行っている。

愛をもって地域づくりを

岡山市
連合婦人会 佐藤会長が講演

おかやま適塾

地元で活躍する著名「塾」が九日、岡山市柳人らの講演を通して郷町の山陽新聞社さん太土の未来を考える「第一ホールであり、同市連二十五回おかやま適合婦人会の佐藤久子会



講演する岡山市連合婦人会の佐藤会長

長が「愛をもって地域づくりを」と題して話した。

く対応してきた」と会の歴史を紹介。行政と市民協働のまちづくり

佐藤氏が求められているとした上で、「地域の隅から隅までを知っているのが婦人会。無償の愛で少しでも地域に良くなっていると思いがらまちづくりに貢献していきたい」とした。

おかやま適塾は毎月第二、第四水曜日、産学官の幅広い分野から講師を招いて行っている。(荻田知弥)



平成20年 4月10日号

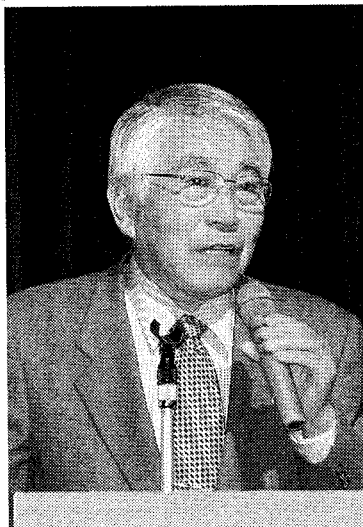
地域の特色生かそう

おかやま適塾 西本氏が講演

地元で活躍する著名人らの講演を通し、郷土の未来を考える「第二十六回おかやま適塾」が二十三日、岡山市柳町の山陽新聞社さん太ホールで開かれ、県商工会連合会（同市弓之町）の西本和馬会

長が地域振興をテーマに話した。県内商工会を二〇〇四年以降の合併で八十二から二十に集約し、それぞれ中長期の活動指針をまとめたことを紹介。「地域活性化に向け、各商工会は今後

講演する県商工会連合会の西本会長



リーダーシップを発揮しなければならぬ」と強調した。

国が本年度から進めている農商工連携について、「農林漁業など

あらゆる団体と手を組み、地域の特色を生かした取り組みを進めた」と述べた。おかやま適塾は毎月第二、第四水曜日、産学官の幅広い分野から講師を招いて行っている。（萩原聡）

平成20年4月24日号



医師としての経験を踏まえ、講演する赤枝氏



「病氣治すのは患者の生命力」

おかやま適塾

赤枝氏が講演

地域で活躍する著名人の講演を通して郷土の未来を考える「第二

十七回おかやま適塾

が十四日、岡山市柳町、

山陽新聞社さん太ホールであり、心臓病セン

ター榊原病

院顧問でエ

ッセイスト

の赤枝郁郎

氏が「生の

医学 終末

の医学」と題して話し

た。

医師として五十年を

超す経験を踏まえ、「医

者は患者を全力投球で

助ける努力をするが、

病気を治すのは患者の

生命力。医者は手伝い

をするだけ」と持論を

紹介。親交のあった僧

侶との思い出を交え、「いつ最期を迎えるかは誰にも分からないが、常に『感謝』の言葉を忘れないことが大切」と呼び掛けた。おかやま適塾は、産学官の幅広い分野から講師を招き、毎月第一、四水曜日に開催している。(伊丹友香)

平成20年5月15日号

技術の差別化重要

ま塾
技術の差別化重要
おかやま適塾
お通 鵜飼日銀支店長が講演

地元で活躍する著名

人らの講演を通して

郷土の未来を考える

「第二十八回おかや

ま適塾」が二十八日、

岡山市柳町の山陽新

聞社さん太ホールで開

かれ、日本銀行岡山

支店(岡山市丸の内)

の鵜飼博史支店長が

「グローバル経済の中

の岡山県」と題して話



岡山のグローバル化をテーマに話す鵜飼支店長

県内のグローバル化

の現状について、中小

企業の海外進出が大

企業に追隨する形で進

んでいる状況や、外

国人観光客の誘致など

では遅れている点を

述べた。

地場企業が今後伸び

ていく上では「ものづ

くり技術の差別化や岡

山らしさを発展させ、

競争力につなげるこ

が重要。企業が創意工

夫するのはもちろん、

行政などのサポートも

欠かせない」と強調し

た。

おかやま適塾は毎月

第二、第四水曜日、産

学官の幅広い分野から

講師を招いて開催して

いる。(小原一穂)

平成20年5月29日号

「経営指針」を紹介

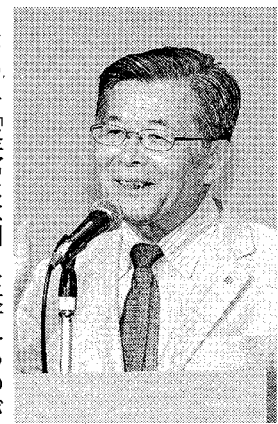
おかやま適塾 土井氏が講演

地元で活躍する著名

人らの講演を通し、郷土の未来を考える「第二十九回おかやま適塾」が十一日、岡山市柳町の山陽新聞社さん太ホールで開かれ、県中小企業家同友会（同市富田）の土井章弘代表理事（岡山旭東病院長）が同会で普及を進める「経営指針」を紹介した。

ーマに話した。

会員企業が経営の理念や方針、計画をまとめた経営指針を策定していることを紹介。病院への導入を決めた約二十年前には『もうけ主義』との反発もあったが、職員とともに作る中で、うまくやる気を引き出せた」と強調した。



講演する県中小企業家同友会の土井代表理事

平成20年6月12日号

さらに「経営とは利潤ではなく理念を追求すること」と指摘した上で「社員一人一人に理念が浸透し、職場を晴れ舞台と思えるようになれば素晴らしい会社になる。社員が働きがいを感じる環境

をを整えるのが経営者の役割」と述べた。約百十人が聴いた。

（萩原聡）

民謡で伝統見直しを

おかやま適塾 住宅氏が講演

地元で活躍する著名人らの講演を通し、郷土の未来を考える「第三十回おかやま適塾」が二十五日、岡山市柳町、山陽新聞社さん太ホールで開かれた。ちくわ笛奏者として知られる、桃太郎のからく



ちくわ笛を手に講演する桃太郎のからくり博物館の住宅館長

平成20年6月26日号

り博物館（倉敷市本町）の住宅正人館長が「うたで探る岡山の文化」と題して話した。二十年以上にわたる取り組みである岡山の民謡研究の成果を、見事な歌唱とちくわ笛演奏を交えて披露。備前

の田植えや美作北部の茶もみなどで歌われる労働歌を紹介し「民謡には作業に必要な力加減やリズムが織り込まれており、人々は歌う

その上で、「伝統が失われつつある今、民謡を見直し、その背後にある郷土の人々の営みを見直してみたい」と呼び掛けた。

（大石哲也）





聴くことの大切さを訴えた森田さん

「聴く」が交流に必要

おかやま適塾 森田さん講演

地元で活躍する著名ホールで開かれた。生人らの講演を通し、郷涯学習開発財団認定士の未来を考える「第31回おかやま適塾」が九日、岡山市柳町の山陽新聞社さん太ユニケーションをめぐり、

して」と題して話し、約六十人が聴き入った。

森田さんはテレビやラジオ番組のキャスター、DJを長年務めた経験に基づき「コミュニケーションに必要な要素は、話すことよりも『聴く』こと」と話し、

相手の言葉にきちんと耳を傾け、気持ちを受け止めることの大切さを強調した。

さらに「しっかりと聴くことが、相手に合った会話のスピードや間につながる」と指摘した上で、「相手の立場

に立って話が聴けているかどうか、自分自身を振り返ってみることも必要」と呼び掛けた。

(角南邦彦)

平成20年7月10日号

チボリ・アウトレットモール案に自信 地代支援粘り強く要求

ジ社・坂口社長、おかやま適塾で講演

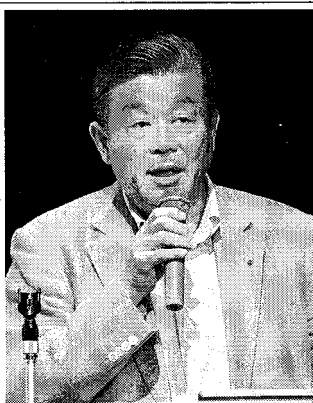
倉敷チボリ公園の運営問題で、チボリ・ジヤパン社の坂口正行社長は二十三日、公園部分を縮小してアウトレットモールを導入する自らの案について、「将来の姿として自信を持っている」とし、八月

上旬の取締役会に向け、岡山市と倉敷市に

粘り強く地代支援を求め、いく考えを示した。

岡山市柳町の山陽新聞社さん太ホールで開かれた、地元各界で活躍する人を講師に招く「おかやま適塾」で講演した。

坂口社長は「アウトレットモールは、広い



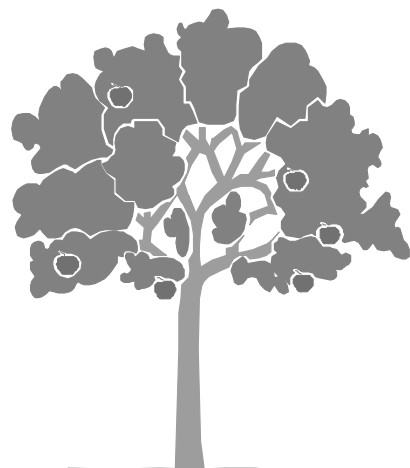
おかやま適塾で講演する坂口社長

駅前ににぎわいが戻り、千人規模の雇用も生まれる」とメリットを強調。最大の課題は、縮小して維持する公園部分の地代負担とし、「二億円あれば維持でき、

十二月末までで地代支援を打ち切る方針を崩さない県に対しては、「現場の思いを無視している」と批判。

「県の事業としてスタートした公園であり、やめるのなら県の責任で事業を終える」と宣言するべき」とした。

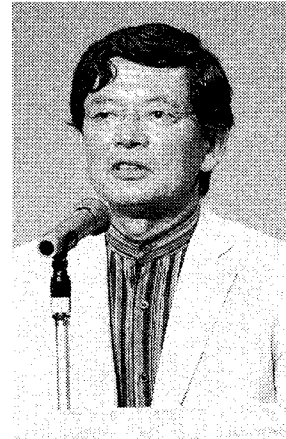
(チボリ問題取材班)



平成20年7月24日号

地域づくりに情熱を

おかやま適塾 丹羽氏が講演



地域づくりをテーマに話す丹羽代表取締役

平成20年 8月28日号

地元で活躍する著名人らの講演を通し、郷土の未来を考える「第三十三回おかやま適塾」が二十七日、岡山市柳町の山陽新聞社さん太ホールで開かれ、丹羽建築設計事務所（同市内山下）の丹羽英喜代表取締役が地域づくりをテーマに話した。

まちづくり関連のNPO法人を設立し、京橋朝市など同市中心部の活性化に向けた活動

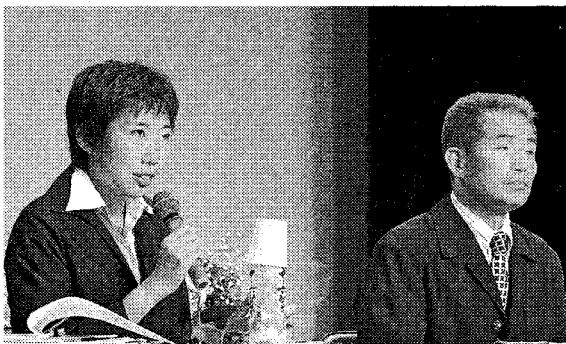
を続ける丹羽氏は「地域の魅力を高めるには、自分たちがまちをつくるという情熱が欠かせない」と強調した。後樂園（同市）や閑谷学校（備前市）といった岡山藩郡代津田永忠が手掛けた遺産群の世界遺産登録を目指した県などの活動にも触れ「今後こうした取り組みを後押しし、岡山を世界に誇れるまちにしたい」と述べた。（鳥越謙一）

ロンドン五輪 出場に意欲

天満屋・中村選手ら講演

おかやま適塾

地元で活躍する著名人らの講演を通し、郷



北京五輪を振り返る中村友梨香選手（左）。右は武富豊監督

土の未来を考える「第三十四回おかやま適塾」

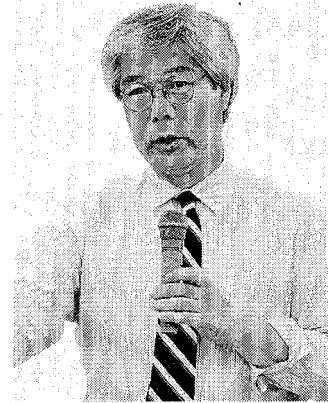
塾」が十日、岡山市柳町の山陽新聞社さん太ホールであり、八月の北京五輪女子マラソンに出場した天満屋女子陸上部の中村友梨香選手と武富豊監督が現在の心境など語った。十三位で初の大舞台を駆け抜けた中村選手は「自分の力を全部出し切れず悔しい気持ちがある」とした上で、「四年後にもう一度チャレンジできよう一年一年強くなっていきたい」と二〇一二年ロンドン五輪出場に強い意欲を示した。

三大会連続で五輪代表を送り出した武富監督は、規則正しい生活がマラソン選手に不可欠な「心の強さにつながる」と指摘。選手の個性や特長を生かした練習メニューの作成など自らの指導法に触れた。このほか、中村選手と武富監督の出会いなど興味深い話もあり、約八十人が熱心に聴き入った。（岸康宏）

平成20年 9月11日号

会話で街育てよう

おかやま
塾 浜家氏が講演



会話の重要性を訴えた
浜家氏

地域で活躍している
適塾」が二十四日、岡
著名人の講演を通じ、
郷土づくりを考える
九階会議室で開かれ
「第三十五回おかやま
た。山陽放送ラジオパ

「ソナリティーで倉敷
芸術科学大客員教授の
浜家輝雄氏が会話の持
つ力について話した。
横浜市に育ち、同放
送入社と同時に岡山へ
拠点を移した浜家氏。
すぐに引き込まれた後
楽園の奥深い魅力と、
最初に覚えた方言「岡
山やこう」が醸すマ
イナスイメージのギャ
ップを例に、「面白い
ものが日常的すぎて見
えていないのでは」。
続いて「岡山の良さ
を探そう」と三十年以

上続けてきた豊富な取
材経験から「人と人が
出会い、話す「交差点」
で文化は生まれると確
信した」と力を込め、
「日本のど真ん中は東
京でなく、ここ。その

平成20年9月25日号

意識を大事に言葉を掛「ずなを深めることが街た。
け合い、住民同士がき」を育てる」と呼び掛け
た。（平井美佳）

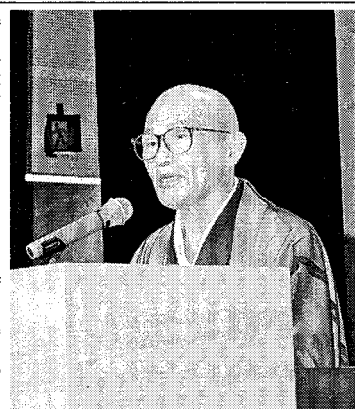
曹源寺輩出の僧貢献 おかやま適塾 原田住職が講演

地元で活躍する著名
人らの講演を通じ、郷
土の未来を考える「第
三十三回おかやま適
塾」が八日、岡山市柳
から明治期における仏

教の再興をテーマに講
演した。

原田住職は、曹源寺
が江戸から明治期にか
け、弟子教育に力を入
れ何人も名僧を輩出
してきたことを紹介。

「次の世代にいかによ
い人材を残すかを考え
たのだろう。それは社



仏教の再興をテーマに話す
原田住職

会に貢献していくとい
う日本の仏教の教えそ
のものだった」と強調
した。

明治維新後の一時
期、仏教が廃れた歴史
を指摘した上で、「新
政府には『仏教は外か
けにより仏教再興に
つながった」と述べた。
（井上光悦）

平成20年10月9日号

食料自給率向上を

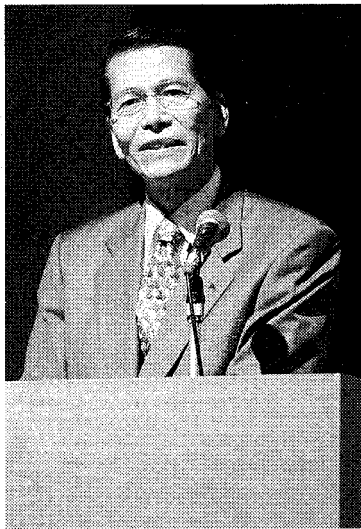
県農協中央会の村上会長

おかやま
適塾

地元で活躍する著名
オーストラリ

オーストラリアの干

「第三十七回おかやま
適塾」が二十二日、岡
山市柳町の山陽新聞社
さん太ホールで開か
れ、岡山県農協中央会
（同市磨屋町）の村上
進通会長が「田園を守
る・農業を守る」をメ



ばつなどで世界的に穀物が高騰する中、日本の食料自給率（カロリーベース）は先進国中、最低水準の40%に低迷している現状を説明。

「輸入が途切れたら、日本は立ちゆかなくなる。国家安全保障の観点からも自給率の向上が不可欠」と強調した。

然守ってほしいとの
メッセージが込められ
ている。しっかり受け
止めなければならな
い」と訴えた。

（森元俊一朗）

(森元俊一朗)

写真家の故中村昭夫氏が撮影した棚田やカキいかだなど県内の農山漁村の写真十三枚も紹介。「岡山の素晴らしい田園や自食料自給率の向上などを訴えた村上会長

えた村上会長

平成20年10月23日号



変貌する大学の姿

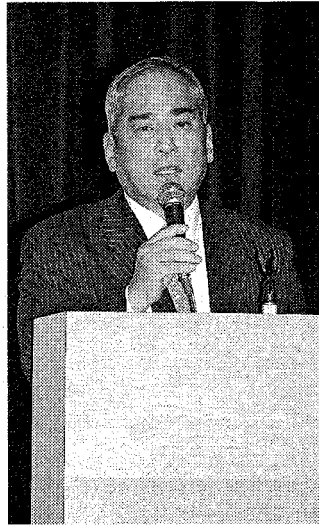
おかやま適塾

井尻岡山商科大学長が講演

地元で活躍する著名人らの講演を通し、郷土の未来を考える「第三十八回おかやま適塾」が十二日、岡山市柳町の山陽新聞社さん太ホールで開かれ、岡山商科大（同市津島京町）の井尻昭夫学長が「変貌する大学の姿」

をテーマに講演した。井尻学長は、機械工学や建築など伝統的な学部・学科への入学志願者数が年々減る一方、保健衛生の新設学科やバイオ・生命科学を扱う生物学といった発展著しい分野への志願者は増えている点を指摘。「社会の変貌とともに大学に入学する

人のニーズも変わってくる」と強調した。大学のあるべき姿については「外の情報を

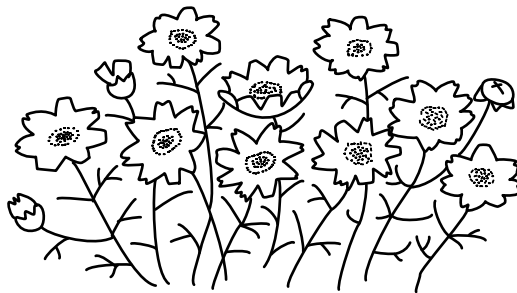


変貌する大学をテーマに講演する井尻学長

吸収し、組織の中から情報を吐き出す。変化する社会と『呼吸』しながら人材を育成する機関でなくてはならない」と述べた。

（久万真毅）

平成20年11月13日号

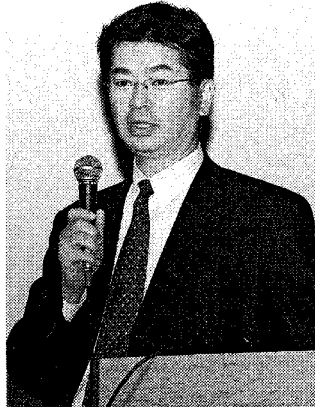


ICTで活性化を

おかやま
塾 小林氏(NTT)
西日本 講演

地元で活躍する著名
人らの講演を通じて、

郷土の未来を考える
「第三十九回おかやま
塾」が二十六日、岡
山市柳町の山陽新聞社
さん太ホールで開か
れ、NTT西日本(大
阪)サービスマネジメ
ント部長で前岡山支店
長の小林充佳氏が、I



次世代ネットワーク
の活用などを訴えた
小林氏

CT(情報通信技術)
を活用した県の活性化
をテーマに話した。
津山市出身で県内で
二度勤務した小林氏

は、書籍や、社内で行
ったアンケートなどの
データを基に「岡山県
は特徴が少なく印象が
薄い。県民は知識レベ

ルが高く革新的だが宣
伝下手」と分析した。
さらに「光ケーブル
ネットワークの整備が
進んだ全国有数の県」
とした上で「NTTの
次世代ネットワーク
(NGN)を使った放
送・通信システムに、
革新的なアイデアを加
えれば、新ビジネスや
刺激ある生活を創出で
きる」などと訴えた。

約二百人が聴いた。

(有国由花)

平成20年11月27日号

個人の国際化を

片山 岡山外語
学院 院長が講演

おかやま
塾 お適



多文化社会をテーマに
講演する片山学院長

地元で活躍する著名人らの講演を通じて地域の未来を考える「第一に親切にしたり、あい

地元で活躍する著名人らの講演を通じて地域の未来を考える「第一に親切にしたり、あい

片山学院長は、県内の外国人登録者数が約二万三千人になることなどを紹介し「少子高齢化が進むと、労働力確保のため今後さらに外国人は増えるだろう」と指摘した。

平成20年12月11日号

さつをしてほし」と呼び掛けた。

(内田光祐)

「戦う姿勢見せる」

ファジ監督らがシンポ

おかやま
塾 お適

地元で活躍する著名人らの考えを通じて、郷土の未来を探る「第41

地元で活躍する著名人らの考えを通じて、郷土の未来を探る「第41回おかやま適塾」が14日、岡山市柳町の山陽新聞社さん太ホールで新聞社さん太ホールであった。今回は「新春スペシャル」と題したシンポジウムで、Jリーグ2部(J2)へ昇格したファジアーノ岡山の木村正明社長らが微するクラブに育てたクラブの活動方針などい一念でやってきた」

熱く語った。

パネリストは木村社長のほか、手塚聡監督、木谷忠義岡山商工会議所副会頭、ボランティア代表の梶原いづみさんの4人。約100人が聴き入った。

とかじ取り役としての思いを吐露し、木谷副会頭は「行政は限られた予算を集中投資し、岡山が一つにまとまる核にするべき」とし、ファジアーノへの一層の支援を呼び掛けた。

手塚監督は「90分間あきらめず戦う姿勢を見せるのが最低限の仕事」と決意を述べ、攻守にひたむきなスタイルで強敵に挑む考えを示した。

(平野裕久)



活動方針など話すファジアーノ岡山の
木村正明社長(左から2人目)ら

平成21年1月15日号

地方で景気刺激策を

おかもやま 塾
元赤坂町長が講演

地元で活躍する著名人らの講演を通じて地域の未来を考える「第四十二回おかもやま塾」(馬場勉塾長)が二十八日、岡山市柳町の山陽新聞社さん太ホールで開かれ、旧赤坂町(現赤磐市)の元町長の難波勉氏が「原点から見た地域経済と今後の動向」と題して講演した。

地元で活躍する著名人らの講演を通じて地域の未来を考える「第四十二回おかもやま塾」(馬場勉塾長)が二十八日、岡山市柳町の山陽新聞社さん太ホールで開かれ、旧赤坂町(現赤磐市)の元町長の難波勉氏が「原点から見た地域経済と今後の動向」と題して講演した。

「地域を活性化させるには、単に工場を誘致するだけでなく、地元の人が働き、消費をして、地域内でお金を循環させる必要がある」と指摘し

また「国の景気刺激策を地方に向かわせるべきだ」とし、「地方の山林や水田は国土を災害から守る役割を果たしている。第一次産業を活気づけ、雇用を生み出す政策を打ち出してほしい」と求めた。

(長田憲司)



地域経済の活性化策について話す難波元赤坂町長

平成21年1月29日号

暴力団の排除を

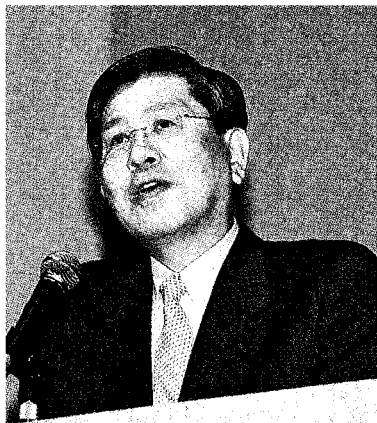
暴 追
センター 皆木氏が講演

おかもやま 塾

地元で活躍する著名人らの講演を通じて地域の未来を考える「第四十三回おかもやま塾」が二十五日、岡山市柳町の山陽新聞社さん太ホールであり、県暴力追放運動推進センター(同市厚生町)の皆木英也専務理事が暴力団の最新情勢などを語った。

皆木専務理事は、二〇〇八年中に同センターに寄せられた不当

要求などに関する相談のうち約七割が、相手の素性が分からなかったことを紹介。「暴力団がNPO法人を名乗るなど潜在化が進



暴力団情勢について語る皆木専務理事

んでいる。誰がどこで被害に遭うかわからない」と警鐘を鳴らした。

暴力団による恐喝の手口を紹介するビデオ上映もあり、「推進センターや警察、弁護士、市民がスクラムを組み、暴力団排除の仕組みをつくることが重要」と呼び掛けた。

(松島健)

平成21年2月26日号

奉仕の精神大事に

おかやま
塾 黒住副教主が講演



地元で活動する著名 柳町の山陽新聞社さん
人らの講演を通じて地 太ホールであり、黒住
域の未来を考える「第 教（本部・同市尾上）
四十四回おかやま塾の黒住宗道副教主（四〇
塾」が十一日、岡山市が「元を大事に、心活

講演する黒住副教主

「かして」と題し講演し
た。

黒住副教主は黒住教
の由来を交えながら、
日本人の伝統的な宗教
観について紹介。「か
つては太陽をはじめ、
身の回りの自然を大切
にしていた。こうした
感謝の気持ちをもち続
けなければならぬ」と
話した。

また、NGO（非政
府組織）活動に参加し
国際貢献に取り組んで
いる黒住副教主は「他
者のために行うこと

自分自身の喜びにもつ
ながる。奉仕の精神を
大事にしてほしい」と
訴えた。（内田光祐）

平成21年3月12日号

来訪者増へ努力を

おかやま
塾 日航支店長が講演



講演する西支店長

地元で活動する著名
人らの講演を通じて地
域の未来を考える「第
四十五回おかやま塾
塾」が二十五日、岡山
市柳町の山陽新聞社さ
ん太ホールであり、日
本航空岡山支店（同所）
の西節哉支店長（五二）が

「航空会社と地域のつ
ながり」と題し講演し
た。
西支店長は二〇〇二
年に開設した岡山―東
京線について「維持、
拡張のためには、岡山
を出発する方だけでは

なく来訪者を増やす努
力も必要」と指摘。観
光面で岡山県には多く
の「のりしろ」があり、
それらを生かすことで
人を呼び込むことがで
きると強調した。

また、県の発展は陸
海、空の基盤整備にあ
るとし「陸海空は人と
人、物と物、文化や芸
術をつないでおり、空
の役割を担う航空会社
として、そのつながり
を大切にしたい。皆さ
んも県民の宝である岡
山空港を大事に育てて
ほしい」と呼び掛けた。
（玉川貢広）

平成21年3月26日号

ま塾
やか
お通

「民間支えた福祉」

高粱学園 加計理事長講演

地元で活躍する著名人らの講演を通し、郷土の未来を考える「第...」が二十三日、岡山市北区柳町の山陽新聞社さん太ホールで開かれ、学校法人高粱学園（高粱市伊賀町）の加計美也子理事長が「高粱市をめぐるボランティアズム」をテーマに講演した。

加計理事長は高粱と深いつながりのある石



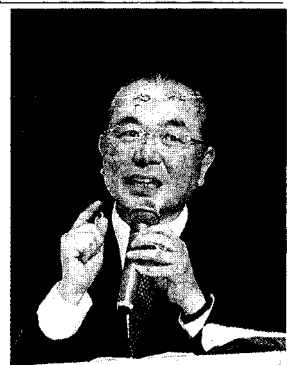
講演する加計理事長

が強い。だが有償でも無償でもボランティアの価値は同じ。この考え方が浸透すればボランティアはさらに活性化し、福祉水準などの向上につながる」との考えを示した。

（洞井宏太）

平成21年4月23日号

外貨へ分散投資を



おかやま適塾で話す野村ホールディングスの池上氏

野村H.D 池上氏 適塾で講演 岡

著名人らの講演を通し、地域を考える「第...」が二十三日、岡山市北区柳町の山陽新聞社さん太ホールで開かれ、野村ホールディングス（東京）CC推進室の池上浩一シニア・コミュニケーション・オフィサーが「グローバル化する世界 環境変化と資産運用」と題し講演した。

池上氏は各種データを示しながら「二十一世紀前半はアジアの時代で主役はインドと中国。長期的にはドル安や円安、アジア関連の株高が進む」と分析。円安局面で起こる資産価値の下落を回避する

（佐藤貴宏）

平成21年5月14日号

旅の醍醐味知って

旅館御園専務 適塾で講演 岡山



旅をテーマに講演する
今井さん

地元で活躍する著名館御園の今井麻紀子人らの講演を通し、郷土の未来を考える「第（五）こが「毎日、素敵四十九回おかやま適塾」が二十七日、岡山市北区柳町の山陽新聞社さん太ホールで開かれ、倉敷市老松町の「旅外は宿泊場所を決めな

いことを紹介。「人生と同じで、決められたコースではなく何が起ころか分からないのが旅の醍醐味」とし、「その場その場の判断が必要でくたくたになるが、それまでと違った自分に出会える」と話した。

倉敷市内を訪れるフランス人観光客が表通りではなく、生活の息遣いがする路地を歩くのを好むとも述べ、「日本の良さを知らうとする好奇心が強い。異文化に触れるという旅の楽しみ方を知っている」と指摘した。（木村俊雄）

平成21年5月28日号

「企業の連携必要」

政策投資銀 中村所長が講演
おかやま 適塾



「風の人、の目で地域
づくりを語る中村所長

地元で活躍する著名陽新聞社さん太ホール人らの講演を通し地域（岡山市北区柳町）で考える「第51回おかやま適塾」が24日、山行岡山事務所（同中山

下）の中村聡志所長（46）が「風の人」の目で見た岡山・鹿兒島・愛媛との比較を通じて」と題し話した。中村所長は地域資源を自然、経済、文化に分け、かつて赴任した鹿兒島、愛媛県と比べて岡山の長短所を解説。経済資源では、1次から3次産業まで垂直的なつながりを持つ鹿兒島の焼酎産業、メーカーが水平的に連携する愛媛の紙クラスタ（集合体）を例に挙げ、「岡山の産業クラ

スター形成の動きは素晴らしいが、技術革新に向けては一層の連携が必要」と指摘した。地域づくりを盛り上げる方策としては「県外から赴任している風の人」をもっとうまく使ってほしい」と求めた。（佐藤貴宏）

平成21年6月25日号



祈りの大切さや寺の役割について話す片岡住職

ま塾 祈りや寺院大切に

ま塾
お適

井原の片岡住職が講演

地域で活躍する著名人であり、井原市・人らの講演から、郷土・成福寺の片岡良仁住職の未来を考える「第52(55)が「祈りの力」をおおかやま適塾」が8寺と地域おこし」と題し、岡山市北区柳町の片岡住職は、祈りの

大切さを示す例として葬儀を挙げ、「流れ作業になり、別れの儀式としての精神性が失われている」と強調。枕経や通夜などを通じて故人との思い出に浸り、感謝の気持ちを持って祈ること、別れが実感できる、と呼び掛けた。

また、寺院の在り方について「地域の財産として見直す」と提言。自身の寺での演奏会や子どもに地域文化を伝える取り組みを紹介し、「長い歴史を持つ寺院が中心となるこ

とで、その土地の特色を生かした活性化が可能になる」と話した。
(宗宮正行)

平成21年7月9日号

ま塾 成長確認の視点大切

ま塾
お適

朝日塾 鳥海学園長が講演

地元で活躍する著名人らの講演を通じ地域を考える「第53回、おおかやま適塾」が22日、山陽新聞社さん太ホール(岡山市北区柳町)であり、朝日塾幼・小・中・高校の鳥海十児学園長(左)が「子どもには無限の可能性がある



子どもの成長に果たす親の役割などを話す鳥海学園長

「競争で伸びる子ども

の力」と題し話した。鳥海氏は、プロゴルファーの石川遼選手を例に、子どもの能力を育てるには親の果たす

役割が大きいとし、「長所を見つけ、伸ばす方向に持っていけないのは親に責任がある」と話した。子どもの成長を促す競争について、「競い合いは不可欠だが、過度になれば足の引っ張り合いになる。過去の自分と比べて成長を確認する視点が大切」と述べた。
(土井一義)

平成21年7月23日号

〔特別講演〕

ま塾 やか おか お適 文化財他の地を圧倒 吉備国際大 臼井教授が講演

地域で活躍する著名人の講演から、郷土の将来を考える「おかやま適塾」の特別講演が12日、岡山市北区柳町の山陽新聞社さん太ホールであり、吉備国際大の臼井洋輔教授が「岡山文化のエッセンス」明日は岡山が話題の中心になる」と題して話した。



「岡山は文化財だけでなく、人物や自然環境でも誇れる面が多い」と話す臼井教授

船技術などを列挙。「手間をかけ、素材の特質を生かした技術を考案すること、他の産地の庄倒する品質をけり岡山文化の本質

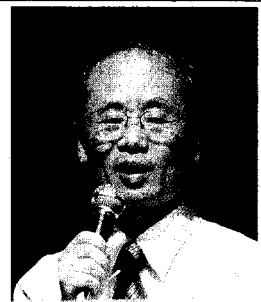
た。こうした岡山の文化の底流について、臼井教授は「古代吉備が大和政権に滅ぼされたりベンジを、政治ではなく文化面で果たした」との持論を展開。数百年にわたって保たれ続ける岡山文化の本質

は、長く低迷する現代社会の処方せんにもなるーと呼び掛けた。
(宗宮正行)

平成21年 8月13日号

妻行方不明・高橋さん講演

過熱報道の問題指摘



報道のあり方を問い、犯罪被害者への理解を訴える高橋さん

多彩な視点で地域のあり方を考える「第54回おかやま適塾」が26日、山陽新聞社さん太ホール（岡山市北区柳町）で開かれた。NPO法人おかやま犯罪被害者サポート・ファミリーズ副理事長で、2002年に津山市で妻が行方不明になった精神科医の高橋幸夫さん（66）が「報道に奪われた妻」それでも生きて往かねばならぬ」と題して講演した。

として、「メディアもあり方を考える」第54回おかやま適塾」が26日、山陽新聞社さん太ホール（岡山市北区柳町）で開かれた。NPO法人おかやま犯罪被害者サポート・ファミリーズ副理事長で、2002年に津山市で妻が行方不明になった精神科医の高橋幸夫さん（66）が「報道に奪われた妻」それでも生きて往かねばならぬ」と題して講演した。NPOでの支援活動については「被害者を生まない安全安心な社会を目指し、被害者として生きる意味をそこに見いだしている」と話した。（平田知也）

妻が連れ去られ、県警が事情を聴いた男が自殺、現金を引き出したとされる女が白骨遺体で発見された事件。高橋さんは過熱報道が男の自殺につながった

平成21年 8月27日号

クロントイの会
加賀代表が講演

おかやま適塾

地元で活躍する著名人らが講演する「第55回おかやま適塾」が14日、岡山市北区柳町、山陽新聞社さん太ホールであり、高梁市成羽町で地域づくりや国際支援などに取り組むクロントイの会、町おこし愛の加賀博人代表が「人生はリズムー21世紀の生きかた」と題し



て話した。写真。

加賀氏は、カメラマンとして撮影したタイ・バンコクのスラム街・クロントイ地区の子どもたちの写真展を開いた経緯を説明。同地区で学校建設をしたことも紹介し「人間は一人では生きていけない。感謝する心が大切」と訴えた。（西崎哲也）

平成21年10月15日号

真言宗僧侶の
木下さん講演

おかやま適塾

地域で活躍するリーダーらに学ぶ「第56回おかやま適塾」が28日、岡山市北区柳町、山陽新聞社さん太ホールで開かれた。真言宗僧侶の木下智全さん（82）＝同市北区津島東＝が「般若心経における生と死」と題して講演した。写真。

本紙夕刊に連載した「四国霊場 心の遍路旅」（2002～03年）でも知られる木下さんも「仏教では知性を超えた思惟が大事」と切り出し、どんな枠にとらわれない壮大な



「空」の考え方を紹介。般若心経を読み解きながら、「ちっぽけな人間の分別を捨てて見れば死も生も空」などと語った。（平井美佳）

平成21年10月29日号

人材育成テーマに講演

適塾 福嶋リハビリテーション学院長



地域リハビリテーションをテーマに話す福嶋学院長

地域で活躍する著名人らに学ぶ「第57回おかやま適塾」が11日、岡山市北区柳町、山陽新聞社さん太ホールであり、専門学校福嶋リハビリテーション学院（浅口市寄島町）の福嶋裕美子学院長（56）が「進化するリハビリテーションを担う人材の養成について」と題して講演した。

学院や老人保健施設などの日常をスライドで紹介。「生活の質を高めるためリハビリだけでなく、施設の内装も工夫している」と説明した。

学院開設の理由について「在宅医療を目指す中で、地域リハビリテーションの理念と技術を持った理学療法士の必要性を認識したから」と話し、約100人が聴講した。（伊丹友香）

平成21年11月12日



NPO法人
広本会長講演

おかやま適塾

地域で活躍する人たちに学ぶ「第58回おかやま適塾」が25日、岡山市北区柳町、山陽新聞社さん太ホールであり、同市のNPO法人「おかやまエネルギーの未来を考える会」の広本悦子会長が「地球温暖化を防ぐために、今、私たちにできるこ

と」と題し講演した。

広本会長は、海面上昇の被害を受ける南太平洋の島国ツバルなどを引き合いに、温暖化に伴う環境への影響を指摘。太陽光発電に代表される自然エネルギーへの利用転換や省エネの徹底などを呼び掛けた。（三宅教之）

平成21年11月26日号



吉備国際大の
臼井教授講演

おかやま適塾

地域のリーダーや著名人に学ぶ「第59回おかやま適塾」が9日、岡山市北区柳町の山陽新聞社さん太ホールで開かれた。吉備国際大の臼井洋輔教授が「技術史への旅―歴史とは何か、文化とは何か、

人間とは何か」と題して講演した。

臼井教授は、日本の近世初頭の石材加工技術が古代エジプトの技術に近いとする独自の研究から、約4千年をかけてヨーロッパを経由し日本へ伝えられたという持論を展開。「政治や経済は短期間に移り変わるが、文化の息は長い」と語り、文化を通して歴史を学ぶことの大切さを訴えた。（角南邦彦）

平成21年12月10日号

おかやま適塾の いわれ (来歴)

世のためにつくした
人の一生ほど美しい
ものはない——

緒方洪庵 (1810 ~ 1863)

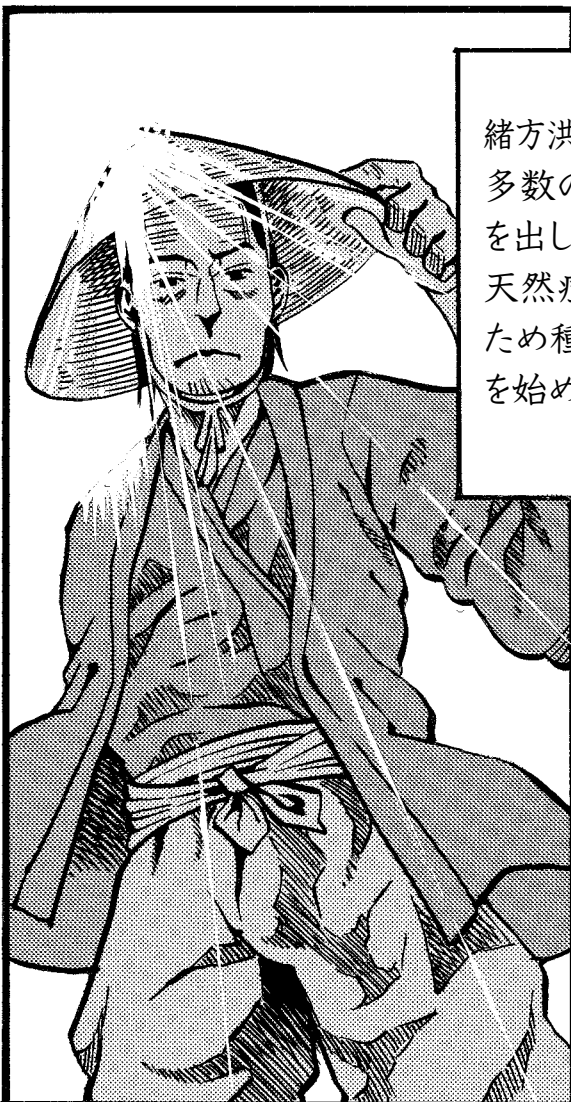
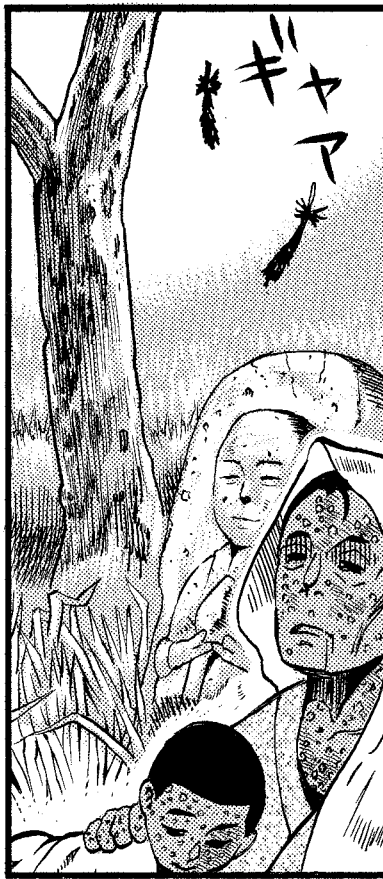
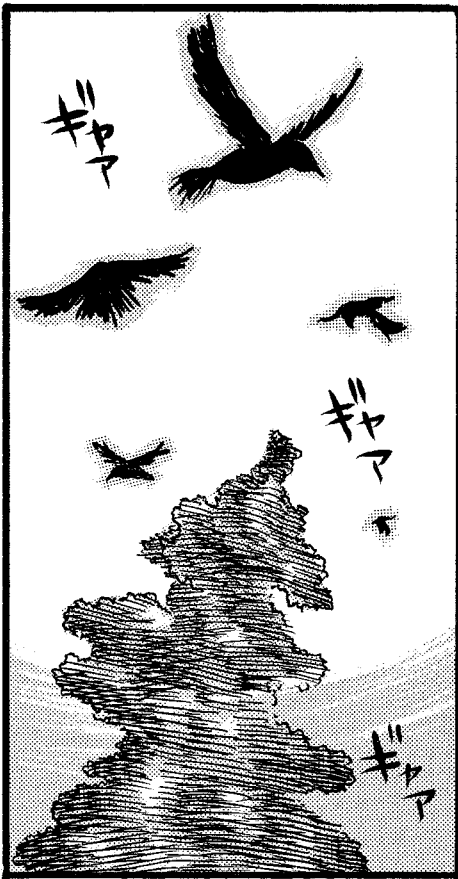
岡山備中・足守藩士の子に生まれた。16歳の頃父の転勤に伴い大阪に出、翌年蘭学塾に入門。医師になる決意をした。のち江戸へ行きさらに蘭学を学んだ。長崎へ遊学後、大阪へ戻り蘭学塾「適々斎塾」を開き多くの人材を輩出。

緒方洪庵は、わが国蘭学の先駆者のひとりで、特に種痘の開拓者として著名です。

文久2年(1862)8月、徳川家茂の奥医師、そして西洋医学所頭取に任命され江戸へ出た。「医学のため、子孫のため、討死の覚悟」で大阪を離れたという。翌、文久3年6月10日、突然大量の血を吐き急死。54歳であった。

適塾の建物が大阪に重要文化財として今ものこっている。

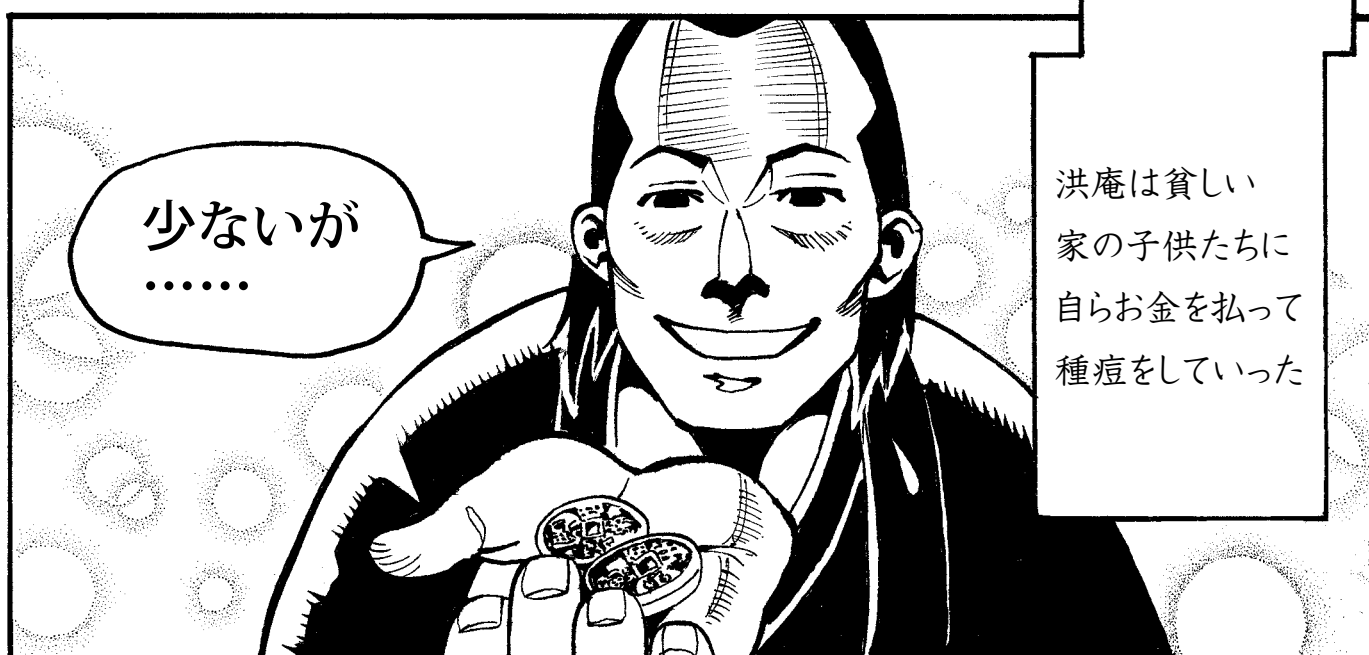
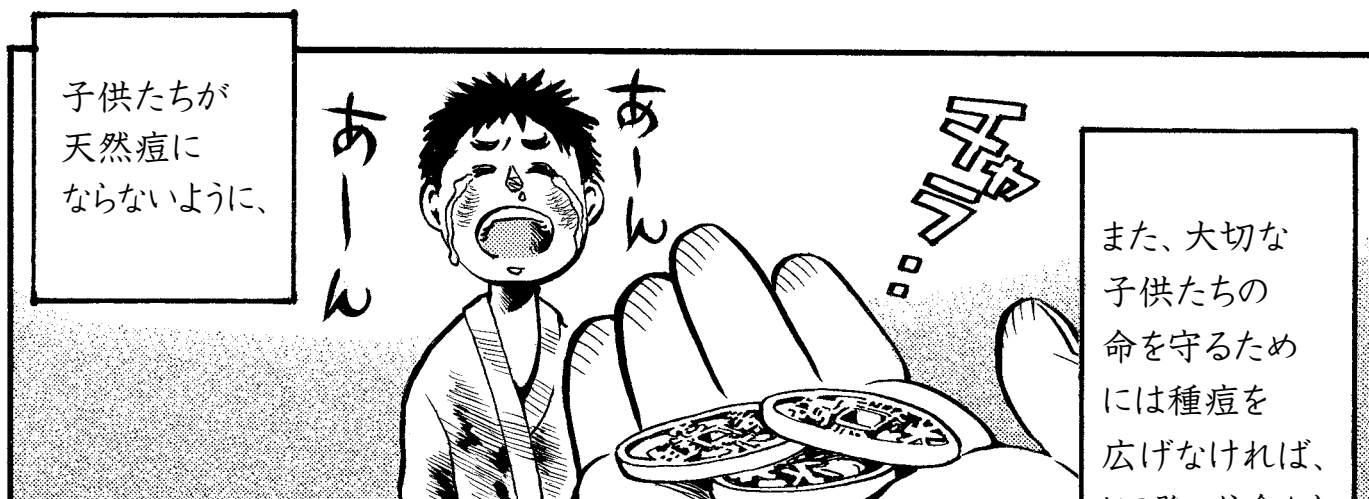
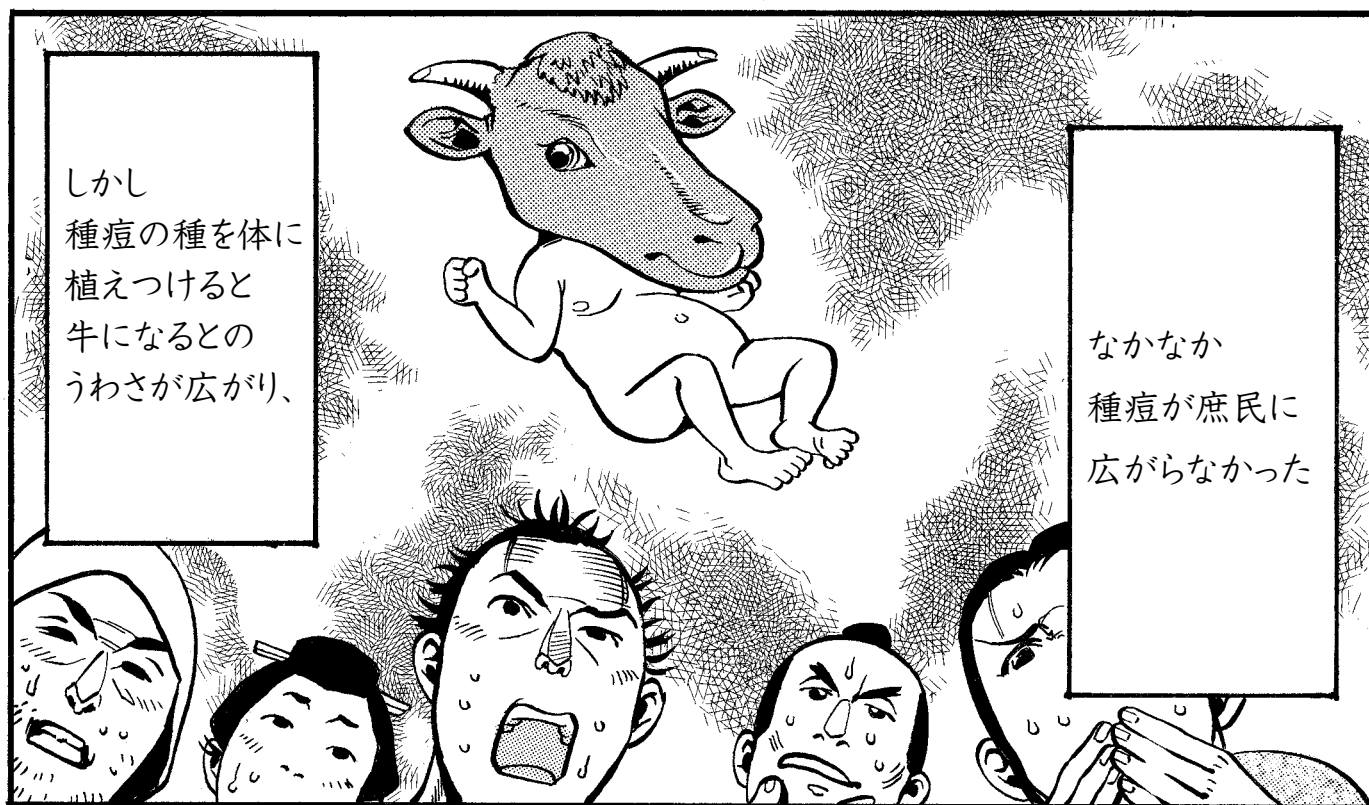
司馬遼太郎氏の
「洪庵のたいまつ」という
話の一節です



緒方洪庵は当時
多数の死亡者
を出していた
天然痘予防の
ため種痘事業
を始めた



洪庵は、初めて
牛痘菌が長崎に
渡来した嘉永2年
(1849) に
古手町に種痘所
を作った



主な門下生

- ・石阪惟寛（陸軍軍医総監）
- ・大鳥圭介
（蝦夷共和国の陸軍奉行）
- ・大村益次郎
（「村田良庵」と言う名で入塾）
- ・佐野常民
（日本赤十字社初代総裁）
- ・高松凌雲
（箱館戦争の際の賊軍の病院長）
- ・武田斐三郎
- ・手塚良仙（手塚治虫の曾祖父）
- ・長与専斎
- ・橋本左内
- ・福沢諭吉（慶應義塾大学を創設）

29歳の時、
洪庵は大阪に
「適塾」を開き、
医学のかたわら
蘭学の指導を
していた



その門弟は全国
から集まり、
幕末から明治に
かけて活躍した
人材を多数
輩出した



入学試験などない

どの若者も
勉強したくて
はるばると
やってくる
のである

みな
「学問をする」
という、ただ
一つの目的と心で
結ばれていた

江戸時代は
身分差別の社会
だった

しかしこの学校では
いっさい平等で
あった



次の言葉に
洪庵の人と
なりを感じ
ることができる

医者がこの世で
生活しているのは
人のためであって
自分のためでは
ない!!

決して有名に
なろうと思うな!!
また利益を
追おうとするな!!

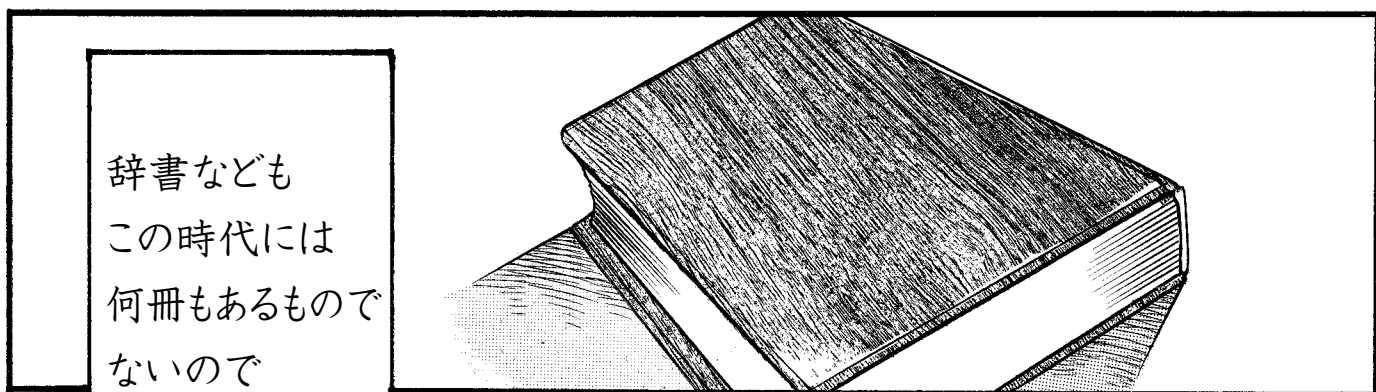
ただただ
自分を捨てよ!!
そして人を
救うことだけを
考えよ!!

適塾の教育
方法はとても
厳しかった
そうです

2階に 32 畳
ほどの大部屋が
ありまして、
そこに常時 30 人
内外の塾生が
寝起きして
いました

スペース的に
いうと
一人一畳
です

そこに机と
自分の持ち物を
置くことにな
ります



この一介の町医者である
洪庵が、その実力を買われ、
将軍に呼ばれて
奥医師にまで登りつめる
ことになります

洪庵自身は町医者で
終わりたかったのだが
将軍の命に逆らうことなど
できるはずもない



奥医師に上がった
洪庵は十人の家来を
持たされたが、

余程ストレスが
たまったのか
その10ヶ月後に
亡くなっている

しかし ——

世のために
つくした人の
一生ほど美しい
ものはない

そして
2008年——

現在でも洪庵の
「たいまつ」は人々の
心に受け継がれて
います

さて、皆さん
大変長らく
お待たせ
しました

おかやま
適塾 ——

馬場塾長

おかやま適塾

始めます!!

絶賛開催中!!

惜別：岡山市長選立候補のため

長い間御愛読賜り感謝。感激。感涙。

500回目の西大寺会陽が終わり、奈良二月堂のお水取りの最中。冬から春へ旅行スケジュールがチェンジされるのも間近い。桜は今月末に開花するとの便りが届いています。

1. 一筆啓上（最終回）

ハットした。思いもよらないことで一瞬目を疑った。初めて入ったラーメン屋さん。注文してふと何気なく壁をみれば「おかやま適塾」のチラシが綺麗に張ってあるではないか。

どういうルートで、この店に来たのか興味が湧いたが嬉しかった。硬派に属する塾のピラを掲示してくれたことに、驚きと感動を覚えた。

目に見えないところで支援してくれる人がいるのだ。しっかり塾を運営しなければと胆に銘じた次第です。

休日など条件が具備されれば、走り放題1,000円で高速道を利用できるようになる。地域経済活性化に役立つことは間違いない。観光などに活用しよう。不況だからとウズウズしないで山の中の綺麗な空気を、はたまた、海の潮風に当たり非日常的な行為を楽しもう。

新幹線や道路のトンネル内では、ラジオ・携帯電話が使えないところが多い。線を引けばよいだけで、経済効果も上るし、緊急時の通信も可能になる。楽しみを中断されずに、快適な旅が楽しめる。景気刺激策の一環として全国的に通信インフラ整備のために線を張り巡らせたなら良い。

株の話。N I K K E I ・ C N B C など経済関係の報道番組を見るにつけ、株の動きに人生の動きを重ね合わせてみると結構面白くためになる。

年初9000円台に乗っていた株価は3月初旬7000円台を割り込む勢いで下落しているから、2カ月で2000円の下落。一日の変動を見ても上下1000円以上動いたこともある。

前日比数百円の上昇・下落はざらにある。株は分からぬ。人生も一寸先は闇であるから相似

している。考えようでは面白い。なるようにしかならないところが楽しいといえる…。

株をリスクだと思わずにスポーツだと思って、“余資”で遊ぶ心の余裕がほしいものだ。人生も株も面白い。面白おかしくなければ人生はつまらない。人生劇場を演じたいものだ。

2. 何故、市長になりたいのか

私は、岡山市に生まれ、岡山市で育ち、岡山市で仕事をしている。岡山市に尽くし岡山市のお役に立ちたい。“生きる意味”を考えた。何がやりたいのか、すなわち公約（マニフェスト）3カ条。

◎市民が、あまねく平等に安全・安心な日常生活ができる都市にする。

◎経済基礎を強化するための強力な政策をとり、地域とともに地域活性化をさせる。

◎「郷土愛」を掘り起こし、全市民の気分を高揚させると共に、市職員にヤル気を起こさせる良好な職場環境を創造して、市政の将来を背負って立つ人材育成につとめる。

「必ず当選する」という意気込みと「ファンは誠実を愛する」と「信じること」が大切だ。選挙は大変だからと、ありがたい御忠告をいただいているが、私の過去の人生において、生きるか死ぬかの戦いもしてきたから、少々のことではヘコたれぬ。

仕事等の整理整頓もほぼ終わったので、残り6カ月余に本腰を入れたい。過去18年間に執筆した文章から抜粋して本を出版したい。お金は天下のまわりものだが、チャンスは一生に何回もないから後悔をしないためにも一所懸命に頑張ります。ただ世の中にはさまざまな考えのお方がいらっしゃる。意に背くことになってもご容赦下さい。申し訳ありません。

本当に長い間、お付き合いありがとうございました。またの機会にお目にかかれるのを楽しみにしています。

(H21・3・10)

暖かなよい日和。桜が咲くのも早いようです。年度末で進学・就職あるいは退職など、人生の節目を迎える時にかさなり、また、年度末でお忙しいことでしょうか、心身ともに気を付けて下さい。新幹線も平素より多い乗客です。学生や両親と思われる人達を見かけます。やはり別れと始まりの時ですね。

さて、世の中をにぎやかにして申し訳ありません。私が9月の岡山市長選に出馬することになり、このコラムも終了とさせていただきます。長い間誠にありがとうございました。5月のゴールデンウィーク明けに記者発表する段取りとなる予定です。それまでにやっておくべき事もあり、ゆっくりはできませんが、頭は常に回転しています。心身ともに健康で元氣満ち勇気凛々で力が充実しています。これからもお力添えをお願い致します。このコラムのお陰で、世間の人にも多少は私を知っていただけたようなので喜んでます。「おかやま適塾」は、続けてやりますので期待しておいて下さい。ただいま、5月～8月までの講師陣を人選中です。選挙とは別ですから安心して参加して下さい。ただ、表明後は固有名詞（馬場勉）を出さないようにしなければならぬなど気を使いますが…。

平成21年3月17日 馬場 勉

人類は性懲りもなく投機を繰り返す。 土地バブルが弾けて世界恐慌が流れ狂っている。

混迷する政治・経済。ブレる発言をしたり行動する人が多過ぎる。理念と信念に基づく“夢”を語りたいものだ。

1. 集客と人選

よく聞かれるのが「おかやま適塾」の講師陣は岡山の著名人が多く、どのように人選をし、人集めしているのか？自分達も会合を開催しているが、適任者や出席者が集まらなくて困っているとのこと。

別段、魔法の杖を振り回しているわけではないが、大別すれば次の3パターンになる。

①塾長である私の人脈などにより依頼する場合は7割程。

②知人、友人からの推薦と仲介をしてもらう場合は2割程。

③面識はないが飛び入りで依頼するのが1割程。

いずれの時も三顧の礼を尽くしてお願いしているが手抜かりの時もある。依頼された方も「おかやま適塾」を信用して下さっているから、受けて下さるのだらうと思う。

塾の講師登用率は、お声掛けさせて貰った人の7割～8割がOKして下さる。最初の頃は、塾の運営に苦労したが、段々と認知されて講師への依頼はさほど苦労しなくてよくなった。しかし、井戸を掘るのを手伝ってくれた人や講師をして下さった方には感謝の念を忘れていない。

特に、出席者を集めることが難しい。色々知恵を働かせている。チラシ、新聞広告をはじめ、新聞記事にしてもらったり、ケーブルテレビやホームページに掲載してインターネットで配信をするなど、自宅や事務所においても見てもらうなどの工夫をしている。300席ある会場があふれることもあれば、少人数でさびしいこともあったが回数を重ねるたびに定着しているのが現状。

1年間を3期に分けて色々なジャンルから講

師をお願いしている。順番を待ってもらっている人もいる。向う1年間は、リストアップしているから講師不足は起きないであろう。

嬉しいことは、山陽新聞、オニビジョン、ビジョン岡山、おかやま財界、岡山プラザなどが塾の公益性・公共性を評価してくれて、積極的にサポートし助けてくれていることだ。テレビ、新聞などで報道してくれてありがたい。赤字だが飲んだと思えば安いもの。“夢”を達成したい。どんなことがあっても続ける覚悟。

2. オバマ効果なし？

私の経験では、日本は不動産バブルが昭和から平成にかけた頃にあり、「抵当証券」という手法で資金が金融機関等から大量投入されたものの、バブルが弾け、日本経済は大変な目にあった。が、これは日本国内だけの金融機関等と企業の問題で終わった。しかし、その後片付けには10年以上の失われた時間がかかった。

今回はノーベル賞をもらったエライ人が考え出した不動産を証券化して小口で金を集めるという手段で、投資会社がファンドを組成した。サブプライムローンの破綻は「不動産証券化」の手法による錬金術の幻想の結果であった。

思うに、20～30年おきに不動産を核に流動資金が流れ込んでバブルを醸し出し、弾けることが繰り返えされている。愚かなことであるが…。

さて、人類は基本的には、お金を巡ってグローバル化したジャングルの中で弱肉強食の争いを続け、懲りもせず不動産に投資しバブル化させて、实体经济を混乱の渦に巻き込んで、信用収縮させている。

これから数十年後には、どんな手法を編み出して土地バブルをでっちあげるのだろうか？人類が繰り返すバカげた食欲さにはあほらしくもあり、別の意味で好奇心が湧く。賭け事は永遠の謎だから。

(H21・2・25)

3月に入り三寒四温とはよく言ったもので、暖かい日があったかと思えば、雪のちらつく日もある。繰り返しながら今月末頃には“桜”が咲き始める。二月堂のお水取りも行われている。

100年に一度の不況だといわれながらも、なんとかガマンするより方法のない人もいるだろうが、緊急融資制度の融資を活用して食いつなぐのもよい。政府が保証するから金融機関にとってはいいお客様。なぜならば、食いつなぐ元利金が保証されているからだ。世界恐慌の現状は、相当長く続くと考えておくほうがよさそうだ。景気が回復するのを直ぐには期待をしない方がよい。経済評論家はそれなりの確信や経験がおりでしょうが、もっと真剣に先を読む勉強をしてほしいものだ。

500回目の西大寺観音院の「会陽」が先月あった。鎌倉時代から続く奇祭であるが、素人の参加が多いためか、盛り上っている最中の救出劇のため割って入りもみあいの中断が多かった。グループでなければ「神木」を手に入れることができないのが現実であり、一人で取れるロマンがなくなったのは淋しい。備前平野に春が来るのも近い。

平成21年3月4日 馬場 勉

国土を大切に。自然環境を残そう。

日本の風土が、見直される時代が来た。

淡路島の灘黒岩水仙郷に「水仙」を見に行った。素晴らしかった。特に500円の入場料は良心的で安い。なによりも、地元民の心意気にほれた。見習うべきだ。高速道路をタダにすれば、経済効果は抜群。最高の景気対策になる。

1. 「寒バエ」は減少中

「寒バエ」といっても台所等を飛び回るハエではなく、きれいな水のところにしか棲まない川魚。めだかと鯉の中間。吉井川水系の流域、赤磐市(旧吉井町)にある菊ヶ峠「茶店」に冬場のみ限定販売している。

楽しみに買い求めているが「ハエ」が取れなくなって需要に供給が間に合わず、買い求めることができない。空振りして手ぶらで帰ることが多くなった。残念だ。冬場の風物詩が風前の灯になりつつある。

理由は、いろいろ考えられ相互に相乗効果を発揮しているのだろう。上流に苦田ダム(多目的ダム)が流水の調節をしだしてから少なくなったようだ。下流の生き物や雑草は、一定の水の流れが常時あるから生きているのに、水が極端に減ったり、大量に流されたりすれば生きのびることができないのであろう。護岸を整備して、洪水から町や田畑を守る公共事業は評価されるが、魚やホタルは、生育場所の雑草などがなくなって息の根が止まってしまう。

さらに、山林が荒れて保水力が減退している。田畑や山林は多くの水や環境の浄化作用があるのだが、その機能が落ちてきたため自然環境が悪くなった。自然と人間が上手く共生するように保たないと、後世の人から昭和、平成の時代の人がとんでもないことをしでかしたと非難されるようになるかもしれない。

里山や田園、河川、小川などではできるだけそのままに残したいと思う。開発に力を入れ過ぎたのではないかと反省している。

2. 株価と麻生内閣の類似点

オバマ政権は、期待が大きただけに失望も大きい。経済政策を発表したが、株式市場では受け入れられなくて、大幅に値下がりした。株は経済活動の指標だというのが、確かに情報を先取りして株価に織り込んで先行する。

オバマさんが大統領になると分かった時点で株価は上昇したが、その後ずるずると下方へと進行中。期待が大きすぎたのだろう。

マーケットでは、急な上方修正は無理だろう。実体経済が悪く赤字企業が多すぎる。いずれにせよ、歴史は繰り返すから当分の間(数年間)は辛抱するのみでしょう。期待しすぎない方が良さそうです。なるようにしかならないかな?

麻生さんが、総理大臣になった時に衆議院解散総選挙をしていれば何とかなったかもしれない。が、ズルズルと伸ばしている内に、思惑に反して、にっちもさっちもどうにもならなくなってしまった。解散の時期を逃がした感がする。

株は安くなった時に思い切って「損切り」をしていれば、損害額が小さくて済んだのに、淡い期待をもってモタモタしているうちに、動きが取れなくなって、塩づけする以外に方策が無くなるということになる。

なんだか、麻生内閣の現状と株価の下落とは、どうにもならない状況において良く似ている。

最近の言葉でいう「空気を読む」ことが出来なかった。日本人は敢闘精神が旺盛で「それ行けやれ行け」には強いが、反面、「撤退の勇氣」が足りない。損切りを覚悟で事を動かし、最小限の犠牲で踏ん張り、チャンスの時が必ず来るのを待つ心掛けが必要なようだ。この点、日本人の精神構造は、改める必要があるように思うがいかがでしょうか。

(H21・2・12)

都心からきれいな冠雪した富士山が拝めた。午前中の冬場に新幹線に乗るのは久しぶりだった。長い間、新幹線から美しい富士山を見ていなかった。冬場は空気が冴えているために綺麗。都心から見たのに、肝心の富士山の麓からは雲に隠れて見えなかった。万事そうしたものらしい。だから、一瞬のチャンスは大切にしたいものだ。

トンネル内は、携帯は通じないのだが都心に近いところは通じた。整備をしているのだろう。思うに、新幹線のトンネルや高速道などはインフラの一環として携帯やラジオが聞けるように環境整備の工事をしたらと思う。非常時あるいは経済活動を円滑にするためにも、重要かつ大切なことだろう。道を作るより、電波のインフラ整備の拡充の方が先だと思うが。

閣僚など重要な要人になるなら、断酒するように心掛けたいものである。「就任するなら飲むな、飲みたいならば就任するな」。私は、ただいま酒を口にしていない。要するに、「生きる意味」を考えた結論である。

平成21年2月18日 馬場 勉

夜明を待つ心が必要。意気消沈するな！

お金は天下のまわりもの。経済も政治も流転する

2月。一年中で最も寒いころ。冬物のバーゲンセールが最盛期。品物は、安くて良いものが売れる時代。

1. 常識を疑ってみる

広辞苑をめくる。通常、人が当然と思っていることの中に違っていることがまます。

よく使われることわざに、「まごにもいしょう」といいます。「孫」の衣装かと思ひ込んでいる人は多いのではと思いますが、本当は「馬子にも衣装」と書きます。

「馬子」は、馬を引いて人や荷物を運ぶことを生業とする人。今風にいえば、運送業者。誰でも外面を飾れば、立派に見えることのたとえ。本当は、「孫」の方がしっくりくるように思うのですが、そうではないのです。また、12月には赤穂浪士の討ち入りが話題になります。忠臣蔵の「にんじょうぎた」は「人情」にまつわる事件と思っている人が多くはないかな？人情の綾にまつわる喧嘩沙汰ですから、人情の方が正解と思えるのですが…。

しかし、本当は「刃傷」と書いて「にんじょう」と読むのです。「刃傷沙汰」が正解。刃物(刀)を持って争う喧嘩の意味です。松の廊下で刀を振り上げて切りつけたから、まさに「刃傷に及んだ」といえるのです。

特に、中国語では日本人が勘違いをする言葉が多い。例えば「先生」という言葉を中国人はよく使います。先生は「様」あるいは「さん」という程度の言葉です。日本人が飲み屋で「社長」といわれて喜んでいる類です。ですから、レストランのおやじさんが気安く「先生」というのです。本当の先生は「老師」と書きます。ぬか喜びをしませんように。

もうひとつ、中国人は「愛人」という場合、私の愛人が…というのは、私の「妻」が…という意味に使う。ですから、日本でいう愛人とは違うので注意しておかないと、とんでもない家庭騒動を起こします。本当の愛人は、中国語で

「情人」ですが、妻は「なさけ(情)」のある人の方がいい。

中国語が知りたくて興味のある人は、岡山商科大学・孔子学院の「中国語講座」の受講をお勧めします。

2. 経済基盤の強化を

高谷市長はじめ関係諸氏の並々ならぬ御努力と御尽力で岡山市が来る4月1日より18番目の「政令指定都市」になります。

喜ばしいことですが、器が大きくなれば経費や人員その他全体に規模がデッカクなり、メリットとデメリットが生じます。手放していいとばかりはいえませんが。

とにかく、人口70万人の最低線の出発オーケーです。山林・田畑も多く広大な面積ですから岡山市の中心部だけが良くなればよいというものではなく、周辺地域の住民にも公平かつ平等に市民の安全・安心が保障されなければなりません。

結局、経済基盤は中心市街地が核になり、衛星都市がそれを取り巻くという構図を描くべきです。

交通の要衝でインフラ(新幹線・鉄道・空港・高速道など)が整備されていることは、市民の誰でもが認識していることです。これらの潜在能力(ポテンシャル)をいかに開花させるかにかかっています。

岡山県内には、16の大学があり専門学校も多いので、他府県からの学生が多く集まり岡山で就職したいと希望する学生諸君は多いのですから、彼らをいかに地元岡山が吸収していくかに、岡山市の将来がかかっているのです。

岡山市に住みついてくれれば、おのずと人口増加につながります。多面的な対策を練る必要があります。外部の意見を取り入れる寛容さが大切です。市の職員だけでは、限界がありますから。

(H21・1・28)

2月から3月末にかけては、年度末で官公庁は多忙な時。民間はニッパチ(2月と8月)はヒマな時と相場が決まっているが、民間企業の物販関係の人に尋ねても御多聞にもれず、あまりさえないようだ。そういうお前はどんな状況なのかと聞かれれば、年中あまり変わらずというところ。ただ、官公庁が公共事業を減らすようになってから鑑定の発注は全体的には少なくなっている。私の感覚では、不動産鑑定は乱高下の激しい時ほど需要が増える傾向にある。すなわち、土地の価格が高くて安くても不動産(土地)価格の把握が分かりづらく必要となるからである。風の状態の時は、必要性が低いのである。普通の経済活動とは、逆の方向性がある。バブルの時は、抵当証券が一世を風靡した。この時は、岡山のような地方にも仕事があった。今は、サブプライムローンで顕在化した如く、不動産の証券化による金融派生商品の問題が生じた。これに関しては、東京の鑑定士が潤ったのだが岡山は縁の下の力持ち役だった。将来は、どのような手法が編み出されるかみものだ。世の中には知恵者がいて、色々新手を考えてひねり出すものだからうっかりできない。

平成21年2月4日 馬場 勉

でえれえ～岡山はええところじゃ

地域経済力をつける。観光資源の活用を。

比較的穏やかな正月でした。寒風の中、ピンと背筋を伸ばし、白い花を付けて凜とそそり立つ「水仙」が一番好きな花。経済も政治も不透明で、大波乱が予測される年になりそうですが、岡山に生れ、私を育ててくれた岡山をシャントした街に活性化させるのが私の初夢。

1. 岡山は住むのに最適

蟹の食べ放題という宣伝文句につられて、年末年始にバス旅行で北陸に行った。雪が降ったりやんだり。合掌作りで有名な白川郷と金沢市内の兼六園などを散策したのだが、観光で行くのはよいが毎日雪国で生活するとなると、腰が退ける。

高速道は彦根、米原あたりで気候はがらりと変わる。住めば都とはいふものの、「弁当忘れても傘忘れるな」といわれるような地域の生活は、くる日もくる日も雪だと大変だろう。岡山に帰れば、風の冷たさが違った。

岡山は、気候は良いのだが人情の点と、遊びの文化という点ではどうでしょうか？江戸時代に池田藩は質素儉約を旨として、遊郭も作らせなかったが、加賀100万石の前田藩は遊びの文化を根付かせた。現在にも脈々と続いている。

岡山には、料亭といえるものがほとんどない。京都や金沢には遊びの文化が延々と時代とともに続いているため、それを楽しみに観光客が多く集まるのも事実である。

祇園の“一力”茶屋ほか京都のお茶屋文化には華がある。金沢も同様だ。残念ながら、岡山にはそういう類のものはないから、他県の人は転勤生活もつまらない。人の心のおおらかさという点から見れば、岡山は少し見劣りがして残念に思う。

2. 非常勤講師

昨年の秋、岡山商科大学の教授が私の事務所に来社。用件は非常勤講師をしてほしいとのこ

とだった。毎週、90分授業を年15回するとのこと。

内容は「不動産運用設計論」とかで、話をするのは好きだがハタと困ったが、ファイナンシャルプランニングコースの学生を中心に、是非お願いしたいとのことであった。

私を評価して下さったことに、涙が出るほど嬉しかった。それゆえ、お受けさせていただいた。全力を傾注して頑張りますと、お答えしたのです。教授会の選考も無事終わったとのこと。

先日、岡大の千葉学長と話をする機会があった。先生は私が教壇に立ち教鞭を執るのはいいことだと喜んで下さり、ありがたかった。

私の周りには、非常勤講師をしている人が結構いるのだが、大学の先生には申し訳ないが本職より素人の実務家の方が学生には好まれる時も往々にしてあるらしい。

実務をやっていると視野が広がって興味のある面白い話が学生さんは聴けるからのようだ。

現在は、大学の先生になるには大学院を出るのが常識らしい。なんと1万9000人程の先生志願の予備軍がいるのだそうだ。しかし、空席が少なくアブれているのが現状。

にもかかわらず、実務家が登用されれば、それだけ若い人にとっては狭き門になるから他人の畑を荒らすことになります。ただ、大学全体の運営や構成メンバーを充足させるための需給バランスを考えなければならないからやむを得ない面もある。

私は、実体験を交えて面白おかしく講義できればと思っている。学生さんから、そっぽを向かれたら恥だと思ふ。時間とお金（授業料）をかけて授業を受けに来てくれている学生さんを失望させてはならぬ。

何か持って帰ってもらうのが教える立場の責務だと考えている。若い留学生（主に中国人）に国際親善の貢献ができれば幸甚です。

(H21・1・14)

早いもので1月も残り少なくなり正月気分はすでにありません。オバマさんが大統領に就任したおめでたい日にもかかわらず、ニューヨーク株式の株価は330 \$を超える下げ。日本だったら御祝儀相場がお世辞にでも付くのだろうが、アメリカはシビアなのか？いや、銀行はじめ経済環境が悪すぎるからだ。

私の認識が、甘いのだろうか？株価は半年先の値段が先行しているのだから、すでに織り込み済みであるといわれればそれまでだが、実体経済があまりにも悪いのだと反論されそう。本当のところ最悪といえるが、100年に一度かどうかは疑問だ。

昨年、日経平均株価が1万円の大打撃を受けたことが勝負どころといわれていた時に私は5,000円台になるのではないかと話して某証券会社の担当課長を驚かしたことを思い出す。そういう状態になりそうな予感がするが、先見の明ありやなしや？岡山市は、政令指定都市に4月よりなる。岡山だけはよくならなければならない。どうすれば、政令市にふさわしい経済基盤に強化できるかを真剣に考えるべき時だ。年賀状は、1月25日に抽選がありますので楽しみに。

平成21年1月21日 馬場 勉

「念ずれば花開く」年にしよう！

“ピンチはチャンスだ” 希望を持って行動を

新しい年を迎えおめでとうございます。昨年はまれにみる政治・経済など混乱と変化の年だった。今年は油断せず、着実に前をしっかりと見て進もうではありませんか。倍旧の御愛顧の程をお願い申し上げます。

1. 岡山が勇気づけられる年

ファジャーノ岡山がJ2に昇格して始動する年。サッカーは何人でヤルのですか、という初步的な疑問から始まった私がファンになって「おかやま適塾」で、新年早々シンポジウムを開催することになった。

1月14日(水)夕方6時30分から8時30分までの新春特別2時間スペシャルだ。裾野を広げることに役立てばと思う。皆さんが支える気持で望めばプレーする人達も元気が出る。

サッカーのルールは知らなくても、いいプレーを見れば楽しみが湧く。やはり、強くて勝つことがなよりのファン獲得の特効薬だ。

県民の200万人が1人500円ずつ出せば10億円になる。大口の支援もよいが、小口がチリも積もれば山となるから全体のレベルアップが大切。

これからが大変で苦労するはず。お金はなんとかあるだろうが、技術の向上はおいそれとはいかないのではないか？対策を練ってほしい。

2. 「政令指定都市」元年

今春4月1日から政令指定都市に岡山市になる。器が大きくなれば経費もかかる。直ぐに効果が出るものではないだろう。岡山市が日本中に知れ渡って、誰でもが直ぐに岡山が分かるようになるとは思えない。

相当の時間と、努力と知恵を働かすことが大切である。一朝一夕にはいかない。市民に負担増にならないようにしなければ、折角の努力が水の泡になる。私は、岡山市が安全・安心で住みやすく、枕を高くしてネルことができる都市にしたいと思う。

例えば、24時間365日いつでも受け入れてく

れる市立の救急病院を各区毎に置くのがよい。ベッド数は少なくして回復したら他の病院に転院してもらう。病院のすみわけを明確にすることだ。1人1日10円の損害保険負担で年間3650円、人口70万人だから25億円になる。年間予算2000億円の中から25億円を先取りしてこれを財源にして医師等を雇う。

全体に占める割合は1%程度だ。そうすれば、岡山市民は安心して過ごすことができる。特に、高齢者や子供は貴重な安心と安全を買うことができる。これが人口増につながる。

政治姿勢の問題。市民の安全・安心を守るとは、公共性が非常に高い。高い公共性にこそ税金が投入されなければならない。公共性とどう取り組むかが重要な課題だ。公共性が大きければ赤字になっても良い。例えば、図書館などはそれに当たる。

3. 職務に専念して下さい

石井知事さんが4選されてから様子が違ったようだ。岡山県のため全身全霊を投入するということで、頑張っておられることは誠によろしい。

例えば、従来行っていた講演とか会合出席なども、必要でないと考えるものは「遠慮します」ということで「選択と集中」をされているようです。いいことではないですか。知事の姿勢は立派です。

5選を目指す気持はないでしょうから、釣った魚に餌はやらないでよろしい。時間は限られています。岡山県のためになることに、限られた時間を有効利用すべきです。

過去の経緯がどうであれ、県民はみんな協力するという気持です。次期大統領オバマさんのように気の進まない相手でも味方に取り入れて、非常体制下における危機管理の意識を持って県政運営をしてほしい。知事には心の大きさ、すなわち寛大さと寛容さが必要だ。

(H20・12・15)

新年あけましておめでとうございます。新春は、穏やかな正月であけました。しかし、これから政治や経済はどのようなのでしょうか？世の中がどうなるかも、やはり、ブレない気持で精神力を確かにして前進することが大切です。その心意気にいずれの分野においても、しっかり根付いた“ファン”ができるのだと思います。私は、気分を引き締め信じる理念を達成するために一歩ずつ努力したいです。

やっぱり、住むのは岡山が一番です。年末年始バス旅行で白川郷と金沢に遊びに行ってきましたが、雪の降る寒いところでした。観光には非日常的なため最高でしたが、毎日の日常生活となると大変でしょう。「弁当を忘れても傘を忘れるな」という天候下で常時過ごすのは困ります。岡山で生活しながら、東京や京都、金沢などに時々行くのが理想でしょうか。住むところは違いますが、遊ぶところは違いますからね。

チボリ公園のフィナーレは、身の危険を感じるくらい大変な人出でした。皆愛していたのですね。今年こそよろしくお願い申し上げます。

平成21年1月5日 馬場 勉

超激動の平成20年だった。勉強になった。

総括して実体験を来年以降の糧にしよう。

この号で本稿は今年の最終号になる。今年の思い出を綴ってみたい。苦しみが楽しい思い出になった。

1. 「おかやま適塾」を振り返る

来る12月末で1年10ヵ月程になる。ようやく軌道に乗ってきた。思えば、さん太ホールにお出でいただいたお客さんは延べ5000人以上、講師等は約60人、講演内容を録画した動画は延べ60時間以上、開催回数は40回を数える。

ひとえに協力して下さる人々のおかげと感謝しています。山陽新聞社には毎回記事の掲載や会場を準備して下さいありがとうございます。

思い出に残る講演も多々あります。特に、マラソンの中村友梨香さんの時にはマスコミがわんさと来てくれたことです。

300人収容の会場が溢れたこともあれば、少人数で淋しかったこともあります。粛々と進めてきました。市民・県民によりよく周知できる状況になりつつあり嬉しい限りです。

やはり「継続は力なり」ということだ。講師を探すのが大変でしょうというお話がありますが、それ程苦にはならないのです。むしろ、会場に足を運んで下さる人を増やすことに苦心している。会場を満員状態にしたいと願っています。

ホームページやケーブルテレビ等のメディアを活用して情報提供をしていますから、職場や家で何時でも見ることができます。アクセスは、多い日は100件を超えて平均80件程です。延べ2万件以上の閲覧があったことになります。

まったく下絵のないキャンバスに向かって絵を書き続けているような気分です。やりがいのある仕事と思っています。嬉しいことです。講師をお願いした場合、ほとんどの人が快諾してくださることです。

出演予定は、半年先の日程もありますので重荷になることでしょう。本人や秘書をはじめ周

辺の人が苦勞されているのを考えれば頭が下がります。ただ、救われるのは話をして下さいった人からは、大変喜ばれています。自分の人生を振り返り、仕事を見直すなど一度立ち止まって話の構想を練って下さっているようですが、記録に残り多くの人に「感動と感銘」を与えていることだけはまちがいありません。

私は、本心のところ怖いもの知らずで始めました。今では、岡山市足守出身の緒方洪庵の生き方に少しでも近づきたいと思っています。これからも多くの皆さんの御協力により進めたいと思っています。ご協力、ご指導をよろしくお願い申し上げます。

2. 思い出に残ることなど

ずっと毎週交代で、書かせてもらっていた赤枝郁郎先生が病気を機にこのコラムをお止めた。淋しい気持ちがする。お世話になりました。

先生のお歳になるまで、まだ20年余りあるから、これからが脂の乗った佳境に入るのを目指してガンバリたい。赤枝先生の超人的な文筆活動等に感心するとともにあやかりたいと思っています。

私の本業は、不動産鑑定士ですが、そろそろ現場から離れたと思うようになった。修行中の若い資格者が一人前に育つのを楽しみにしている。別のやりたいことに進み、生涯現役を貫きたい。「おかやま適塾」は誰が塾長をやっても自立できるようにしておきたい。コラムをはじめジャーナリストのはしくれと自認して“責任と慎重さ”を持って文章を書き、岡山のためにいくばかりかでも貢献できれば幸甚と考えている。

とにかく、地下鉄を自分の足で歩いて乗り降りできなくなるまでは、最前線で働きたいと願っています。応援をよろしくたのみます。

(H20・11・25)

色々のことがあった年でした。100年に一度の経済大混乱でしたが、「政治と株と人生」は一寸先が闇。株はテレビの専門チャンネルなどで、情報収集に努めたが、前場と後場の値動きがその日によって大きく変化するため経験則は役立たない。心理作戦でしょうか、天気予報よりもっと確率が悪い予測といえるため正直なところわからない。もし専門家の言うのが高い確率で当たれば、証券会社の倒産や赤字はないでしょう。素人の方が先入観がないので先が読めるともいえますが…。

また、県知事選は中途半端に終り不完全燃焼でした。来年は景気がさらに鈍化するという予見がします。クルマは、もうさほど売れない時代になるのではと思います。クルマにステータスを感じる人が少なくなりました。道路は、重要なところだけ早く開通するようにすべきでしょう。道路の補修管理は必要ですが、新規に作ることはありません。安全・安心な街づくりの方が優先されるべきでしょう。来年の目標は住みやすい都市にしたいものです。政令指定都市になって器が大きくなっても、内容が伴わなければ金食い虫になります。

平成20年12月3日 馬場 勉

惜別の歌「夏草や兵どもが夢の跡」

チボリ閉園による後始末が大変

なんだか暖かい秋。台風も来なかった。地球全体が少し変になった気がするのは私だけか？

1. チェンジ

米国では民主党の黒人、オバマさんが共和党のマケインさんを圧倒的多数で破り大統領になる。「暗殺されるのでは」とビクビクする日々。偉いさんともなれば、自由な行動はできない。困ったもんだ。有名人になり、露出される機会が多くなると他人の目が気になる。「全てよし」ということにはならぬのが世の常。

日本は、自民党の長期政権が制度疲労を起こしている。民主党に代わって見たら良いと考える人も多い。一度やらしてみたらよいであろう。

過去に自民党は、政権から離れて散々な目にあった。なりふり構わず村山政権を誕生させた経緯がある。

民主党をはじめ野党は、長い間外野席に甘んじてきた。昨今は参議院の逆転現象で主張が通るようになったが、やはりネバリが足りない。自民党をはじめ政権に就いた者は、死守する意気込みが違う。

米国では二大政党が、常に入れ替わるから新鮮味がある。今度はどんなチェンジ効果が生ずるのだろう。

世界同時恐慌の様相を示し実体経済は、日本においても益々悪くなるだろう。景気は、気持が荒む限り、おいそれとは上昇傾向を示さないだろう。

景気対策として一人1万2000円を定額給付するとのことだが、その程度では焼け石に水。高額所得者に渡すのはどうかと議論しているが、彼らこそ納税額が多いのだから返納したと考えればよい。こういうことで、もめる麻生内閣の実力の程を疑う。だから、支持率が低落するのだ。

高速道路を1000円にするとかだが、いっそタダにした方が経済効果は大きいから景気浮揚に役立つ。管理費の方が高く費用対効果の点から

あまり得策ではない。同じやるのなら思い切ったことをやるべきだろう。

チェンジの効果如何、期待が大きければ失望も大きくなるから、程々に期待するのが良いかも知れないが、それでは何も変わらないため、閉塞感が溜まるばかりだ。

2. いつまでも足を引っ張る

チボリ公園は、今年12月末をもって閉園する。後始末が大変なようで、更地にするのだから既存施設は取り壊す。結局500億円を投入し、12年間公園が運営されたが、人の怨念が残り、何かいいことがあったのだろうか。残念ながら、さほどの目立ったものは何もなかったようだ。

不幸だったのは、チボリ公園が倉敷市民から愛されなかったことだ。色々言う人が、現実に公園へ何回足を運んだかである。訪れたことが無いに等しい人が多いのでは？

石井知事さんも本当に遊びにどのくらい行ったのでしょうか。楽しかった思い出があれば、廃園ということはなかったのではないかな。もっと知恵が湧いたはず。よく行った人ほど愛着があり、閉園を惜しんでいる。

さて、もう過去のことはいいませんが、倉敷市が公園を市民公園として、あるいは観光資源としてどうするのかの方針が未だ示されていないようです。一刻も早く出さないと次の絵が書けないのです。

景気が悪くなったため、再開発に参画する企業も限られてくるでしょう。残る公園部分が明確にならないと次のステップに進めないのです。本気で必要とするのなら早急に意思表示すべきです。

私は、倉敷市にとっては貴重な観光資源であり起爆剤となると考えます。再開発して新たな集客施設として新規オープンすべきでしょう。

坂口社長は責任感強く、最後の清算まで済ませると意気込んでいます。

(H20・11・9)

寒い日になった。これが正常な寒さといえるが、今までが暖かかったため身にしみる。体が慣れていない。これから冬に向けて進むのだが、正月まで一ヶ月半程。年末年始は、暦の関係で最大9日間休暇が取れる人もいる。収縮しているのは体だけでなく、財布の口も堅く締まって個人消費も冴えない。不景気な歳の瀬になるのかと思う。

景気回復は、3年かかると政府が太鼓判を押しているのだから、当分の間は冴えないであろう。そうだとすれば、静かに家の中で暮らすのが最も良いことだろう。良書を読むか、質のよいテレビを見るかしらしよう。個人差により何がよいかどうかは分かれますが。暇つぶしに酒ばかり飲んではいけません。

ところで、紅葉は標高の高い所に行けば結構始まっている。不思議なことは、同じ場所でも、紅葉が早い木あれば遅い木もあって時間差があること。また、月日は概ね決まった時に寒くならないと、そのまま葉が中途半端な状態で、紅葉せずに落ちることです。私の造語「適時適熟」というところか。

平成20年11月18日 馬場 勉

石井知事の4選勝利を祝賀する

自尊に陥らず、有終の美を飾って欲しい。

今年も、あと残すところ2ヵ月弱。政治・経済の混乱は、時代の大きな節目（チェンジ）の前ぶれを想起させる。当分の間、不安定な世相は変わらないだろう。

1. 株価の乱高下は続く

100年に一度あるか無いかの経済の大混乱らしい。株に興味がなくとも、実体経済は悪化の方向に進んでおり、奈落の苦しみを全世界の人々が味わうことになる。実生活に多大な影響が出て生活難をもたらした。

アメリカのサブプライムローンの崩壊が引き金になったと見るのが一般的である。金融派生商品として不動産の証券化が花形としてデビューし、ヘッジファンドなど花盛りであったが、今や崩壊の憂き目である。

仮に、株や投資で稼いでいる人々がいるとすれば、相当の授業料を過去に支払って、常に勉強しているはずである。マーケットがグローバル化していること、また、通信の発達により瞬時に情報が伝達されるため、その気になれば稼げるようだ。

さて、参考になる話。サブプライムローンにより空き家になった不動産を米国政府が買い取る政策は、ドブに金を捨てるようなものだという説。なぜならば、米国では、結婚しない女性が増えており、郊外の戸建は子供がいらないので必要ない。逆ドーナツ現象で、都心回帰が現れているというのだ。説得力のある筋の通った見通しだ。建物は売れない。

日本の不動産市場も同様の傾向が健在化しており、顕著になるだろうから、住宅地の需要の減退による価格下落は当然の結末である。このことは、強く認識しておく必要がある。

2. 総括と選挙戦略の研究を

実績と実力を誇る石井正弘氏が知事選に勝利した。あと4年間、岡山県のために勇猛果敢にリーダーシップを発揮され、全国民の誰もが岡

山の位置を確認できるような誇り高い県にしてほしい。実際問題、岡山を知らない人が多過ぎます。

今回の“石井対住宅（スミタク）”の戦いは、12年間ほとんど毎日マスコミに登場した石井氏に対して“ちくわ奏者”として少しは名を馳せている住宅氏が1ヵ月半で挑んだ。

本来、喧嘩にならない相手と判断するのが常識。ところが大接戦。住宅氏はよくやったというのが大方の見方といえる。

選挙戦は、最後の土壇場で、石井陣営の死にものぐるいの戦略が凄まじかった。初めは、住宅氏を泡沫候補ぐらいにあしらっていたのだが、4選批判や其の他の諸問題に対する感情のしこりもあって、終盤になって石井陣営は危機感を抱き、戦術・戦略の限界までネジを巻いた。

それも投票が終了するまで手を休めなかった。経験則上、最後の3日間で選挙は決まるものだからだ。

一方、住宅陣営には世の中の風向きが思ったより良かった。個人演説会にも多くが集まり、「ヤレる」という気の緩みが生じて、最後まで闘争心が集中できず負けた。

石井知事の当確が出た時の知事の“涙”が、最後の熾烈な闘いを物語っている。残念に思うことは、住宅陣営が最終段階で安心した気持ちになってしまったことだ。それが5万票余の差になった。

岡山市・倉敷市・早島町の県南の都心部は住宅氏の方が多かったのだから、その気になれば十分に獲得できた票差であった。「銃後の守り」の陣頭をとる厳しい参謀がいたら、結果は変わっていただろう。残念だ。

何れにせよ、敗北した選挙結果は、厳粛に受け止めて捲土重来を期す必要がある。石井知事は、後世の県民から「中興の祖」と崇められるような“名知事”になられることを願望します。本心からそう思います。

(H20・10・29)

円高が一進一退で進行中。海外旅行が安くなったと喜ぶ人は幸せ。現実には、申し込みは少ないようだ。年末年始は、12月27日から1月4日まで取れる人は9日間的大型休暇です。さて、どう過ごすかです。まだ株価は乱高下が何回かあるはず。ヘッジファンドが大量の売りを出した時があって暴落(1,000円)しました。何時かは、株価は回復するはずですから、気長に考えるか目先の動静に血なまこになって一喜一憂するかあなたは、どちら派でしょうか。株はキャッチボール（スポーツ）と思えばいいのではないのでしょうか。本業は、あくまで大切にしましょう。

紅葉狩りは定番の所でしたら、これからでしょう。蒜山・大山地方や閑谷学校などは、お勧めです。なお、京都は紅葉が素晴らしい所の名所が結構あります。ただ、宿がとりにくいようですが…。お客様を引き付ける自然は、岡山にも随所にあります。観光客等の吸引力が弱いようです。 平成20年11月9日 馬場 勉

歴史の重みは人々を感動させる。 日露戦争跡と孔子の生まれた里への旅行記。

はや10月も半ば。昼夜の寒暖の差が激しい。今年は、日照が良かったのに、雨が少なく果物のできは、まずまずだったというのが相場。

1. 一服しましょうや～

世の中はセンキョ、センキョで騒々しい。知事選・衆議院選が行われる。どういう結果になるかは見ものです。

当分の間選挙のことは、遠慮して書かないことにします。(本当は法律に触れないようにするため)

何か楽しいことを書いてほしいというリクエストもあり、旅行した見聞録を書いてみましょう。

私は、B型人間の典型のような人物で、何事にも好奇心があり興味が湧きます。パットヒラメクのですが早とちりして失敗することたまにはあります。

私が一緒に同行していると旅行が盛り上がるようで、行かなかった時は「なぜ来なかったのか」とお叱りを受けることもあります。

東京は大都会ですが、皇居をはじめ大きな緑の森が点在して多くあります。岡山市にも遊休地をとりあえず大型公園にしたらいのでは、と審議会等で提案するのですが、「国の基準に見合うだけの公園部分は存在している」とか「落ち葉の掃除に困る」とか本気になってくれません。

法律に合致すればそれ以上は必要ないという考えが支配的です。また掃除をする人を雇用することは失業対策になると思うのですがねえ。

中国では道路を掃除する人がいる。なのに、岡山ではその人件費が無いくらい貧乏なのでしょうか？さらに専門の掃除人を採用すると考える余裕も無いのですかねえ？どうも、公務員諸公は頭が硬いようです。

政令指定都市が誕生すると浮かれる前に、足下を見直してみられては如何ですか。心豊かに暮らせる安全・安心な岡山にしてほしいと願っ

ています。

2. 広大な中国大陸を見聞

中国では、目的地に行くのに飛行機や主要都市から高速道を車で数時間はざら。だから、すぐそこと思っても一日がかりの強行軍になる。

岡山商科大学・岡山孔子学院の訪中国に参加して、大連から孔子の生まれ故郷、曲阜（きょくふ）へと旅した。

岡山と大連間には直行便がある。大連は、戦前の満州国の中心地で日本人には馴染みが深い。旅順港、203高地、旧満鉄本社など見所も多い。日露戦争にまつわる203高地（海拔203m）は乃木大将の名と共に有名である。

不凍港として名高い旅順港はバルチック艦隊とともに歴史上の場所である。旧満鉄本社は、日本の官庁を模倣した建物でまだ現存しています。大連は、食事が美味いから食べることに生きがいを感じるものとしては、また行ってみたい。綺麗な街並みである。ただ、遊ぶ所は少ないそうです。

曲阜へは、大連から済南へ飛行機で1時間、さらに車で高速道を2時間程のところにある。孔子の生まれた故郷である。一步旧市内に入ると2500年の歴史の重みをひしひしとを感じる。

概ね3カ所（孔廟・孔府・孔林）に分かれている。区域は広い。一朝一夕に出来上がった街並みではない。一度は訪ねてみたいところ。林は墳墓のあるところを意味する。今では、高速道を車で行けるため、さほど苦にはならないが、昔は大変な田舎であった。だから俗化されずに残った。

今の世を支配するアメリカはせいぜい500年程の歴史。それに比べ中国は3000年以上。今をときめくそのアメリカも株やドルの混乱で国が衰退途上にある。そのうち、とって代わる国が出てくるだろう。歴史はくり返す。

(H20・10・15)

今年は秋の訪れが遅いようです。自称自由人である私は、形式ばらず未だ昼間は半袖でノーネクタイを通しています。暑いからです。

先日、奈良で大会がありまいりました。小旅行に奈良周辺を回りました。「大極殿」が建設中で中を見学させてもらいました。団体で行くと個人では入れてもらえないような場所でも特別拝観できることが多いので、できるだけ参加するようにしています。大極殿は奈良の都の平城京1300年の復元作業の一環です。すでに「南大門」はできています。気になることは、日本には大木がほとんど無くなっていることです。ひび割れを防ぐためには芯を避けて造作するのですが、そうすれば2倍の大きさの木が必要となります。そういう千年以上の名木が無いのです。ですから、500年程度の木であれば柱にひび割れが入って目障りになり目立つのです。日本産で作ることが前提ですから、仕方ないことなのではないでしょうか。今から植えても間にあいません。それが日本の森林の現実なのです。

平成20年10月21日 馬場 勉

心静かに一喜一憂するな

歴史に残る政治・経済の大混乱の真っ只中。

9月が終わった。例年になく台風が少ない。実りの秋を迎える。「おかやま適塾」で秋の夜長“知るを楽しむ”勉学に勤めましょう。

1. 「日経テスト」受験記

誰に依頼され、あるいは強制されたわけでもないが、先日、日本経済新聞社主催の第1回「日経テスト」なるものを受けた。

いきなり本番。現在の實力は散々。知っていることについてはやさしいのだが、知識不足のものは手に負えなかった。100問を80分で解くのは時間的に厳しい。1問1分はかかると思う。時間切れでアウト。

「日経テスト」は知識と考える力により、経済知力の尺度を測ることを目的としている。春と秋の年2回行われる。

大学の階段教室で受験。結構窮屈に感じた。学生の時はスレンダーだったから、特に座り心地に問題はなかった。カップクが良くなったのとあまり硬いイスに平素座らないので今の体格ではきつかった。

「日経テスト」は就職活動の武器に使えるのではないか、1000点満点で、高得点を取ったということになれば、経済的知識と視野が広く、かつ学問好きな若者と評価される。

また、採用側からは有力な人物評価の参考資料として利用できる。必要以上に高得点は必要でなく、一定のレベル以上あれば“よし”とするのが正解。経済のことばかりに専念してはダメだから。

まず、自発的に受けてみたいという好奇心と勉強する姿勢や真摯な態度は買ってやればよい。意欲的で積極的な若者は、社会に出てもそれなりの努力をする。

2. 世の中なんとかならぬか

政治・経済・社会いずれをとってもなんだかおかしい。

◎政治は、小泉内閣以降1年程で続けて投げ

出した。安倍・福田さん！辞めればよいというものではありません。麻生さんは、主流は仲良しを集めて組閣したようですが、早くも確信犯的発言で更迭劇。

勇ましい中山大臣の奥さんは拉致問題に精進され、癒し系の優しい話し方をするあの有名なお方でした。

衆議院は、いつ解散になるのかと話題になっている。天下分け目の“関が原”以上。日本の将来を決める重大な選択です。また、岡山県知事選は10月26日にあります。立候補者は、面白い組み合わせです。

県民の選択は、チェンジを望んで住宅氏へか、いや実績があつて有能な石井知事か、さてどうなるのでしょうか。新風が吹くか否か、やってみないと分かりません。

◎経済は、100年に一度といわれるような想定外の事態で一喜一憂です。株の乱高下は経済がよく理解できて勉強になります。ブラックマンデー、あるいは、同時多発テロの時を越える史上最大の株の下落です。

“金融工学”という実学により、頭脳明晰な人達がコンピューターを駆使して作り上げた金融派生商品が、大手証券会社の倒産を誘発しました。

サブプライムローンという不良債権を忍び込ませていたことは“事故米”などを混ぜたのと同じ手口。人間が欲と守銭奴になって、人間の誇りとか生命の尊厳などお構い無しでやりたい放題をやればいつかは天罰が当たるはずです。

◎社会問題は根が深い。分からなければ何をやっても良いという思想や風潮が蔓延している。

小泉元総理は「人生いろいろ」と辞めればそれまでですが、小泉さんの後始末で本当に困っています。バブルが弾けたのと同じ。後継者に二男を推薦するに至っては、かつては勇ましい変人であったのですが、所詮は“ただの人”でした。嗚呼。

(H20・9・30)

今日は10月8日(休)。「おかやま適塾」では、今夜、臨済宗妙心寺派曹源寺の原田住職さんに話してもらいます。高僧による法話は、是非拝聴したいところです。

岡山商科大学の孔子学院主催の孔子の故郷を巡る旅に参加して昨日帰ってきました。大連から済南へと飛び、そこから“曲阜”までクルマで約2時間のところに、孔子の生れた里があります。一朝一夕にできるような代物ではなく歴史を感じます。一見の価値あり。世界遺産。日本では、孔子の論語等はよく知られ日本人の精神構造に深く根付いています。

本家中国では、文化大革命のときは高い評価は得られなかった。中国の開放経済政策により格差社会ができてお金、お金の社会になり孔子は忘れられていたのです。しかし、昨今は復活の兆しがでているようです。一度は訪れてみたいところです。是非機会があればおいで下さい。強行軍ですが良かったですよ。

平成20年10月8日 馬場 勉

元気で100歳までガンバろう！

体力を鍛え、気力の充実が原動力になる。

秋たけなわ。夏が暑かったので果物の出来が最高。自然の恵みを、素直にありがたく享受しましょう。

1. 百歳バンザイ！

NHKに「百歳バンザイ」という番組がある。敬老の日（9月15日朝）の特別番組を見た。百歳以上の方の話には重みも説得力もあった。

百歳以上の方が3万人を超える。長寿社会の日本にあって元気に現役で働いている天与の人材。1億人余の人口から見れば一握りの人ともいえるが、非常に参考になった。

人生の先達。“学”のある無しに関わらず一筋の道を究め、精進している人の話には無駄が無く、万人の心を打つものがある。

出演者は、すごいパワーの持ち主。

◎身体を鍛えて鉄人アスリートで円盤投げ日本一の人◎英語と共に88年を過ごした。綺麗な発音で英語を教えている人◎水墨画家として、構想を練り一気に水墨画を書き、お弟子さんに教えている人◎山田耕筰の弟子で、声楽家の女性。プロの人を対象に指導している人◎名誉教授ながら、手作り玩具をひろめるために全世界を旅している人—。

先達の人生訓は、単刀直入だ。

◎当分、死なれん◎親と子が一緒に作るこれぞ教育◎クヨクヨしないこと◎まだまだ102歳は青年。これからもガンバル◎百万の味方があれば、楽しみが湧く◎身も心も使えば使うほど光る◎感謝◎前進することは元気だ◎無我◎歌はお話◎きついのが楽しみ。記録を伸ばす努力を惜しまないこと◎自分が楽しいからやる◎毎日少しずつ続けること—等々。

ところで先日、作家の瀬戸内寂聴さんが岡山にみえて講演会があった。岡山市民会館いっぱいの約1700人を前に張りのある声で熱弁をふるわれた。ほとんどが中年以上の女性と思しき方々で男性は少なかった。

さて、質問の時間が設けられて手がたくさん

拳がった。私も「86歳と言うことだが、平均寿命だから“たいしたことは無い”これからも社会貢献に努めてほしい。今の社会は混乱しているが、世の中が良くなるには如何にあるべきかを教えてほしい」旨を話したところ、“たいしたことは無い”という言葉が心証を害したらしく反論された。そんなにむきになることも無いだろうと思ったが…。

百歳バンザイの人達のことを考えれば、「たいしたことは無い」。長生きして社会に更に尽くしたいと率直に答えれば、もっと寂聴さんは光り輝きますよ。

「世の中が乱れているのはアメリカ流の考えや様式を取り入れ過ぎたためであって、日本の伝統的文化を大切に基礎とすべきである」旨の回答であった。

2. 同日選挙の公算大か？

想定外のことが、次から次におきるものだ。岡山県知事選挙は10月9日告示、10月26日投開票と決定済み。しかし福田退陣により自民党の総裁選挙が行われ、麻生氏が総理になる見込みで、衆議院が臨時国会冒頭に解散されれば、10月26日投開票ということになる余地がある。

県知事選と衆院議員選が重なれば、県知事選の結果はどうなるのか興味のあるところだ。投票率は高くなる。岡山県民は、県知事選にどう対処するのか？

チェンジ（交代）を望むのかどうかだ。選挙は水物だから、人のちょっとした心の揺れで結果が大きく左右される。同日選挙であれば、選挙費用が億単位で安くなるようだ。経費削減になり県の台所は助かる。

「おかやま適塾」主催で立候補予定者の立会演説会をしたいと申し込んでいるのだが、時間が取れないとの理由で、政策や主張の機会が断ち切れになりそう。残念の極みです。

(H20・9・16)

「秋分の日」を迎えると朝夕めっきりしのぎやすくなりました。

久しぶりに、“六本木ヒルズ”の展望台にのぼりました。当ビルの入場者数が減少傾向にあるとは聞いていましたが、窓際にイスやテーブルが置かれています。要は、ゆっくりお茶を飲みながら大東京を展望して下さいということらしい。開店当時はガラス窓にへばりついて外を見ていたのですが、そういうことのできる空間の場所は少なくなっていました。「通過型から滞在型」に展望台が変遷したようです。ということは、お客が少なくなったので一服して休んでもらって、お金を落として頂くということか。チャッカリしていますね。確かに最近、次から次に東京都心には新しい名所が出来ているから、何時までもお客集めの刺激は続かない。チボリ公園の魅力不足はそういうところにあったのでは？それにしても雨上がりの東京の夜景は素晴らしい。平成20年9月24日 馬場 勉

政治の世界、一寸先は闇だ 無責任がまかり通る日本、特に岡山

9月に入った。過ごし易い時候になった。今年は残り4カ月。政治、経済の混乱と不安定は困ったものだ。

1. 重要選挙 “秋の陣”

現職、石井知事の立候補のみかと思われていた岡山県知事選（10月9日告示、10月26日投開票）に、民謡に造詣の深い“ちくわ奏者”で経営者の住宅正人さんが立候補表明、さらに有力な予定者がいるとの観測。

がぜん面白くなった。「おかやま適塾」主催で立会演説会をしたいと思っている。選挙戦を盛り上げて投票率向上に一役買いたい。

また、福田首相が9月1日夜退陣表明。びっくりした、というのが世評だが、私はさほど驚かなかった。変化の激しい時代だから、何があってもすぐ対応できる心の準備は、おこたらないような心がけている。

早かれ遅かれ天下分け目の戦いは訪れる。政権交代はあり得ることだ。自民党は長年の政権維持で疲労困憊している。民主党は政権に手がかかっているが如何せん人材不足。地方の足・腰が弱い。長い間、野党に甘んじていたため実績不足が目立つ。

いずれにせよ、経済や政治の停滞は日本のために良くない。非常に困ったものだ。大胆な変化（チェンジ）が必要だ。県知事選もチェンジを選ぶか現状を維持するか選択の争い。安定していると思われる政治家さんも逆風にさらされる“秋の陣”になるのではないかと。

“まさか”という結果になる可能性が大であるから油断大敵。準備を怠らないこと。要は将来を見越した関が原の戦いになるのではないかと。岡山は国政選挙に目が移って県知事選が埋没してしまうことを恐れる。

2. 百聞は一見に如かず

「おかやま適塾」は一回目から蓄積した講演が

30回を超えた。音声のみのものも含めれば講師は50人以上になる。

これらを公開することにより岡山の文化芸術・学問・協会活動・スポーツ等により、地域活性化に役立つだけでなく、ひとかどの人達の生き様、考え方、日常生活の行動形態等を知ることによって、若い人には刺激となると共に励みとなる。

そう思った思いで、ホームページ<http://okayamatekijuku.jp>で動画を発信中であるから、インターネットを通じて地球の裏からでも、何時でも何処でも見ることができる。是非ご覧下さい。

主催者からのお願いとして、社員教育の一環として、あるいは公務員等においては視野の広い生きた教材として、仮に日常業務が多忙であっても「知識や知る楽しみを得る」ために活用して欲しいと思います。

特に、数千人規模の企業では、社長の顔も声もましてやどんな考えの持ち主かなど、人柄も知らない社員等も多いのだ。

雇用形態が複雑化して正社員のみではなく、非正社員が多く一緒に働いているから、共通の認識や会社等のために尽力するという気持ちの高揚を共有するためにも、社員等が動画を見ることにより、会社の活動等を再発見して欲しい。

職員等に動画を見せて、レポート等を提出させるのもよい。本を読んだり、日常業務に専念するだけでは、広い視野に立った知識とか、人間の持つオーラは知りえないと思う。会場に足を運んで肌で感じる、あるいは、動画を見て感動するというのが良いのではないのでしょうか。

私は、社員教育あるいは公務員などの研修として、会場におもむいて参加させるのがよいと思う。ひいては社員の人物評価、人事考査の参考にもできる。身近にいる人に教えられることが一番大切に重要なのではあるまいか。

(H20・9・2)

朝夕しのぎやすくなりました。やはり秋になりつつあるんですね。

にわかに選挙の声が聞こえてきます。県知事選は確定済み（10月9日告示、10月26日投開票）ですが、衆議院選が近々行われることになりそうです。衆議院の解散が早まり10月26日投開票の県知事選と同時に行われれば、投票率も高くなり経費は億単位で安くなる。果たしてどうなるのでしょうか？一寸先は闇で約束できません。

岡山市が政令指定都市になるのは時間の問題ですが、岡山市中心市街地をコンパクト都市にするための青写真を書かなければなりません。然るに、全然前に進まず議論も棚上げです。これからは複合型の多目的かつ高層ビルを市の施設とするべきでしょう。単体のハコものはもういりません。能率的かつ効率のよい複合的仕様の建物の時代になります。

平成20年9月10日 馬場 勉

完全燃焼。勝って涙、負けても涙。 新旧交代が鮮明になった北京オリンピック

女子マラソン日本代表、中村友梨香の力走を足摺岬のホテルで見た。残念だったが経験を積み4年後のロンドンでは、金メダルが取れる。

1. 灯台下暗し

今年の夏の暑さには参った。だが、そのおかげで白桃・ぶどう等の果物は、糖度も高く収穫は上出来。山海の珍味が多く、果物・野菜等に恵まれている岡山ではあるが、地元民が知らない食べ物も結構ある。

5～6年前から、「桃太郎ぶどう」と名付けられた大粒のぶどうが開発された。贈答品が主流だったので岡山の庶民は知らず、口に入れることも無かった。とある会合でしっかり食べたところ美味しかった。

また、「青うなぎ」という岡山の天然うなぎがいることも知らなかった。吉井川の下流などにおいてシャコを食べる贅沢なうなぎ。ウツボに似た面構えをしているうなぎ。先日の会合でいやというほど「青うなぎづくし」で食べさせてもらった。

養殖うなぎのように脂濃くなく、かなりの量を食べても飽くことは無い。地物のうなぎは量が少なく、値段も高いため、県民の口に入る機会が少ない。残念の極み。

田舎の「道の駅」に立ち寄れば、地元の珍しい物に出会えることも多い。「道の駅」は秘境といわれるようなところが、都会の人にとって珍しい。良い地物がある。田舎もガンバッテイル。雇用の場も提供している「道の駅」は商売繁盛している。

人の幸せは、東京など経済的に優れたにぎやかな所に住むのも結構だが、田舎で自分たちで作ったものを都会の人に活用してもらおう。さらに食べてもらうのも“生きがい”である。本当のところ“幸せ”とは何であろうかと思う。田舎の人の方が心豊かに幸せなのかもしれない。

2. 女性優位の日本選手団

テレビに露出されるオリンピック出場の日本

人アスリートは、女性が目立つ。女性の方が元気が良い。

岡山の天満屋所属の中村友梨香選手は13位に終わったが、将来に期待が膨らんだ。9月10日の「おかやま適塾」に武富監督と共に出演していただくことになっているのでぜひおいで下さい。演出は考慮中。

演技を終わった時やメダルを掛けて出演した時の“生の声”には実感がこもっている。嘘隠しのない心情を吐露している。4年間の必死の努力をした人から発せられる言葉ゆえ重みがある。聞く者もらい泣きする場合だってある。

真剣に試合をしている時の顔付には眼光鋭く、引き締まった体に恐ろしささえ覚えた。感動を与えてくれる。「長くもがく種目」がケイリンといった選手がいた。思うに名言。

ところで、私は陸連という組織とは縁が無いが、天満屋の森本友さんを女子マラソンの補欠として任命していたのだから、出場辞退した選手の代わりに走るものと思っていたらそうではなかった。7月末時点で出場者（補欠者）の届出を国際オリンピック委員会にしなければならぬのに申請しなかった。さらに7月末時点で補欠の拘束を取り消していた。

危機管理の欠如は遺憾ともしがたい。すなわち、◎3人の健康状態を事前に把握していないのか。本当は知っていたのでは？◎本番までに何が起るか分からない。特に女子の場合はデリケートだから、補欠の申請をしておくべきだ。いざという時は、代表選手の入替えをするのが当然の責務だと思う。

補欠を申請もせず内定を取り消して、後は自由にやれということになれば、補欠選手は目標を失って気分も緩む。いきなり代わりに走れといわれても無理。だから、武富監督の一連の判断は妥当であった。

(H20・8・20)

今年の夏は、ことのほか暑かったので頭がボットしていたこともあり、また、お盆に阿波踊りと八十八カ所巡りをしていたため、うっかり送信するのを失念していました。遅れましたが、北京オリンピックのことを書いていますので御一読下さい。

9月に入り、政局は不安定。経済も混乱し株価は低迷しどうにもなりません。賃金は下降気味なのに、物価は上昇しています。原油へのファンドの投資劇がそもその問題の引き金になった。そのため、本来人が食べる穀物がガソリン等に変質され利用されるなど、穀物価格が高騰するなど良く分からない社会現象です。

さて、「おかやま適塾」では来る9月10日(水)夜18:30～20:30迄、さん太ホールで北京オリンピックの女子マラソンで全力疾走した中村友梨香さんと武富監督を迎えてトークします。都合をつけて是非おいで下さい。お待ちしております。楽しい話が聞けますよ～。

平成20年9月4日 馬場 勉

幕引きは知事が自分でやるべきだ。

岡山県民は誠実かつ正直に対応する人を好む。

暑さを吹き飛ばすカミナリによる激しい雨。今年は暑いから、まだ積乱雲によるカミナリが鳴るだろう。

1. 歴史に学べ

1930年代（昭和5年～）は世界恐慌から始まって日本恐慌へと経済は不景気のどん底時代へと。世界は、戦争へと突き進んだ。

大学は出て就職できない。東北地方はみじめさが深刻で、貧困のため娘を売る生活を強いられた。青年将校が世直しを叫び政治家を標的に5・15事件（犬養毅総理が暗殺された）が起こるなど、騒然とした時代であった。

当時、政治を変えるという「憂国の士」はいたが、無差別に一般人を誰でもよいからムシャクシャした気分を晴らすため手当たり次第に殺すということは無かった。

バブル崩壊後、就職できなかった世代の人が、フリーターなど定職がないため世の中を逆恨み、あるいは、家庭崩壊が原因、さらには、些細なことで切れるということが事件の背景らしい。忍耐力が乏しく足腰が弱いということも確かだ。

どうすれば、世の中を無差別殺人から救えるか。政策も色々品揃えされているようだ。教育に基本的な欠点があったともいえる。しかし、それだけで、解決できる問題ではあるまい。やはり、日本の過去の歴史を学び、時代を対比させてどうするかを考えることも大切ではないか。

労働の大切さを、身をもって示すことが若年層を立ち直らせる一方策ではないかと思う。各層の老若男女が、真剣にどうすべきか考える時だ。

2. 事業にも“ころ”がある。

「おかやま適塾」でチボリ・ジャパン社の坂口社長が講演した。

「事業のころ」とはすなわち◎お客様のころ

◎社員のころ◎株主のころ◎近隣の方々、県民、市民のころ◎取引先の方々のころ、等々だという。

言われてみれば、その通りである。私は若干名の職員を雇用し、専門的な仕事を30年以上やって今日に至った。考えてみれば、“ころ”がそれなりにあった。これからも、“ころ”を大切にしたいと思う。

翻って、チボリ問題を思う時、今の公園を大切に継続していきたい、あるいは形を変えて残したいと真剣に考え努力している人達が多い中、県税を投入するのだからもう閉園にしようという考えもある。

いずれもそれなりに説得力がある。ただチボリ公園は、岡山県が「総合福祉計画」の一環として始めた公園であることを忘れてはならない。

事業は、成功することもあれば不成功に終わることもある。成功しなかった場合に解散したいと思うのも人情である。問題は岡山県が始めた事業だから、幕引きも岡山県の代表である石井知事がみずからの手でやるべきだ。

しかるに、自分の口からは閉園を言わないで周りの取締役役解散の動議をさせて、自分はいい子になりたいという姿勢に対して、反感を抱いている。

株主代表訴訟を恐れているらしいが、どうあがいてもどのような小手先の手法をとっても、チボリ・ジャパン社の会長であって指導的役割を果たしてきたのだから、道義的にも法律的にも逃げることはできないのである。

結論的には、知事自ら解散の発言をして、実際に解散するのが一番よい方法なのだ。解散後どうするかについては、県は考えなくても、すでにある程度方針は煮詰まっている。

要は、「ああいえばこういう」人はいない方が話はしやすいし、次のステップに進めるということなのだ。

(H20・7・30)

あす8月2日から“おかやま桃太郎まつり”がはじまる。「花火」と「うらじゃ踊り」がメイン行事。関係者の話では、後始末のゴミ掃除が大変なんだそうだ。一度やればうんざり。もうやりたくなくなるようだ。そういう関係者の努力で成り立っている。裏方の涙汗の流れる労をねぎらいたいものです。

今年は、夏が暑いから「路地もの」の果物が沢山取れそう。日照は良いから甘さはあるはずだが玉の大きさはどうか、値段も気になる。白桃はお盆前後がヤマ場。食べることは楽しみであるから、夏を満喫しようではありませんか。

チボリの話は飽きてきたので、そろそろ卒業したい。将来的には、三井不動産の計画になるアウトレットモールを主流とした、チボリ公園を一部残しつつ併用する商業施設等が出来上がるはず。私の予測が、当たり未来永劫に成功しますように祈っています。

平成20年8月1日 馬場 勉

「ヤル気」と「情熱」が生気をみなぎらせる 働くことがいかに大切かを知って悟る

梅雨明けも間近。本格的な夏の到来。今年は、暑い夏の予感がする。

1. 「楽しい話」のご依頼あり

岡山には、ウットウシイ品格を疑いたくなるような話が多過ぎると、岡山の企業などを回っているマスコミ関係の人がコボしていた。私の文章も、面白くもおかしくも無いものが多くてつまらないと反省しきり。

彼曰く。「少し楽しい話を書いてくれませんか」とのこと。楽しい話と言われても…。旅の話のリクエストされているが、名案は浮かばない。

確かにウナギの産地偽装をはじめ、お金になれば何でもやるという人が多過ぎる。○△産と表示してあっても、本当かなど疑いの気持ちが湧く。非常に困ったことで、子供の教育にも良くないし、影響は甚大だ。大人の責任は大きい。

本格的な夏になるから、涼しい所に旅するのも良いかも。海と山が定番だろう。岡山県内にも至る所に良い所はあります。わざわざ北海道や沖縄にまで行かなくても、隠れた名所旧跡や自然を楽しめるところが結構ありますから…。

どのようにして探すかだが、昨今は“旅”を特集した雑誌やホームページ等で気軽に検索できる時代です。

逆に、美術館や水族館など屋内で楽しめるものもあります。見るだけでなく体験型の物もありますから、「山伏修行」はいかがですか？

座禅をして瞑想にふけるのもよい。何か思い出に残るような経験をすることをお勧めします。四国八十八カ所巡りも忘れないで下さい。山岳仏教だったお寺さんは、山の上であって涼しく昼なお暗いです。

「おかやま適塾」もためになり楽しいですから是非どうぞ！

2. 「働く」ことは良いことだ

たまたま、目にとまったのが7月4日付の産経新聞。元赤軍派議長、塩見孝也さん（67歳）

に関する記事。

昭和40年代半ばは、騒然とした世の中だった。団塊の世代以上の人であれば、赤軍派といえ一世を風靡したので知っているはず。武装闘争を叫んだ超過激な集団だった。

19年9カ月の獄中生活をした筋金入りのリーダーだったのが塩見さんだ。「日本のレーニン」と、もてはやされた。現在の様子が紹介され、心境が赤裸々に記述されていたので興味深く読んだ。

少し前から、東京の清瀬市シルバー人材センターに登録して、市営駐車場で月に9日程、汗を流している。

「この歳になって、ようやく労働の意義を実感している。息子が『親父がまともな仕事するのは初めてだ』と喜んでいる」とのこと。

何を今更と思うが、ずっとカンパや講演料に頼って生活してきたそうだから、優雅な生活が身に染みていたのでしょう。

しかし、昨秋に病気になったのがきっかけで、もっと自活能力を付けて地に足の付いた生活をしながら「革命を追求したい」と働き出したとのこと。

塩見さんは「働くことは、素晴らしいことだ。理論だけでなく実践したらいい」と、自分自身の初めての労働に嬉しそうだ。彼を通して、普通人の平凡な営みがいかに大切であるかを、改めて認識させてくれる。

また、「僕のこれまでの生涯は民衆に奉仕するというより、民衆に寄生してきた。だからこそ、自己労働をいくばかりかでもやり、本物の革命家になりたい」とも言う。

公務員諸氏は、本人は一生懸命国のために働いていると思っているのだが、国民に奉仕するというより国民に寄生していると思われぬようにしてほしい。

「自今生涯」すなわち、「今からが我が人生の始まり」という前向きの姿勢で働こう。

(H20・7・7)

今朝、今年初めて？セミの合唱を聞いた。当分の間、蟬時雨に悩まされなければなりません。街中ですが、農業用水が流れ木が茂っていたりするものだからセミが多く、毎年のことながら、すごいセミの声に、風情どころではないのです。

梅雨明け宣言がようやくありました。すでに真夏です。今年の夏は暑い予感がします。“夏休み”は、特に決まりがあるのではないのですが、お盆休みが中心になります。岡山もウラジャ祭りなど、夏の趣向を凝らしたものが行われています。私は、ただいま夏休みについて思案中ですが、「京の夏の旅」か「阿波踊り」と、いつもの定番に落ち着くのではないかと思っています。

予告になりますが、「おかやま適塾」がすでに30回を越え、9月以降より12月までの7人の人選も済み、日程調整中です。過去の分を含めてホームページに「動画」として公開したいと思い、現在、鋭意作業中です。協賛企業（スポンサー）等を募集しますのでその節は、よろしくお願いします。平成20年7月16日 馬場 勉

岡山県は石井知事の玩具ではない！

明日の岡山のために建設的な激論を

時の流れにつれて、梅雨の雰囲気も変わってきた模様。ジメジメ型から集中豪雨型へ。世の中は普遍的な定形性はないと思う。

1. 「病」は気から

精神的な病気は、気持ちの持ち方次第で変えると思う。知人で顔色も冴えず痩せてきた人がいた。話しているとうつ病のクスリを飲んでいるとのことだった。人間関係がうまくいかず悩んでいた。

互いに食事をしながら数回雑談をしたら段々良くなり、クスリを止めたそうだ。すると、禁断症状に悩まされたが、それも克服して、ふっくらと太り顔色も良くなってきたので、私は人助けができた与自己満足している。

先日、無性に八十八カ所巡りがしたくなり松山方面に行った。交通費がかかるので、たびたびは行けないのが現実。古老の住職さんと話す。蓮池があり、色とりどりの蓮が咲いていた。

蓮は、朝4時頃開き始め昼頃には花が閉じるとのこと。3日間連続で花が開き閉じる。4日目には散って行くのだそうだ。また、開く時に熱を発するそうで、蝶など呼び寄せるためらしいとのことだった。

こういう楽しい話をしながら、気ままに適宜廻っている。忙しい時代ゆえに最高の贅沢とも言える。お寺さん巡りをするのも精神の安定に良いのではと思う。

昨今の殺伐とした通り魔事件を起こす人達は、物言わぬ電子機器と離れて、歩き遍路でもすれば何か変わるのではないかと思う。良好な人間関係はクスリに勝るはずだから。

2. 「株主総会」で最終決着を

混迷を深めるチボリ公園の行方は？本気に考えていたらあほらしくなる。それぞれが自分を正当化し、妥協なきガチンコを繰り返している。

冷静な話し合いは無いのかと思う。

いずれにせよチボリ・ジャパンは、株式会社ゆえ株主総会で株主の総意に従うことになる。取締役会を無視するのではないが、株主総会で否定されれば、“はい、それまでよ…”，と言う事になる。

株主総会では株主から「動議」が出るであろう。廃園か完全民営化か、その折衷的形態か、いずれかである。また、10月末頃には、知事選の結果が出るから新知事のもとで判断をしたら良いと言う主張も当然のことながら「動議」として出るだろう。

石井知事の公共性の考えには疑念がある。チボリを巡る裁判では、公共性がある公園だと主張し続けてきたのに、商業的色彩を付け加えたら公共性がないと言う主張は自己矛盾ではないか。人間の生活行動は何がしかの公共性がある。強・弱の差はあっても公共性のないものはない。

「観光立県」を目指すということで公費を投入することになっている。すなわち、公共性がある事が前提である。観光は商業的色彩が付いてまわる。チボリだって観光の一大拠点である。

一貫性の無い場当たりの感情論をぶつけあって中味のある議論をしないのは、岡山の将来を考えるべきトップの立場としてはふさわしくない。時間の無駄だ。岡山県発展のために何が必要であるのかを真摯に考えなくてはならない。

県庁の職員で、知事に進言できる人はいないようだ。長期政権になれば絶対的支配権を持つようになることは経験則で分かっているからこそ、4選以上は公認しないということになっている。正解である。

石井知事は「全ての責任を自分がとる」と公言しているが、具体的な責任の取り方を表明してほしい。例えば株主代表訴訟があった場合、自己責任でやる覚悟はあるのですかね～。

(20・6・24)

7月に入りました。すでに今年は半分が過ぎ去りました。早いと思うか、長かったと思うかは、それぞれの人の行動とも関わっているのですが、私はさほど時間の流れを早い・遅いと思わなくなりました。それなりに充実させています。

私が心配しているのは、うつ病になる人が多いこと、と、厭世気分になる人がめだつのは困ります。たとえば、チボリのことを真面目に考えてきた者にとって、長い時間が経過しても先が見えないため、勝手にしろ、どうでもなれという投げ遣りの雰囲気が漂いはじめた。本気で再構築しようという意欲のある人が段々と無くなりつつあって、関心が無くなる企業が多数を占めたのが不安です。チボリにとっても不幸なことだし、岡山県にとっても困ります。風化させてはいけません。

“旅”は行ける時に行っておきましょう。他人の手を借りた旅行などつまらないと考える。ところで、東京よりやはり京都は見るところが多く、穴場があって飽きがこない。東京は刺激はあるが、結構疲れます。私はやはり田舎者でしょうか？

平成20年7月2日 馬場 勉

県民は怒り心頭。「憂県の士」が「世直し」を！

「財政危機宣言」月給の遅配も視野に

「誰でもよかった。殺したかった」と無差別の通り魔事件（10年間で67件）が多い。世の中がいやになったとは困ったことだ。教育や格差など、根の深い社会問題が潜んでいる。

1. チボリ問題は知事選挙後に

倉敷チボリ公園を完全民営化する案が主張され、賛同者や応援団も旗を振り出し、ことは流動的になってきた。倉敷市長選により、市長や市議会議長が入れ変わったためすぐには対応できない模様。

現知事の任期は11月11日限りだから、10月下旬には選挙があり新知事が決まる。だから、新しい知事の下で、岡山県の方針を決定すればよい。何れにせよ12月31日までは、現状が維持できることになっているから、選挙後で対応できる。

対応策としては、県がチボリ・ジャパン社に転貸しをして、チボリから一切手を引く。債務保証等の確約を厳格にするため、公正証書を作成して法的にもはっきりさせる。株主の大半は、話せば分かるだろう。将来の岡山県の集客の核の一つとして広域観光に必要な施設であるから。

約束した期限内にタイミングよく県知事選があるので、争点にすればよい。小理屈を述べまくって、自分を正当化するのは、聞くに耐えない。もう懲り懲りだ。

2. 県民を愚弄するのか

県議会は、各党派何れも全員怒っている。県民だって怒っている。石井県政12年は何だったのか？

貯金は全部食い潰した。なおも弁解しているにすぎず、県民は不愉快の極みである。さらに4選に意欲を燃やし、策士よろしく時期を見計らって「財政危機宣言」をするに至っては、県民に真実を公開せず欺いたことになる。策士が策に溺れてしまわなければよいが…。

私が、平成つれづれ草第119回において、N

HKの番組でフランスの銀行が大阪市には融資をしたのに、岡山県には融資をしなかったと書いたところ、県知事は、他人を介して圧力をかけてきた。

そうこうしているうちに、(株)格付投資情報センター（R&I、東京都）という投資会社が、県をAAに格付けしたため、知事は自信たっぷりに県財政の健全化を述べた。

どちらが正しかったのかは明らかで、フランスの銀行は全世界の地方公共団体へ長年にわたり融資をしているためノウハウがある。よって、岡山県は危ないと判断したので融資をしなかっただけのこと。

然るに、日本国内の地方公共団体を格付けしているR&Iは、十分な資料分析もせず、馴れ合いで格付けしたのだろう。格付けを信用した者から、損害賠償が請求されるのを覚悟しておかなければなるまい。

なぜ、岡山県をAAの格付けにしたかについて、納得のいく説明をすべきだ。当該格付会社は、今年中で業務を止めるらしいとの情報がある。

県の手元には、9億円しかないとの事だから、6,000人近い職員の1カ月分の月給も支払えない状況。銀行等は、高利でないと融資を断るだろうから、月給は遅配することも現実味を帯びてきた。

県の借金を減らす方法はある。県知事公舎や職員住宅などの普通財産を不動産証券化により信託し、金利をリース料として支払って、借金返済に充てる方法だ。将来買い戻せばよく、実際の使用になんら不都合は生じない。

また、幹部がビジネスクラスやグリーン車に乗る必要はない。さらに借り上げタクシーで経費削減をすべきなのだ。

まず「塊より始める」こと。会社であれば社長以下、幹部が解任されることは間違いない事態だ。その覚悟やありやしや。

(20・6・9)

から梅雨かと思いきや、うっとうしい空模様になってきました。安定した天気になるには、もうしばらく時の経過が必要なようです。

世界も日本も景気は、減速気味。食べ物を燃料に加工するなど、通常人は想定していなかった事ですが、現実に行われています。食料危機が物価上昇をおこしています。

不況の中の物価上昇ですから始末が悪い。ところで、ガソリンが値下げのときは蔵出し税だからどうのこうのとやかましかったのに、値上げするときはほぼ一斉に値上げしています。申し合わせているのでは？ 公取はカルテル等の違反行為として取締りをしないのでしょうか？ どうも腑に落ちないことです。

岡山の政財界の行方も、流動的でどうなるのか不透明です。官庁頼みの時代はすでに終焉しましたから、政治家や県・市を頼りにしないで、自助努力で精一杯頑張らしましょう。

平成20年6月20日 馬場 勉

一極集中のなかの一極集中

地域・貧富の格差社会はさらに拡大する

友人が、60歳過ぎで急逝した。庶民だったが、多くの参拝者にびっくり。死んだ時に人柄が顕在化して人物評価される。

1. チボリ12年間の教訓

チボリはどのようなんだろうか？それぞれがそれぞれの立場で主張する末期的症状がうっとうしい。責任を取りたくなくてなすりあい。

金の切れ目が縁の切れ目というが、まさに地で行く感じ。多額の金を浪費して残り少なくなった。このあたりで手を引きたいという気持ちが強いと印象づけられる。

先日の株主総会では発言者がいた模様だが、私が一番残念に思うのは、12年の間には取締役会や株主総会もかなりの数行われてきたはずなのに、一体どのような運営がなされたのでしょうか？

株主も主張すべきだった。会長や社長ほかの人も責任を果たすために情報を公開しなければならなかった。

結局のところ、言うべき時に、言うべき場所で、発言や主張がなされなかった、あるいは、本気で対応しなかったのが原因でしょう。

そういう意識の下で、地域と共に地域活性化を目指して立ち上げたのが「おかやま適塾」です。宗教と個人攻撃はご法度ですが、何を話されても一切責任は問わないという立場を貫いている。講演して下さった方も、いい機会を与えてくれてありがとうございます。

自分の生い立ちから始まり、どういう仕事をしてきたか、これからどういう生き方で臨むかなど、大変有益な話が多いのです。若い人が先輩の生き様に接して感動を覚え、自分も頑張りたいとアンケートに書いている人もいます。将来的には、ケーブルテレビだけでなく、一般のテレビでも放映し、多くの人に感動を共有して欲しいと思っています。

企業メセナの一環として、また社名広告として、参画して下さればと考えており、必ず実現

させたい。その節には積極的なご支援を賜りたい。

2. 雪だるま的に増殖する

東京へ一極集中している。その中であって、丸の内・銀座界隈にさらに集中している。新宿などの副都心の地盤沈下が家賃に反映している。岡山だって同じ。岡山市の人口は社会増しているが、県下の市町村は衰退が進行中である。限界集落から国土崩壊への道程が時間の問題のところもある。

岡山市においても、岡山駅を中心に一極集中が進んでいる。表町その他周辺がさびれているように思える。岡山市のように小さい規模の市で集中が極端になると惨めだ。

行政は、市場原理に任せるなどのんびりしたことを言っている時ではない。政策的に手を打つ必要がある。そのあたりの見識が、行政担当者になければなるまい。全県的あるいは全市的立場で税金等財源の再分配を行政が行うべきだ。

一極集中は二極化を生み、さらに一極集中が進めば格差が極端になる。格差問題に鈍感であれば、共産主義思想が再度芽生え、政変が起こるかもしれない。歴史は繰り返すから。

オイルマネーの行き場として集中投資されているのが“ドバイ”だろう。10数年前まで砂漠であったところに、観光と金融を目的にした摩天楼が出来ている。不動産バブルが進行中。いつかは弾けることを投資家は学習している。金融危機が起きれば不動産の投機マネーは引き揚げられてたんす預金になる。

水の値段と原油の値段を比較する人がいるが、水は世界中至る所へ富みを分散させる。原油の富は限られた地球上に集中するから投機マネーとして動くため、世界中の庶民の生活をめちゃめちゃにする。

(20・5・27)

地球温暖化が問題になっている。しかし、今年の北海道は冷害が心配されている。寒くて雨が多く日照不足のようだ。地球全体のサイクルの面から、CO₂の排出を抑えるのはよいが、温暖化と因果関係があると結びつけるのは短絡的発想だと思う。地球の歴史からみればそう単純ではなさそう。

また、岡山県は蓄えていた金を使いきったので、財政再生団体に転落する懸念があると宣言。いまさら何を言っているのでしょうか怒り心頭です。

県知事のやっていることは、よくわからないことばかり。「世直し」が必要です。

まず「隼より始めよ」です。借り上げタクシーに転換したり、知事ほか偉いさん達がビジネスクラスやグリーン車に乗るのを止めたらよいのではないかと、乗りたければ、自分で追い金を払うようにしたらどうか。

平成20年6月5日 馬場 勉

日本と世界は連携の時代へ どこの国にも日本人は生活している

中国・四川省でM7.9の大地震発生。日干しレンガ造りが主流。細い柱のビルのため耐震対策は考えていない模様。

1. 四季に想う

日本列島は、春・夏・秋・冬と、はっきりした季節の変化がある。当たり前のように、このことは大切な自然の営みで観光資源である。年中同じ気候であれば、おもしろくもおかしくもなく飽きがくるであろう。

沖縄県は、はっきりした秋がなく、北海道には梅雨がない。地域の気象学的特色をうまく観光や地域活性化に利用できるかどうかが知恵の出どころである。

京都の冬は、底冷えがして寒い冬場には観光客が極端に少なかった。そこで、官民あげて「京の冬の旅」を実行した。40数年経過した現在は冬場でもホテルが不足するぐらいなのである。

古都1000年の歴史があるから、黙っていてもお客さんは来るのだが、観光でめしを食べるという意気込みがすごい。修学旅行や海外旅行者の受け入れに熱心で年間約4300万人が訪れる。ひるがえって、岡山はどうなのだろうか？

岡山の地元の人より、転勤族の皆さんの方が岡山のことをよく知っているのに驚く。休日を利用してあちらこちらへ地図を頼りに行かれ、そこに新たな発見がある。従って、転勤者等の情報を丹念に集めて集約すれば、岡山の観光名所地図が出来上がるはず。岡山の四季は、すばらしい。自信を持って丹念に掘り起こしましょう。

2. スイスのチューリッヒ空港にて

不良外人が、テロだけに限らず出・入国するのを防ぐため、どこの空港もそれなり厳しいが、世界は広い。スイスのチューリッヒ空港を出国しようとした時に、日本国の菊の紋章の入った

赤いパスポートをかざしただけでフリーパス。出国印はなし。もちろん、手荷物の検査はあるが。

空港内食堂で隣の外人が日本食の寿司と刺身を食べていたのであれが欲しいと鮭(サーモン)の刺身を指差したところ、女店員さんが大きな声で「鮭の刺身ね…OK!」と応答してくれたのには驚いた。

日本食ブームが浸透している。日本人は横文字でサーモンというが、さけ(鮭)・さしみ・にぎりと言語が立派に通じる。鮭は美味しかったが、値段もよかった。

依然として、円安ユーロ高の傾向は変わらず。円高は対米ドルだけのようだ。基軸通貨のドルが地盤沈下しているだけか？

また、全世界どこに行っても日本人がいる。チューリッヒにも、日本人女性が通訳をしながら20数年住んでいるそうだ。ご主人とはイギリスへ語学留学中に知り合ったそうで日本人男性と比較してどうですかと問ったところ、少し思案するも笑って答えなかった。

スイスの田園風景は、絵になる。山脈の地勢の山麓を耕し、放牧や農業をしているのだが、農業は経済的に成り立たないようで、政府が保護政策を執っているとのことだった。日本も見習うべきではないか。

アイガー北壁で有名な山岳地帯に登山電車が昇り降りしている。展望台には立派な水洗トイレがある。環境に厳しいお国柄で立派だと思った。

しかるに、残念ながら、富士山のトイレは垂れ流し。世界遺産になれない原因になっているそうだ。

技術的には、不可能ではないだろうから、やる気がないのか環境と本気に取り組まない、あるいは美的感覚の欠如に問題があるのかよく分らないことばかりが多い世の中だ。

(20・5・13)

新緑が、だんだんと濃くなり成長した葉になってきました。初夏という頃に近づいています。日が長くなってきました。「おかやま適塾」は、先日の西本和馬氏のときは400人がおみえになり、立ち席で辛抱してもらうなど嬉しい悲鳴でした。

これからは、オニビジョン(ケーブルテレビ)のみに限らず、KSB(瀬戸内海放送)のテレビを通じて講演を流すことも考えています。いずれにせよ、講演して下さる人は張り切って有益な話をされています。主催者は聴講者をいかに集めるかに知恵を絞っていますが、満足できるまでに至っていません。

まもなく、雨の時候になります。あじさいのみずみずしさを堪能するのも良いでしょう。これから、年の後半に入ります「自今生涯」の心境で過ごしたいものです。

平成20年5月20日 馬場 勉

総理より首長の方が自己実現できる？

地方分権は諸刃の剣になりかねない

満開より散りぎわがめでたい桜。早咲き、遅咲きがある桜は人生レースを連想させる。残り物には福がある。あせることはない。

1. 「自今生涯」を貫く

“自今”（じこん）とは「今より後」という意味。だから、ただ今に全力を尽くすこと。すなわち、未来は自ら作り上げていくのが生きている限り（涯）大切であるという教訓。

私が座右の銘にしたい言葉。堀場雅夫氏（堀場製作所最高顧問・医学博士）の講演からの受け売り。84歳。元気で祇園のお茶屋さんではモテる人。本もたくさん書かれている。

先日、京都で開かれた経済同友会の全国大会の時のことでした。数回、講演を拝聴したことがあるため挨拶をしたところ、ざっくばらんに気取らず面白く会話が進んだ。

「ますますお元気ですね」と言ったら、小指を立ててくれました。英雄、色を好む。納得。私も堀場さんのように元気溍溍と生きてゆきたいものだ。

P. P. K. 運動を始めたそう。難しい内容ではなく、ピン、ピン、コロリと人生の最後を終わらせたいとの思いの表現です。健康の秘訣は仕事する（働く）こと。高齢者が元気に働ける社会をつくるのがP. P. K. 運動推進につながります。

2. 多選禁止の意味する所

ひと昔前、闇將軍といわれた田中角栄首相は、総理が世の中でできないことは、男を女に変え、女を男に変えることだけ。その他は何でもできると豪語したそうだが、昨今の総理は惨めで見ていられない。

議院内閣制のもとで、衆参のネジレ現象により、にっちもさっちもいかず、お手上げということだろう。総理のイスに座る人は国民に威厳を示すオーラが必要だ。風格が大切だ。

反面、首長（県知事や市町村長）は、住民の直接選挙によって選ばれており、人事権と予算権が付与されている。県議や市議には、首長にすりよる御用議員も多いようで、長いものには巻かれるという人が多い。少なくとも市議の場合、3000人以上の支援者の代表だから、みずからの考えを率直に主張して欲しい。また、勉強して一目置かれる存在感を示せ。地域代表の意識が強いものだから御用聞きに終始する。

最初は緊急事態の“つなぎ”と受け止められていても、リーダーになったら最後、人事権と予算権をフルに活用して、自分の思うように市政を運営できる魔力にとりつかれて、市民の建設的な話など眼中になくなる。裸の王様になりかねない。

4選禁止を事実上選択した政党は、過去の弊害をいやというほど経験した結果、やはり、長期政権はどんな立派な人格者でも豹変する蓋然性が高いことから、多選禁止にでもしないと、とんでもないことになると思ったのだ。

首長や議員の場合は、しっかり勉強に励み大いに議論すべきだ。なぜなら、地方分権が進めば、議員がしっかりしないと首長の思うつぽに陥り、独裁政権になりかねないからだ。

現職は常にマスコミにさらされて知名度が高くなるため、新しい人が入る余地は少なくなる。従って、多選化する傾向になる。一度やりだすとやめられない魅力がある。身近にその好例がある。

批判勢力（抵抗勢力）や善意の忠告も耳に入らなくなり、外からいくら発言しても負け犬の遠吠えで終わることになる。だから、本当に国や地方公共団体を憂い、且つゆるぎない理念を持つ人は中枢の土俵に上がって発言・行動する必要がある。

すなわち、首長や議員になってオピニオンリーダーとして、事を進めることが大切だ。

(20・4・14)

青葉の美しい时候になり、新しい生命の息吹を感じます。

一昨日（4月23日）の「おかやま適塾」は、ついに400人の大台の出席者を数えることができ、立見席が必要となりました。雨の中にかかわらず集まってもらったことに感謝。

700人まで収容人員を拡大できますので、それを楽しみにしておきます。

先日、中国の江西省景德鎮に行ってきました。焼物の産地。確かに日本で買う値段と一桁違う感じです。白地に手書きの柄模様は私の好きな焼物。持って帰るのが大変でした。田舎の町を想像していましたが都会でした。いい思い出になりました。

「自（爾）今、生涯」の意気込みでこれからが我が人生の本場という気持ちでやりましょう。ゴールデンウィークに入りますが、英気を養って5月以降を頑張りたい。

5月から8月までの「おかやま適塾」の日程のチラシも出来ています。せいぜいご利用下さい。

平成20年4月25日 馬場 勉

夢と希望を与える政治を！

低迷する日本をなんとかせよ

桜はいつもの通り満開になった。人の世の騒々しさを尻目に、時は流れ草花は咲き新しい生命が芽生える。

1. おかやま豆辞典③

吉備地方の守りは、古代にはどうなっていたのだろうか？ 東方は岡山市の「大めぐり小めぐり」という名前の山城があった。ただ今20年計画で整備が行われる予定。

また、西方は総社市にある「鬼ノ城」で一部既に復元し整備されている。現在も事業進行中。この山城は有名で訪れる人も多い。両城は、それぞれ後の、備前口と備中口の中核地を抑える位置にあった。

先日、倉敷の美観地区を歩いた。街の整備が進み、店舗も増えたように見える。大原美術館も随分広大になったようだ。惜しむらくは、チボリ公園と駅を挟んで南北に対峙しているにもかかわらず、相乗効果が生まれなかったのはなぜでしょうか？

翻って、岡山市内には表町及び周辺の商店街が中心で栄えていたが、だんだんと岡山駅の方へ重心が移り、遂に逆転の傾向にある。400年以上の伝統のある岡山を代表する繁華街であるから、再起を期待する。

結果的には良かったのか悪かったのか分からないが、駅前地下街はずっと栄えてきたため地上に人が上がらず、もぐらのように地下に潜行して人通りが地下街の通路に流れた。

東京の銀座には、地下街はあるが店舗は地下に張り付けない方針をとった。要は、地上の「銀座」をしてもらうのが銀座流の主張なのである。しかし岡山には既に立派な地下街があるのだから、このことを所与の前提に発展を考えるべきであろう。

2. 教育の必要性を認識せよ

日経新聞の「春秋」欄に異動の季節という内容の話が載っていた。

「背が低くてもリーダーは務まるか」という問

いに対して、企業の人材評価試験を請け負う人が「横幅（恰幅）か目ヂカラ（睨み）で勝負を」。手本はロシアのプーチン大統領と助言し、ストレス解消をうながしているそうだ。

私なら「何をバカげた事を言うのか、他人がおまえを評価してリーダーに抜擢したのだから、堂々と自信を持って事に当たれ」と言いたい。

地元の先輩、犬養毅首相は決して大男ではなかったが、身体から発せられるオーラがあった。自分を磨くことにより人間味が漂い信頼される人物になるはずだ。

中には、学歴コンプレックスや背が高い低いなどで世の中を逆恨みして、偉い人になった途端に人を見下して無用の混乱を起こす人もいる。

所詮は、学を身に付けて“修身”に励むことだろう。社会は「教育」することに熱心でなければならない。それも基礎学力の強化である。

「ケータイ」に熱中し、指先の器用さは磨けるだろうが学生の本分である勉強はしているのかと思われる若者も多い。社会も社会常識や知識のたたき込みに生ぬるいところがある。果たしてそれでよいのか。

岡山が中四国の拠点になり、渦の中心で経済力を呼び起こすには、教育力に特化する必要がある。このことは、講演の話によれば中国銀行の永島旭頭取や日本銀行の鶴飼博史岡山支店長等との共通認識と理解した。

「地学地就」の考えの下、岡山育ちで薫陶を受けたものは岡山に帰ってきて就職してもらうことだ。にもかかわらず、岡山市のように新規採用を3年間も凍結するような逆行する政策を許す学界や市議会、さらには経済界なども「理想と希望と夢の理念の下」抵抗すべきだと思う。

人件費削減などのため、採用をしないことは若者の定住を阻害する政策である。こんな事は“公”がやるべきことではないと考えるのは、私1人だけではないだろう。

(20・3・26)

春がめぐってきた。桜が満開になるのも間近でしょう。四季がある岡山は素晴らしい。3月末に二泊三日の旅で沖縄に行きました。3月末まで頑張ってくれた従業員へのプレゼントとコミュニケーションを図るのが目的でした。見るところはたくさんありますが、異国情緒を感じました。日本であって日本でない雰囲気です。特例で免税店がある唯一の県です。沖縄の観光振興のためです。岡山からは1時間半程度なので比較的手軽に行きやすいところです。冬がなく年中暖かく四季の変化がないようです。

北海道から沖縄まで4時間程かかりますから、結構長い日本列島です。だから気候が相違する。地勢学的にも色々な面で異なるようです。沖縄は中国の影響が色濃く残っていると言えます。経済力は弱く年収は低い。観光産業が中心です。

平成20年4月2日 馬場 勉

円高・株安の日本経済を立直せ！

国民の敢闘精神を覚醒させ呼び戻そう

「三寒四温」。確実に春が近づいています。世の中を「せんたく」する必要があるかも。

1. 岡山の女性は強い

北京五輪日本代表を決める名古屋国際女子マラソン（最終選考会を兼ねる）で、「てんまや」の中村友梨香選手（21歳）が初マラソンで初優勝した。五輪代表となった。

岡山勢は、バルセロナ大会で銀・アトランタ大会で銅の有森裕子、シドニー大会の山口衛里、アテネ大会の坂本直子に続いて五大会オリンピック連続の栄誉となった。てんまやは三大会連続の栄冠。

出身は隣の兵庫県であるが、武富豊監督（おかやま適塾で初回に講演して頂いた）を慕って岡山に来て、午前中は天満屋の仕事をしながらの快拳である。老舗百貨店の天満屋だが東京の人などは岡山の「てんまや」は何屋さん？と聞かれるほど地方色が強く、有名ブランドの会社の選手が多い中において、地道に先行投資してスポーツを支えてきている地域企業を評価し応援したい。

女子マラソンだけでなく、男・女のサッカー、バレーボール、野球なども岡山県に存在している。たくさんありすぎて支援する企業も大変だろう。一層のこと、企業等の支援金をプールして配分する方式も考えておく方が、無駄が少なくないかもしれない。官庁の補助奨励金も出しやすいだろう。

それにしても、岡山の女性は根性があり強い。岡山商工会議所だけに限らないが、女性会という組織もたくさんあるから女性の声を大切に汲み取り政策に反映してもらいたいものです。

選挙は、女性の力が重要とのことですが、特に女性の底力と粘り強さが潜在的にある岡山にあっては、女性に好かれることが大切ようです。口コミで広がりますから要注意です。

しかし、忘れてならないのは口先だけのきれ

い事（マニフェスト＝公約）は逆効果です。心の底から岡山を思う優しさと、岡山の発展を真摯に考えている人を望むようです。「ファンは誠実を愛す」を忘れずに。立候補諸氏の奮闘を祈ります。

2. 円高・株安に対処すべきだ

素人の私が、円高と株安の相関関係話すのははばかるが、交換価値の比重が円に重くなるため円高と表現される。ドル建てで貿易をすれば、円安の時は多くの日本円が手に入るが、円高になれば懐には日本円が少なくなる。円高は海外旅行や輸入品の場合は都合がよい。反面、輸出企業等から見れば困ることになる。

株は、日本国内だけでなくグローバル化している。外国投資家が、日本の株市場の半分以上（70%に近い売買額）を占めている。常時、世界中がお金が回っている。円高になれば輸出企業にとっては収益の減少が見込まれるから、先を読む株式市場では敏感に反応して株安になる。という理屈らしい。為替リスクを考えず、金利がよいからと外国債等を買っている人は、元本が円高で目減りすることにより結果的に損をしたことになる。日本に貯蓄されているお金が、日本国内でコップの中の嵐のように循環するのがよいのだが…。

ところで、なぜ日本の株は不安定で大暴落しているのだろうか？米ドルの価値が下がったことも影響している。いずれにせよ、昨年から今年にかけて国家予算の一年分に匹敵する程の資産が泡となって消えてしまったそう。まだ続行中である。

日本経済はしっかりせよ！総理は、他人事のように「株価は上がったたり下がったりするものだ」などとうそぶいているが、経済力の本質を考えるべきであろう。真剣さが足りないぞ！国民は怒っているから、政権は長くないだろう。

(20・3・10)

急に春らしくなってきました。年々歳々例年通り時をたがわず桜は咲くはず。3月も半ばを過ぎ、みなさん年度末で多忙なことでしょう。これも日本の年中行事ですから、いつものことと思えばよろしい。

3月12日に「おかやま適塾」がやっと1年を無事通過しました。内輪の祝いをささやかにしたところです。来る5月から8月までの日程表をこれから作成します。人材は確保出来ますがお客様が会場に足を運んでいただけの戦略を練って、4月に入れば多面的に実行に移すことにします。ご協力の程をお願い申し上げます。

3月末には、仕事に尽力してもらった我が社の職員と沖縄に癒しの旅を計画しています。4月以降、取材旅行を兼ねて旅に出る予定です。成果を随筆調で書いてみたいと思います。

いずれにせよ、充実した日々を送ることが病氣予防になるのではと考えています。昔の人はいいました「病は気から」と…。

平成20年3月19日 馬場 勉

遂にチボリは事業不成功により解散

第三セクター方式による運営の限界を露呈

今年の岡山の冬は変です。長い目で見れば地球温暖化への一里塚ということでしょうか。

1. おかやま豆辞典②

岡山のことは知っているようで知らない面が多いので、互いに理解を深めてみたい。

吉備の国には、吉備津彦神社と吉備津神社がある。岡山市街地から車で30分程の所にあり、両社は3km程度しか離れていない。どちらも、由緒正しいかつての備前と備中の国の一宮だった神社です。

吉備津彦神社は備前の国に属し、池田藩の庇護の下に江戸時代は栄えました。日本一の石灯籠が一對あり、西大寺町等の地名や豪商の名が刻まれています。当時の名家は現在、どうなったのでしょうか？

吉備津神社は備中に属し、本殿・拝殿は国宝。ひわだ葺きの屋根が葺き替えられた。お釜殿という鳴釜神事をするところもあります。臨済宗の開祖、栄西禅師は神官さんのご子息。門前町（宮内町：宮内踊り）には遊郭があった。

備前の国、池田藩は風紀に厳しかったので、備前には遊郭はなかったのです。吉備津神社のお参りを兼ねて訪れた人も多かった。池田藩は学問に熱心で風俗を厳しく取り締まった。その伝統が現在も続き、「教育県」と言われる所以になっています。他県に比べ転勤族の夜の楽しみが少ないのは申し訳ない。

今は、岡山市になっているところが、昔は備前・備中と別れていたのです。政令指定都市になるのなら、いっそのこと、総社市、倉敷市、玉野市と岡山市が一緒になれば、政令指定都市としてのステータス・実力が備わるものと考えられる。その日が早く来るのを待っています。

政令指定都市になるということは、親離れすることです。親（県）から独立するのなら、支度金は出すが、後の面倒はみない。自分の力でやりなさい、ということです。

その覚悟ありやなしや。独立すれば、自由と引換に財政的にやり難くなることは経験的に分かっています。地方分権や道州制の議論も、所詮はそのあたりに焦点があるようです。

2. チボリに想う

誰が良いの悪いのの問題ではなく、皆さんそれぞれの立場で一生懸命尽くされたと思う。ただ、当時流行りの第三セクター制度に問題があった。

現時点での予測では、現状のチボリは今年末で店じまい。後は、クラボウさんがどのように再開発されるかだろう。県民の思いは、池とその周辺の建物は使用が出来るので残して欲しい。県民の公園（広場）として有効活用したらよい。その他の老朽化した建物などは取り壊すなどして再開発したらよいのではないか。

倉敷市長や県知事の選挙の年に当たり、誰が舵取りするかによりどのように変わるかも知れず、これから先の将来の検討材料であろう。

ただ言えることは、どういうことになっても初めから関与している県は、最後まで面倒をみる必要がある。チボリ・ジャパン社が解散されて清算に入っても、清算の事務処理完了まで坂口社長にさせるというのは気の毒で忍びないからダメです。

6月の株主総会が終われば、いい時期をみて県庁から派遣する人の手で清算を含めてやるべきだ。「坂口社長ご苦労様でした」と労って欲しい。

もう終わったことだが、一般株主に相談や報告も少なかったようだし、株主の方々も県のやることに口を差し挟むのはよくないと黙っていたのだろう。県が主導権を握って10年余りやってきたのだから責任はある。チボリ問題はこれからが正念場なのです。やはり、何事も経営方針を決めるには、他人の意見も拝聴することだ。

(20・2・26)

「三寒四温」。比較的暖かい日が続いていますが、寒い日もまだあります。今月の末頃には、桜が咲くことでしょう。いつものことながら3月は、年度末で多忙な人が多いことと思います。

昨年3月13日に開塾した「おかやま適塾」が一年を迎えようとしています。あっという間だったというのが本心ですが、皆様のご協力によりなんとか「形」ができあがったように思います。講師をして下さる人は積極的に受けて頂いています。また、楽しみにして下さっている方もたくさんいらっしゃるのや甲斐があります。

人生の深みといいますか、圧縮された人生模様の複雑なひだの層の厚みが、多い人ほど話に説得力があり、おもしろく参考になるため若い人からも自分達も大いにガンバらなきゃと思っているようです。そのことは、アンケートに書かれている感想文から読みとれます。私は、とにかく一定の成果を得ることが出来たと認識しているところです。ご支援をお願いします。

平成20年3月5日 馬場 勉

残業は極力減らし、心身ともに健康に！

定年前退職者の増大は、残念かつ影響大。

岡山平野に雪がちらつくことの多い年。2月も半ば、あと少しの辛抱。年度末の多忙な時。事故等に気をつけよう。

1. 上を向いて星を見よう

寒い冬場だが、空気が澄んでいるため夜空が誠に美しい。街中は“光”害のため見難いが、空地があれば部分的には見える。

いい場所を見つけたよ！吉備路の五重塔や温泉施設のある場所あたりはよく星が見える。古代の吉備文化を創った人達も時代に不変の同じ星を見たに違いない。古代は、ほぼ真っ暗だったろうから、神秘的でロマンに溢れていたに違いない。

吉備には、大和朝廷に匹敵するような勢力があったことは、前方後円墳などの規模と数などで立証されている。古墳時代から弥生時代、さらには飛鳥、白鳳、天平、奈良時代と栄えた吉備文化の流れを評価できる。

それにしても、星を仰ぎ見ながら古代ロマンに浸り、奈良（大和）に匹敵する一大勢力が吉備地方を中心に岡山地域に存在していたという現実を改めて再認識した。郷土岡山の恵まれた生活基盤は揺るぎないものであることは間違いないから、岡山地方再興の礎にしたいものだ。

今年は、首長等々の選挙戦の年だが、岡山の置かれている位置づけ、地勢、発展性、現在の実力からの展望などを取り入れた吉備文化にふさわしい夢のある公約を掲げて欲しい。

2. 岡山市職員に余裕を

私の事務所から、岡山市役所が見える。夜遅くまで電気が灯っている。私も遅くまで事務所にいることが多いが、仕事のみに限らず私の好きな時間を過ごしている。しかし、岡山市職員諸氏の場合、夜が遅かったとしても、朝は定時には出勤されているのだから大変だろう。

本誌に出ていたニュースだが、本年度末の退

職予定者が約330人、この内約130人が定年前の管理職らしい。例年50人程度だから大幅な増大。これをどう読みとるかだが、私は、遂にその時が来たかと思った。

市長さんは成功者故、自分の成功体験から一人三役でやれと主張。だから、職員に、ハッパをかけ人員削減に努力されている。また、新卒者の採用凍結を実行しているから、人件費削減は大いに進むので、誠に結構なことのようにすが、長い目でみれば重大な疑問が潜んでいます。

ただ、私が危惧しているのは、政令指定都市に向けての準備や市民の対応、あるいは議会の対策など大変なのが辞める原因ということです。

50歳代後半の管理職が退職者の大半を占めるということは、役所を愛する心より自分の身がもたずギブアップしたということでしょうか？休職者も目立つようです。

雇用関係で難しいのは、辞めては困る人が「辞める」と言えば「はいそれまでよ〜」。公務員になられた人は、頭が良くて仕事は出来るのですが、揺さぶりに弱い面があるのではないのでしょうか。

一人で三役もやれと言われたら、中小零細の民間企業の者であれば当然でしょうが、大企業や公務員の社会では自分のやるべきことだけに精通し、他のことには頭を突っ込まないのが良い、というしきたりがあるようですから勝手が違うのです。

だから、市長さんが「ワシができるのだから皆もできるはずだ」と思い込んでも、それに順応出来ない人の方が多いのが、世の中の常です。

そのあたりのところを十分考えて対処しないと管理職がいなくなる。すぐには補充できず、さらに無理な労働を強ければ、仕事にミスが増え、体がもたなくなれば、どうにもなくなるといことになりかねません。職員をうまく使いこなすようにしたいものです。

(20・2・12)

自然界は、人間世界がどうであれ立春、節分、西大寺の会陽と時を刻々ときざんでいます。まもなく、東大寺二月堂のお水取りも始まります。春の訪れが少しずつ近づいています。ただ今は、年度末で仕事その他を立案・処理するのに多忙な時でしょう。是非、息抜きに「おかやま適塾」においで下さい。

岡山で活躍されている著名人が、情熱をこめて話をして下さいます。人生観、職業観などに感動することや岡山の観光・風土など参考になる話も多くあります。それぞれの世界で頭角を現す人は、それなりの努力と信念と行動理念があったといえます。そのあたりの講話を参考に日々活動し勉強するのもよいのではないのでしょうか。

「冬来たりなば春遠からじ」と申しますが、もう少しの辛抱です。我々の生活においてもガンバレばよいこともあるでしょう。期待したいものです。

平成20年2月20日 馬場 勉

元気がないぞ日本！岡山もしかり

奮起せよ！政治の混迷が最大の原因だ

例年になく寒い年。岡山県南に雪が積っておおわらわ。寒い時は寒くないと商売になりませんから、我慢しましょう。経済力アップにつながればよいが。

1. おかやま豆辞典

他県から岡山に赴任するお偉いさんや学校や就職などで岡山に初めて来る若人の方達へ、ご参考までにひとこと。

岡山は、方向が分かり難いということを聞きますが、古都・京都に似ている町並みです。北に山があり、南は平野で開けています。遠くには、電波塔が建っている山があり、東にも山がありますが、京都にも東山三十六峰がありますね。

岡山の人の話し言葉は“きつい”そうです。長年住み着いている者からみれば、さほど違和感はないのですが、土地のなまりや気質を表しているのでしょうか。回りくどくて何を言っているのか分からないよりは、はっきりして、いいと思う。住めば都ですから県外の方もそのうち慣れるでしょう。

交通ルールを守らないので困るといわれますが、自転車専用道路が出来てきました。ようやく車・自転車・人が分離されることになりつつあります。

全国的に見れば、おおむね全ての統計上の数値が真ん中当りにあって中庸を保っているのですが、蓄えは結構あるようです。金持ち喧嘩せず、のんびりした風潮の街なのでしょうか？シャイで積極性に欠ける？

比較的市内は碁盤の目ように道が形成されていますが、ただ、目印になる著名な建物が少ない。ビルに大きな広告塔を建てるのも良いかもしれませんが。一番の混乱の原因は、新幹線などが真っ直ぐ東西に走っていないためでしょう。支線も多く迷う。

西川緑道公園と言うのに駅の東方を南北に流れていると疑問に思われる人もいますが、岡山

の街はもともと表町（天満屋当たり）が中心だったので、表町から見て西を流れているため西川といったのでしょう。

今は、岡山駅が中心になった観がしますので、駅から見れば西川緑道公園は東になり、おかしいと思われるフシもなるほど思われますが…。

要は、街は生き物で動くのです。西川の呼称を変える必要があるかもしれませんが。岡山の人はそんなことは気づきませんでした…。

2. どうした？日本経済

年初来、株安が目立つ。日本は世界から見放されたい。優良株が投げ売り状況。どうにもなりません。

アジアを旅行してみると交通ルールなどめちゃくちゃでも街には活気がある。翻って、日本は元気がなさそう。安定志向を求め活気に欠けるということか。成熟社会になったのか。

「なんとかなる」ということで国民がリラックスしている間に、アジアなど発展途上国からは、日本が目標とされ「追いつき追い越せ」という勢いで追い上げ、抜きつつある。だから勢いを感じる。

国民も国会の先生方もピリっとせず、腹の座った大物の政治家が少ないという印象が強くなった。総理大臣が“だじゃれ”を平気で言うようになり、子供がまねるのでしまりのない国民になってしまった。

厳しさが無くなったのだ。「いいじゃあないか」と叱らない世の中になってしまい、国民から敢闘精神が消えてしまったのが現在の日本の姿。

ここで、筋金入りで日本のビジョンを語り、理念を持つ政治家が欲しい。「総理は大したものだ」ということになって欲しい。政治の混乱と低迷が世界における日本の地位の低下をもたらしたのだ。なんとかならないと日本経済は評価されないため沈んでしまうのではないか。

(20・1・30)

2月3日は節分でした。最上稲荷で豆まきを栈敷の上からしました。今年は、例年になく4万人の人出があったようでした。というのも、節分が日曜日に重なったのと、還暦を迎えた人が日本の人口構成で一番多い年齢層に当たるためなのでしょう。

次の日は立春でした。今が年間で最も寒い頃です。今年は岡山市で雪がちらつくことも多く地球温暖化といっても寒いようです。冬の京都は、寒いのですが観光客が休日等はいっぱいでホテルが満室です。

「人生に乾杯」ではないのですが、ふと我に返ってみて、現在の私は自分の人生において一番忙しく健康かつ充実している時期のように思えます。「おかやま適塾」のようにみずからやっているものなどを含めやることは多いのですが、決してイヤだとか辞めようとは思いません。楽しく取組んでいる毎日です。大器晩成型？だったのかと思いますが、これから10年間は、現役を貫いてやりたいと考えています。ご支援の程重々よろしく願います。

平成20年2月6日 馬場 勉

人工建造物の3大世界遺産

万里の長城、アンコール・ワット、ピラミッド

「京の冬の旅」は恒例になって42年経つ。京の冬は底冷えがして寒い。冬場に観光客を呼び込むために始めたイベントが実を結んだ。とにかく“知恵と努力”が大切。見習うべし。

1. なるほど！納得です

「おかやま適塾」の話ばかりして恐縮ですが、いい話を聞きました。40年間にわたり岡山県議を務め上げ、議長をはじめすべての要職を経験された原寿男元県議の話には重みがあった。複眼的な視野からの辻説法には説得力があった。

まず、議員たる者は土俵の上で相撲をとる力士のような存在だから、360度みんなから見られ、それぞれの評価を受ける。手を抜いてはならないと諭された。

議員だけに限らず誰でもステータスが高くなれば露出度が多くなるから十分に注意した発言や振る舞いをしなければならない。ましてや、私のこの文章のように残るものにあっては、批評や評価に耐えるだけの気持ちの余裕を持たないと、とてもじゃないが務まらない。幸いにも、ほとんど表面上は、抵抗がない。しかし、内心面白くない人もいる。

が、今年からは岡山市の活性化のために積極的な発言、行動を遠慮なくすることを誓言します。

また、「おかやま適塾」はケーブルテレビで金・土・日曜日あたりに複数回流れているので、家でビールを片手にこたつに入って見ている人も数万人以上いる。影響力も大きい。従って、さん太ホールに足を運んだ人だけが聴取者ではないということを認識すべきだと説かれた。選挙を体験した人の実感でもある。口コミは侮れないのだ。

さらに、経済界の大御所の話だが集まりの時に「おかやま適塾」のことが話題にのぼる。講演する人も10分話すための準備に1時間くらい熟考する。だから、反面教師で講演機会が与えられて勉強するようになるためいいことだ

と話されていた。

まだ一年が経っていないが、みんなの周知するところとなりつつあり地域活性化に役立ってくれば、立ち上げたものとしては幸甚です。これからは張り切ってやりますので御支援をお願いします。

会社の「社員教育の一環」としてとらえることも出来る。岡山県や市の職員が見聞を広めるためにも役に立つと考えているのですが、あまり関心がないようなのは残念です。

いずれを問わず、将来の人材たらしめる人、現に重要な職にある人は積極的に知識の吸収に努めるようにされたいのではないのでしょうか。

2. 百聞は一見にしかず

世界遺産といわれるものは多いが、人の手により造られた巨大な建造物には代表的な世界に誇る遺産が3つある。

まず、中国の万里の長城。北京郊外に数カ所修繕して観光用に供されている。全長すべて歩けるわけではなく崩れているところも多い。

また、カンボジアのアンコール・ワットは、アンコールが都という意味らしく、ワットとかトムとか100カ所以上ジャングルの中に埋もれている。観光用に10ポイントばかりが修復されている。地雷処理の方が先で並大抵のことではなさそう。

さらに、エジプトのピラミッドだが、これも98カ所あるらしく砂の中に埋もれているものもあり修繕されているものは限られ、傷みが激しいものも散見されるのは残念だ。

日本では、法隆寺など1000年以上の長きに渡り修理を繰り返して今日に至っている。火事で焼けたものや消滅しているものも多いのであるが、保存状態がよければ永遠に存続する。人間の英知に乾杯。一隅を照らす社寺は国の宝である。

(20・1・16)

岡山県南地域では、めずらしい雪が降りました。

近年は記憶にない。雪国ではなんでもない雪でも雪に対するインフラがほとんど無い「晴れの国」岡山では大変なんです。

取り壊すと言っていた安井三兄弟の生家の「津島公館」に関しては、ただいま2月議会で論議をしてもらうよう市長と交渉中です。主観的認識の違いはありますが、建物は取り壊してしまえば一巻の終わりです。出来るだけソフト面を考慮して先人の遺産は残したいものです。文化財を維持することは経費がかかるのですが、費用対効果をどう調整するかという難しい選択でもあります。みなさんのご支援をお願いします。

日本の経済は、どうなるのでしょうか？円高・株安・不況という訳の分からない状況です。政治に携わる人はどうすればよいのか、よろしく考えて対策を練って欲しいものです。平成20年1月23日 馬場 勉

政策は将来を見据えて慎重にすべき。

取り返しのつかない悪政は日本国を滅ぼす。

新年が明けて正月気分も薄れ仕事へ身を入れよう。1月は“行く”といえますから時を大切に。

1. 太陽エネルギーに感謝

我が家の坪庭からの教訓。剪定を毎年していたが、自然体が良いとあさはかに考え放置状態にしていたら、木が大きくなった。

そこまでは良かったのだが、下に植えていた草花の勢いがなくなった。南天が赤い実を付けない。山吹の可憐な黄色の花も見られなくなった。知人の「サンパツしなれば」という忠告に従って枝を切った。地面まで光が差し込むようになった。

強い木は太陽の光を浴びてグングン繁るが、弱い草花は太陽の恵みが受けられず衰えて枯れていく運命にあるという“自然淘汰”の当たり前のことを知った。迂闊だった。

日本の国土政策は、同じような失敗を繰り返している。木材の増産政策のため田畑を潰して針葉樹である、杉・檜を植えることを勧め、補助金を出して奨励した。商品になる40年杉が高値になることを期待したが、日本材の暴落のため山は見放された。

枝打ちをしないから、下草が生えないので地面の保水力がなくなり乾く。特に、山が荒れて松茸が激減しているのにも因果関係がある。雨が降れば一気に雨水が流れるため雨期・乾期に関係なく山崩れが起る。先祖代々耕してきた集落周辺の田畑にまで植林を奨励したものだから、村落の地勢や形状が変わり田舎の人は自給自足が出来なくなったため村を離れて都会に出て行った。

その結果、極限集落あるいはそれに近い山村が日本国中に存在しているのが現状。田舎に行くと立派な家が閉めたままの状態で放置されている。いずれ家は朽ち果てるだろう。

都会へ人口が集中して食糧自給率も低下の一

途をたどっている。一度山に復元されれば、田畑に帰すのは並大抵ではない。田舎はなくなり、本籍地は山の中という事になる。

失政例として、アメリカ流の規制緩和政策の行き過ぎが、タクシーの供給過剰になり、無駄なガソリン消費によるCO₂の発生源となる。地球温暖化をもたらし、かつ、経営圧迫により賃料値上げにつながり、みんな困っているのだ。総合的見地からの判断が必要。が、欠如している。

日本の官僚や政治家は、もっと長い目で「何を変え、何を残すか」を先見しかつ真剣に施策すべきである。このことは、私の小庭から得たささやかな“学び”の結論であった。

2. 審議会や市議会を大切に

岡山市が政令指定都市になる見込みがたった。区割りを審議するために十数人の委員を選任。昨年、夏休みを返上して審議した区割り案は3区だったが、私が心配していたように市議会の対案（4区）が発議され市議会で4区案が可決された。

結局、審議会は何だったのか？ 審議会の案が気に入らないのなら、市議会が勝手にやればよい、という主旨を公式の場で審議会の責任ある立場の人が主張していたが、市当局の“意”を受けて答申案を作ったのが本心だろうから、市議会と対峙することになった。

ところが、市長は土壇場で市議会の提案する4区案を採用して寝返ったのである。審議会の構成メンバーは2階に上げられてハシゴを外された様なもので、暑いさなかに本業そっちのけで素案作りに精を出したのには一体何だったのか、と自問自答していることだろう。

市長の責任は重い。「裸の王様」にならないように衷心より心配している。市議会の議決がなければ、事は進まない。しかと肝に銘じることだ。

(20・1・4)

すでに、1月は半分が過ぎました。毎年楽しみにしている「京の冬の旅」に参加し平素見ることが出来ない仏像を拝むことが出来ました。42年間地道な努力を京都の経済界をはじめ行政等が協力した賜で土曜日はホテルがどこも満室状態です。

「60の手習い」といわれますが、中国語の入門を岡山商科大学の大連出身の先生に教わり始めましたがものになりそうにありません。

「倉敷チボリ公園」はどうなるのでしょうか？ 黙っていた株主が動き出して主張するようです。結局のところ、岡山県が撤退すること。あとは経済界等に任せれば道は開ける。

「津島公館」が取り壊される寸前です。市長などに取り壊しをやめるように直訴しています。岡山市は文化財には無頓着で保存が面倒臭くなったら雨漏りを理由に取り壊して更地にするというのは乱暴な行政行為です。安井三兄弟の生家で岡山が誇る先人の大切な財産です。「先人記念館」として再生させようと説得に全力を尽くします。知恵を貸して下さい。取り壊しをやめさせるために必要な時間がないのです。平成20年1月17日 馬場 勉

平成20年は岡山発展の黎明の時。

個性と魅力あふれる地域作りを目指そう。

謹賀新年。平成10年代の締めくくりは「偽」で終焉した。新しい平成20年代は、希望と勇気に満ちた新生日本の船出。さらに、郷土岡山の前進の為の基礎固めの年にしたい。

1. おかやま適塾の発展の年。

昨年3月13日に始めた「おかやま適塾」は、おかげで18回まで終わった。新年は1月9日より第19回目が再開する。今年も、どうぞ倍旧のご愛顧の程をよろしく願います。

一種の起業家精神といえる。立ち上げから運営に至るまで手作りで、皆さんのご協力の賜物です。人選は「おかやま適塾」の名前がだんだんと浸透した証拠と思われるがスムーズに行えている。ありがたい。

私を中心に、グループの人達のお声がかりで講演を引き受けてもらっている。後援してくれている山陽新聞は毎回記事にして頂きありがたい。

岡山が元気になってくれたらという思いで、言いたいことや聞きたいことを自由に語り合うというのが本来の目標です。

ただ、影響力もかなりあるらしく、気をつけなければ首長選にも影響しそうですが、従来通り自由闊達に行う基本路線に変わりはない。

やってみて思うことは、人を集めることがなかなか難しいということです。月に2回で回していますがペース的にはちょうどよい。

総務省が、タウンミーティングをアキハバラで大金をかけてやったところ、40人程しか集まらなかったという、笑えない現実がありました。役人はたぶん相当なショック。

岡山で活躍している人材を登用するのが基本的な方針であるため、タレント講師を呼ぶことは考慮外。さらに一層、ステータスを高め、県民（市民）が広く参加してくれるようになればありがたい。どうか末長く愛情を注いで頂き、一度はのぞいてみて下さい。走りながら色々知

恵をしぼっていますから…。

18回行って、昔からの「五風十雨」という諺が当てはまることが分った。すなわち、5日に一度風が吹き、10日に一度雨が降るのが普通の地球の営み。確かに、18回の内、雨模様の時は2回あったから、統計的には当たっている。昔の人はいいことをいいましたね。農耕民族の田畑を耕すのにまつわる諺であろう。さすがです。

2. 働くことの大切さ

働くことは、「端を楽にする」ということである。「働かざるもの食うべからず」というようなやばなことはいいませんが、退職して現役から離れると、もう一度バリバリ仕事をするというのは無理のようです。気持ちがついていかない。

私は、会長とか社長とか岡山で活躍されているご高齢の方が身近にいますので、さほど年齢は感じないのですが、実際はどうもそうらしい。ヒマとカネがあれば、朝からアルコールに手を出して家でブラブラするから病気になる確率が高い。やはり、働く意欲が大切である。

好例としてよく引き合いになるのが、徳島県上勝町の彩事業である。山にいっぱいある葉っぱを集めて料亭の料理の「つま」として売る。年寄りが小遣い銭稼ぎも手伝って精を出し、心に張りがあるため元気な年寄りのため医療費が少なくてすむ。

30兆円の医療費が少なくなり少子高齢化の社会に対応するためにも年寄りが生き活きと働ける社会が望ましい。掛け金を支払う拠出型だから金持ちの高齢者にも年金を支給すべきで個人消費増大にもつながる。

現在の日本の社会保障制度は「働くことは悪だ」という思想が蔓延していることは嘆かわしい。「働くことは善だ」という発想の転換の出発年にしたい。

(20・1・1)

新しい年が動き出しました。新年の抱負はいかがですか？私は色々な面で充実した年にしたいと思っています。まず、「平成つれづれ草」では遠慮することなく、岡山のためになると思うことはしっかり主張したい。また、「おかやま適塾」はさらに一層内容の充実と一般の人へのアピールにつとめたい。特に、今年は選挙の年になる予感がありますので「私の主張」に政治を志す人を公平な立場で一方にかたよらずに積極的に登壇してもらうようにしたいと考えています。自分達のみで見、かつ発言し行動する人達が欲しいのです。

年末から年始にかけて、エジプトにピラミッドを見に行っていました。勉強になりました。

年賀状によれば、退職したので悠々自適に暮らしていくという話が多くなりましたが私は一線で働き続けたい。今年は皆さんの貴重なご意見を頂きながら、素直に謙虚に身を処して社業の発展に尽くしたいと考えていますので、よろしくお願い致します。

平成20年1月7日 馬場 勉

「政令指定都市」に赤信号？

地元民の意向を大切にしなければ…。

日本列島が晴天に恵まれた勤労感謝の日の前後に北九州を旅し、英気を養った。

1. 「取材旅行」をしました。

別府湾に昇る太陽に思わず合掌。不可思議な心情の発露にふと我に返ったが、人間は意外とそういう面を持っているものだ。

名物の「地獄めぐり」という珍しい温泉群を見た。赤、青、白などさまざまな色をかもし出している源泉を見て回る。間歇泉（かんけつせん。周期的に吹き上げる温泉）があった。

確かに、地獄といわれればそうかもしれない。あの世に行ったことがないので分からぬが、人間は必ず死ぬから、その節にはお世話になるのだろうが、私は天国で楽しく優雅に遊べるところを望みたい。どこまでも自分流に「おもしろ、おかしく」やりたいから…。

神宿る阿蘇の火口周辺は“すごい”の一言に尽きる。世界遺産当確まちがいなし。阿蘇くじゅう国立公園一帯は、岡山県民には非日常的で、誠に魅力的かつ興味の湧く場所である。

雄大で、太古からの地質が目当たりに見える自然がなんともいえない気持ちにさせる。所詮、人生100年。何もあくせくすることはない、自然体でゆくのがよい。そう思った。

晩秋の頃だから紅葉名所はどこも渋滞。日程と時間に限りがあるためパスしたところも…。少しは残しておかないと、またの楽しみがなくなる。「やまなみハイウェイ」という県道沿いから見る山並みは、すばらしい。また、高速道から遠くを望む阿蘇九重連峰も見る価値がある。

ところで、岡山から500kmの高速道料金は片道1万円。安いと思うか高いと思うかは判断の分れるところだが、高速道をタダにすれば、もっと多くの観光客やトラックなどが走る。燃費も高速道の方がよいからガソリン消費も少なくなるので経済的だ。また、事故も減り保険代も

安くなる。

民主党が高速道路をタダにする政策を考えているようだがガソリンは目的税。税の有効活用を模索すればいいことだ。私が前々から主張しているところでもある。

2. 猛反対を押し切れるか

岡山市内には、600余りの町名がある。地名ですぐ場所の分かる人は、非常に少ないはずである。幹部として区割りや区役所の設置場所を策定している人は、本省から来られた人などでどこまで熟知しているか、はなはだ疑問である。

最もよく知っているのは、ベテランの市議員さんであろう。自分達のよって立つ地盤であるからだ。審議会の委員のメンバーの顔ぶれを見る限り、岡山市のことをどこまで理解しているのかと思われる人もいる。そういう私ですら、分からない地名のところがあるのが現状だ。

区数や設置場所でもめているようだが、区を増やすのをいやがる原因の主なもの1区当り10億円かかるというお金の話。2000億円以上の予算規模の岡山市が、10億円のお金がかかると渋るようでは、政令指定都市になる資格がない。本末転倒の議論。

審議会はあくまで大所高所から判断する委員の会議だから、答申が気に入らなければ市議会で変更すればよいという主旨の勇ましい話をされている。地元をよく知っている市民の代表である市議会議員の主張を汲み取らないと「出来る話も出来なくなる」のではないかな。

市民のコンセンサスを集約するのに時間があまりにも少なく、反対意見との調整が難しいような状況では政令指定都市になってもろくなことにならないはずだ。

この話は原点に返り、時間をかけて再三再四話し合う必要がある。

(19・11・27)

平成19年は、残り少なくなり師が走るというほど多忙な12月も一日一日少なくなっています。ボカをしないように気を引き締めましょう。

防衛省の汚職問題については、またか、とあまり驚かない。しかし、前防衛事務次官だった事務方の最高責任者がゴルフや料亭に仕事を忘れて入りびたてうつつを抜かしていた。はたして、日本及び日本国民の生命・財産を守ってくれる人として失格ではないのかと憤慨しています。永田町の官僚はたるみきっているのではないかな？危機管理意識が欠如しているとしか言いようがありません。国家100年の大計に真摯に取り組み考えるべきだ。

私のような零細事務所でも24時間365日連絡が取れるように携帯電話を転送にして常時対応出来るようにしています。職業に対する愛情と責務だと確信しています。

※カレンダーは出来ているのですが、つれづれ草の冊子を作成中でした。近日中に一緒に送付します。送付がもれている場合もあるかもしれませんが、20日頃までにつかない場合はご一報下さい。※

平成19年12月7日 馬場 勉

最終回。長い間御愛読賜り感謝。感涙。 岡山市長選へ立候補するため

もうすぐすれば、桜が咲き“春”になります。「冬来たりなば春遠からじ」不景気であるからこそ辛抱のし甲斐があるというものです。今こそ踏ん張り試練を乗り越えましょう。

1. 経済活性化

今月末の3月28日から高速道の通行料が休日など条件を具備すれば乗り放題で1,000円になる。クルマが、高速道を利用するようになれば人の動きが活発になるため、お金は地域に落ちる。交通事故発生率は減少し、自動車保険は安くなるなどメリットは大きい。観光地あるいは潜在能力のある観光地は元気になれる。四国の八十八カ所廻りをする人も増大するであろう。

岡山は交通の要衝でインフラは十分整っている。これも歴代の政治家の労力に負うところも大といえる。ただ、現在は通過道路になり余り地元岡山にはお金が落とされていないということである。そうだとすれば、滞在型の観光地になれることを考えようではないか。役人に任せにおいては限界がある。一般人や観光従事者の考えを積極的に取り入れることが大切。私は新幹線や高速道・一般道等を走っていると思うのだが、トンネル内において携帯電話とかラジオが使えないことだ。最近では少しは使用できるヶ所が増えているようだが、国道など一般道のトンネルを含めて進捗率は低い。

投資金額はさほど大きくないはずだから、携帯電話やラジオが利用できるように早急にインフラ整備充実をすべきだ。線をつなげばよいのではないかな…。

そうすることにより非常の場合に役立つほか、経済的にも効率的で国家レベルの全国的な見地からは有益だ。緊急不況対策の国家プロジェクトとしても注目されるべきだと考える。

2. 株取引から学ぶ

ここ数年“株”に興味湧いて、少しばかり

のお金を動かした。ご多聞に漏れず赤字になっているが、アメリカの証券会社のような巨大な損失にはなっていないし倒産までには至らない。

考えようによっては、株式投資の赤字補填は“学ぶ”ための「授業料」だ。経済は、人の心の動きを読む学問でもあると考えるに至った。

数日上がれば必ず下る。下ったと思ったらまた上る。ずっと永久に上るか下るかということはない。そのからくりを解くことは為になった。戻り待ちをする人、売買することにより動いて幾らの世界ゆえ売り買いを誘導する証券会社、利ざや稼ぎ、空売り、損切り、などなど色々な局面があって成り立つおもしろい世界であるとわかった。

ただし、余り欲を出しすぎるとしっぺ返しを食う。“中庸”の精神構造がいる。損切りをする気持ちに余裕、と、実際に切り替える勇気も大切だ。日本人に欠ける撤退の精神を持ち実行することだ。

今年の最高値は、正月明けの9,000円台に乗った時点が最高の株価であり、最近の最低値は7,000円台をкаろうじて維持しているところまで下落した。その差2,000円に近い。約2ヶ月間での出来事。行きつ帰りつしながら下方にずるとシフトしながら転落した。政府はいろいろ施策をネッているが、これというヒット策はないようです。オバマ政権下のアメリカも同様の下方傾向である。日本よりもっと残酷のようである。日本経済の方がしっかりしていることだけは間違いない。

底値がいくらになるかを探っているようだが、やってみないとわからない。証券アナリストや経済評論家の予想もまちまちである。さほど当てにならない。自分の考えが必要だろう。

彼ら専門家は、一定の仮説を立てて将来動向を推測してどうなるというのだから、仮りに間違えれば私の仮説と違う方向に行ったため私の考えは間違いとは言えないという論拠で責任を取らない。反面、自分の考えた方向に進めば

天下をとったように天狗の如く自慢して吹聴する癖がある。

いずれにしろ、他人の考えを当てにすべきではないが気にはなる。経済は日々動いているから、仮説などはない。そこに誤謬が生じる。ただ、思うに無責任な予想は経験上の根拠があるためだろうが、外れた場合にリスクをとってもら、あるいは、メディアから追放すれば、もっと真剣に予見するのではと考える。天気予報と同等くらいに思っているのだろうが、ことお金がついてまわるのにしては、いいかげんなどころがあるように思う。

値下がりが大きいために塩漬けにして、株取引から足を洗うというのも良い一策であろう。

世の中は良くしたもので、株値が高い場面でも低い場合でも、株式市場へ参加者はいる。売買が成立している。勝った負けたの世界が繰り返されているということだ。

しかし、「株はわからない」と云った人がいたが、名言である。成るようにしか成らず誰にもわからない世界。一寸先は闇。1日をとってみても始まりから終わりまでの間で色々なパターンの曲線を描きながら株価が形成されている。上下幅が1,000円以上の時もあった。そうかと思えば、じっとガマンの1日で取引がずっと水平なときもあった。

比喩的に見れば、人生の流転を見ているようで、人生と重ね合わせてみると株の世界と人の一生の人生模様は似ているところがあり面白い。人生劇場の最たるものかと思うが、本業はしっかり守った上で楽しみでやって欲しいと思う。金と心の余裕が大切だ。遊び心が必要な世界である。株をやればボケないそう。欲ボケに凝る人は損をして退場しているでしょうから、そこそこにする必要がある。

3. 一喜一憂しない

株をやってみて思うことは、常に変動してジツとどまることはない。これが生きた経済活動であろう。政治がどうであれ、経済は動くのである。

株価の動きに喜んだり悲しんだりすることはない。一日のうちに天と地がある。また、中長期的には大きなうねりの中で泳いでいる。そう思えば何を慌てることがあるのか。何も動揺す

ることはない。人生も株も何とかなる。金は天下の回りものだ。

しかし不変なものも世の中にはある。歴史上の建物などは昨日今日できたものではない。長年の風雪に耐え歴史を見てきた。にもかかわらず、利益をあげるために再開発して建てかえれば効率的だとお金至上主義者はいう。東京丸の内の東京中央郵便局舎の取り壊し問題で重要文化財指定をどうするかということである。

小泉一竹中ライン及びこれを取り巻く経済界のアメリカ追従型資本主義路線はすでにサブプライムローン問題で基本的には破綻しているのだ。アメリカ流は間違っていたと反省した学者がいる。「かんぽの宿」「東京中央郵便局舎」事件など、郵政民営化論議が見直されている時期なのである。これらの色々場面を冷静に、日本国の過去・現在・未来の有姿を考えるよすがとしたい。金儲けに焦って一喜一憂することはない。歴史に学べといいたい。金に勝る財産があるからだ。

4. フィナーレの時きたる

平成13年1月から書かせていただいた。約8年余レギュラーとして書いてきました。原稿が遅くなりご迷惑をかけたこともありましたが、それ以上に飽きもせず寛大な心で読んで頂いた皆様に心からありがとうございますと申し上げます。

本当は、これからも書き続けたかったのですが、不肖な私が来る9月に行われる「岡山市長選に立候補する」ことを決心しました。そのために3月末頃から4月初め頃までには立候補の表明をしたいと考え、表明後になおかつエッセイを書いて公表するのはどうしたものかと考えた結果、断腸の思いで今回を最後に完了させていただきました。勝手に申し上げお詫びいたします。また機会があれば別の意味で書かせてもらえれば幸甚です。同様にエッセイを書いておりましたビジョン岡山の「平成つれづれ草」もNo.150号になる3月末で打ち切りとします。トータルで見れば、執筆は平成3年5月から始まり18年間の長きにわたり一度だけ欠けています。あとは全て書いて完結させています。いずれ本にまとめる予定です。

ただいま、身辺整理やこれからの段取りなど

の整備充実などに努めています。今後残す仕事等は、(株)馬場総合鑑定所（不動産鑑定業はプロパーの若い資格者が中心になって行います）、おかやま適塾（2年が無事経過します。私が中心にやっていますので続けます。塾長代行を置きます。）

この度、岡山市長に立候補することになりましたが、必ず勝つという信念で臨んでいます。勝てば官軍負ければ賊軍です。決断するまでは短い時間でしたが、いろいろなことを経験しました。

例えば、まわりのものに話したところ本気かと問われますのでマジだというと「あんたなら受かる」からぜひ応援してあげると言ってくれる人が多く、全体の雰囲気は良好です。ある女性がメガネを変えて柔らかい雰囲気にした方が女性は好む。メガネを変えたら応援すると言ってくれましたので、メガネを新調したら、みなさんが私の雰囲気がチェンジして似合うと言ってくれたのでポスターに使う予定です。

私は岡山市に生まれ、岡山市で育ち、岡山市で仕事をしている。純粋な気持ちで岡山市のために尽くしたいと思うだけで、えらっそうな態度をとりたいとか、金儲けしようとかという気持ちはサラサラ無い。今の状態でも、細々と食べて生きていくことはできる。仕事をしてきたから社会的にもそれ相応の地位も築けた。私には失うものはないといえるから誰にも遠慮はいらないと思っている。

誰か一人でも自分を信じて応援してくれる人がいれば、その人のためにガンバリたいと思う。お世辞であっても、周りの人からはウグイス嬢をすとか、あるいは宣伝カーの運転をやるとか、旗をたてて応援にゆくとか言ってくれるので嬉しい。

ひるがえって、自分を振り返ってみるとき、一生懸命努力してきたと考える。「馬場勉」の名前は結構周知され知ってくれてる人が多いとのこと。あの男はどうしても許せんから貶めてやるという考えの人はいないと思う。まあ、いいかということだろう。選挙カウンセラーの言では、当選の条件は、愛嬌があることと自分の人生を振り返って運が良い男だったと思えることだそうだ。

立候補予定者は、今のところ4人ばかり名前があがっているが、現職に対する内ゲバ的匂いのする人が存在する。私は全くの自分流で個人的恨み辛みはないから独自路線を走るだけだ。群れるのを好まない体質でもある。しかし、自分一人では大きな仕事を成し遂げることは無理で、応援団が要る。選挙に関して組織の無いものは、その辺りをどうするかが課題である。これから思案する。

選挙のプロと思われる現職の議員などの話によれば、選挙は大変だからと忠告してくれるのは有り難いことです。お金もかかるし、ある事ない事を吹聴されるとのことだ。だが、「我が闘争」史では自分の人生において命懸けのことが幾度かあった。それを乗り越えてきた。いろいろな面で強くなったし、一度決めたら理念と信念には忠実でブレないという確信はある。だから、そんなにびくりにしてびびることはないと思う。有権者のうち女性が半分以上を占める。だから、まず女性にもてることが第一条件である。ある女性いわく、「あんたならいい」とのことであつたから気を良くしてガンバルことができる。お金は天下のまわりものだが、選挙をやるのは一生一度あるかないかの決断だ。棺桶に足を入れた時に選挙しておけばよかったと後悔だけはしたくないから挑戦する。

当るも八卦、当らぬも八卦だが、先日香川県金比羅山に参詣した。石段に3人の手相見がいた。そこで一人2,000円で6,000円の投資をした。どなたも私の運勢は良く、手相が良い。また、顔の相も悪くないとのことだった。9月からは特に良くなるとのことであつた。市長選に出たいといったら、やってみたらいいということだった。手相や人相はその人の心を表し個性が強く各人の運勢判断としては当る確立が高い。

以上縷々述べた次第で、長い間にいろいろ書きましたが何かの参考になり、勇気と元気を与えることが出来たのであれば嬉しいです。また別の機会でお会いできることを楽しみにしています。ありがとうございました。これからも、いろいろな局面で応援して下さい。よろしくお頼みいたします。

H21.3.6 馬場勉 記

世界同時恐慌時代来る。日本も例外ではない。

経済、政治、さらに自然界もおかしい。一喜一憂することなくドンと構えて受け止めて対策を練ることだ。平成20年も終わります。新年が七転八起ながら光明のさす良い年となるように祈ります。

1. 有楽町で逢いましょう

フランク永井さんが死去されたとの報道があった。「有楽町」という歌がヒットした頃は一昔前で何処にあるのか大方の人は知らなかった。学校で物知りの生徒が東京駅の一つ手前の駅だと教えてくれた。「ああそうかと思った」のが未だに記憶に残っている。名曲が流行った昭和32年当時は（50年前）ほとんどの人が東京へ行くことはなかった。

学生かサラリーマンなどで東京へ行く人はいただろうが、その当時は今のように3時間余りですぐに行ける場所ではなかったし、随分遠いところのように思っていた。50年の歳月の間に世の中は随分変わった。当時は歌謡曲が国民の間に流行って全盛時代であった。美空ひばり、フランク永井が亡くなって昔の懐かしい名前の人々が少なくなってしまった。国民の全世代の人に人気のある国民的歌謡曲の歌人がいないのは淋しい限りです。多様化した現在では歌謡曲は人気がもうひとつです。

2. じっとガマンが必要

100年に1回の株安円高の前代未聞の乱高下の時代に翻弄されている。サブプライムローンに端を発した高度の金融工学の挫折が全世界に与えた影響は甚大である。アメリカはブッシュ政権が終わりを告げ新しい民主党のオバマ氏が、新しい世代を切り開くことになった。これからどうなるのかは読みきれないが、世界が手を取り合って諸対策を練るのできっと落ち着いた時代が訪れるであろうと思う。お金は天下の回り物だから良くなったり悪くなったりするが命までは奪わない。ただ戦争になればそんな悠

長なこともいっておられないから、オバマさんも平和な世界をつくるようにしてほしいものだ。しかし、世界経済は悪化の方向に残念ながらシフトしている。

3. 定額給付金

最初から本気だったのか疑わしい。麻生さんが総理大臣になり直ぐに衆議院を解散する段取りで、公明党からの提案を基に国民一人当たり12,000円のお金を選挙の人気とりとして、アドバルーンをあげてば撒くことにした。ところが、解散がずれたため言った立場上、具体化する必要になった。そうこうする間に異論があちらこちらから出て収拾がつかなくなった。各大臣や党員が総理の言うことには絶対的服従するのではなく、皆が言いたい放題を主張する、これは困ったことである。収拾がつかなくなったというのが本当のところ。

麻生総理は、意外と思いつきが多いのではと思わせる面もある。よく発言内容が変わるのである。部下はくるくる話が変わればたまったものではない。政策立案ができないからだ。事前の打合せ、俗にいう根回しをしておかないといけない。ただあまり、ガンコ一徹で人の言うことは一切聞かないというのも困るが行政は、皆の考えをくんで上手く収めるべきだから、よく話し合った上で発言し、かつ、実行するようにしないと無用の混乱を生じることになる。

それにしても、どういう性格のお金を国民に配るのだろうか。景気浮揚であれば金持とか、貧乏人とか差別する必要はないのではと思う。金持である高額所得者は納税も多く、支給停止等の足切りの局面も多い。少しは恩典を与えてやればよいのではないか。金持は消費に使う機会も多いであろう。反面、一般国民は預金するため景気浮揚には役に立たないとも言える。

お金は生きた使い方が大切で、貯蓄にまわれば景気対策には影響しない。選挙のために人気取りのバラマキではダメだ。本気に景気を良くしようと思うのであれば、知恵を働かせるべき

であろう。

4. 選挙カウンセラー

聞きなれない言葉。テレビの対談での話。アメリカでは選挙を仕切ることを職業にする人がいる。日本でも、選挙プロあるいは選挙ブローカーのような印象で認識されているが、もっと洗練された職業とする集団である。

まず、選挙に受かりそうな人から仕切ってほしいと依頼があれば、立候補者がどういう人物かを見定めることから始まる。

当選する条件 ①運が良いと思っている人 ②愛嬌がある人 ということが条件である。すなわち、キャラクターがあって皆から好かれて人生に運がついていると思える人物。要するに、運の良い人ということになる。麻生総理は、この条件に当てはまるかもしれない。色々言われても愛嬌のある顔立ちだから、最後は“まあいいか”という気持ちにさせる。名家の生れ育ちだから生れた時から運が特別に良い。以上のような条件項目から考えれば、麻生さんは後世に名が残せる大物になれる器がそなわっているはずであるが、期待はずれになるような気がする。

翻って、陰険で暗い感じの人は東西古今人気がなく、どうも大物の器にはなれそうにない。仮になっても長続きしないようだ。

昔はウグイス嬢がマイクを握っていたが、今はイケメンのボーイがマイクを握るのがよさそうだ。なぜならば、選挙民の女性の社会進出が多くなったため、外に出ているから立候補者と接する機会が多く主張を聞く機会が多くなったから。

マニフェスト（選挙公約）は、あまり読まれていないようで、やはり、重要な柱のみを主張するのがよさそうだ。小泉元総理のように郵政改革のみを叫ぶとわかりやすいのである。ただ、思い付きで実現が難しいようなパフォーマンスは、かえって信頼を失って逆効果になるだろうから注意したほうが良さそうだ。

5. 確信犯

政治、行政の世界で個人的に確信的な信念を持っていることは大切だが、行政の高官や内閣の一員になるような人は、全体の雰囲気を考えて行動すべきで、あまり論拠もない幼稚な理論

構成で話をしないことがよいと思う、日本国あるいは国民にとって利益にならないからだ。

例えば、小泉元首相が靖国神社に御参りしたことが、歴史認識の相違で中国側がへそを曲げて、日本の商品（例えば、中国の国土に新幹線を導入するための入札）を中国が日本を排除したということにもなったから、上に立つ人は、行動に注意することが肝心だ。先日は、更迭された田母神（たもがみ）俊雄さんという前航空幕僚長は確信に満ちて、日本の過去の歴史認識や憲法について独自の見解を表明したが困ったことだ。60才ということだから戦後の生まれで戦前には生れていなかった。自分が経験していないことを軽々しく、話を作りあげてはどうにもならない。80才以上の戦争体験者の生の声をよく聞いてから自分の考えを構築してもらいたい。戦争体験者の村山総理は謝罪したではないか。

また、宮崎県選出の中山成彬衆議員は、入閣した途端に日教組等に関する自説を述べ、クビになったあげく選挙にも出れなくなった。教育の専門家を自認しているらしいが、自分の置かれている立場を考えて発言しないと折角大臣になったのに大臣の椅子を棒に振って直ちに罷免される。奈落の底に落ちて自滅することになる。入閣該当者については、身体検査という身辺調査をするらしいが思想的に片寄った人は要注意しないと内閣自体が崩壊しかねない。貴重な参考例として他山の石としたい。

6. 岡山県知事選

すでに結着のついたことだから、お互いの陣営は和平して岡山県のために勝ち組・負け組に関係なく協力したいものだ。ところが世の中はそうもいかないようで後遺症がくすぶっている。岡山県の各審議会の委員など役職に付いていた人は責任をとって辞任した方が良いのではないかと進退伺いを、あるいは、パーティーなどで顔を会わせても敵の幹部と思われる人には挨拶もしないとか、さらに、従来県知事が出席していた大会にも欠席するなどの状況になるとかで、それなりに気苦労も多い。石井知事さんは、器量も大きなところを示して岡山県のために御奉仕してほしい。31万票をとった相手候補の敗因は最後の3日間に気が抜けてしまったこ

とだ。12年間知事の座にあった現役の知事が絶叫して最後まで必死だった。最後の投票が終了するまで、凄かったのである。土壇場に支持にまわった政党もあるらしい。選挙という厳しさが勉強になった。最後の最後まで気を引き締めることだ。大量の批判票とも受け取れる反対票の重みをかみ締めていただきたい。知事職に専念するために仕事を整理されることは没頭できるので良いことです。釣った魚に餌はやらなくとも結構です。岡山県のため努力して下さい。

事業の縮小や廃止を進めれば、県民生活に影響もでてくるが、県民は我慢する。しかし、県民に夢を語り、どういう岡山県にするのかという理念をわかりやすく説明してほしい。岡山市が政令指定都市になれば、県の存在価値は半減する。存在感が薄くなることは明白であるからなおさらのこと県の存在感を示し県の将来のため県知事は全身全霊で尽力してほしい。

戦いは終わったのだから、これからは皆さん仲良く岡山県の発展のために尽力しましょう。チボリ公園の将来についても御賢察を表明してほしいものです。12年間に及ぶ知事経歴やチボリの対応などの貴重な実績・体験を無駄にすることはできません。

7. 急激な様変わり

1年程前頃までは、岡山県内の製造業特にクルマ関連産業は人手不足ということで大変だった。しかるに、アメリカのビッグスリーの車メーカーが倒産寸前。どうなっているのか？世の中の変化が早い。インターネットやメディアの報道が世界同時相互通信になり、茶の間でリアルタイムに世界を知ることができるようになった。

だから、即座に全世界の人々の心理面へ与える影響が非常に大きいといえる。お金は持っていないでも不景ということで買い控えるから不景気に拍車をかける。今まで表面に出ていなかったことが、一気に噴出し、あちらでもこちらでも火山の噴火のようになるからたまったものではない。高級品や海外旅行などは、やはり冴えないようである。ただ世の中は広いから、旅行や買い物ツアーに行く人はいるが少数派であろう。黙って買ったり旅したりすればいいが喋ると周りの人が嫉妬するから、購買を遠慮することにもなる。インドでテロがあった。ど

こでどんな目に遭うかわからないので旅行者も減少するのではないかな。

私は、世の中の動きが急すぎると思う。世の中の動きを多方面から把握しておかないと失敗することにもなる。いわゆる勝ち組と負け組がはっきりする時代が来るとのことだ。勝ち組になるにはどうしたらよいか、名案はないがやはり真面目に信用を勝ち得ておくことでしょう。いざという時は周りの人々が助けてくれる。常に、体質改善に努めることも大切で反省しつつ謙虚に前向きに前進するようにしたいものです。

なお、小沢一郎さんが麻生総理に「綸言（りんげん）汗の如し、首相の言葉は重い。発言に責任を持つべき」とダメ押しをした。

8. 落語（お笑い）の世界

麻生総理はマンガがお好き。それはそれで結構なのですが、どうも日本語の常用漢字（中学生）レベルが良くわかっていないようです。本人はけろっとしてあまり深刻ではなさそうですが。

一国の総理として国を治めるのですから、恥ずかしい。国民が総理をバカにして、どんなにいいことを言っても相手にされないようになることは残念です。英語は達者ですが。ただ救いは、茶目っ気に悪気のない笑いをする顔ですから“まあいいか”と許されて得をしています。

育ちが良いのでしょう。思ったことをズバズバ言う。もちろん一面の真理はあり、同感する点もありますが、相手の気持ちも考えて発言しないと一方的になる。たびたび謝罪をする羽目になります。総理の発言は重いので思っていることを素直に話せばよいということにならないのです。注意を要します。軽い人だと思われ国民から見放されてしまいます。

週刊誌によれば「踏襲」「頻繁」「未曾有」「詳細」「有無」「物見遊山」「前場」などが、一般的な読み方ができないようです。法律にこのように読めと決まっているわけではありませんから、好きに読めば良いのですが、国民とコミュニケーションをする以上共通の読み方があります。一人だけ違う読み方をすれば、浮き上がってしまいます。要は字を知らないということです。マンガばかり読んで少しかたい本は読

んでいないと思われても仕方がないのです。

なぜ自分勝手な読み方をするのかということですが、確かに麻生総理のような読み方も不可能ではなく単純に読み方をつなぎあわせればできます。ということは日本語独特の複雑な色々な読み方をしないでも、単体の読み方一つだけ覚えてつなぎ合わせて読めば総理が読むようになるということでしょう。これは英語に通じる考えです。英語の場合日本のように多様な意味合の表現をすることが少ないため、読み方が単純化しやすいので単語の発音をつなぎ合えばよいのです。アルファベットの表音につながるだけです。

ただ、考え方によれば落語の世界では面白おかしく物語を作りあげることができて、笑いの世界に導いてくれるのではないのでしょうか。政治も笑いの文化（ユーモア）が加味される必要があります。しかし、ダジャレにより面白おかしく話しをするにしても、多発するといやみになりますから適当な頃合が肝要です。尚、専門用語の間違ひは、致命的です。“株”の世界では「前場」「後場」を「ぜんば」「ごば」といいます。すなわち「前後」です。しかるに「前場」を「まえば」といえば「前歯」を想像し何のことかわからなくなります。同じ考えでは、「後場」は前後を「まえうしろ」とも読みますから「うしろば」ということになる。経営者として活躍した経験を誇りにしている総理ですから特に経済に強いというのが定評ですが、経済のことを語る資格がありやなしやという切実な問題に直面します。専門用語だけは、自分勝手に読まないように注意しておかないと、何も知らないやつだと国民からバカにされます。念のため。よくある例に「相殺」があります。「そうさい」と読まないで「そうさつ」と読めばアウトになりますので御用心を。

9. 人生を語る

山陽新聞に連載中の岡山で活躍されて功成り遂げた成功者を各人の生涯を、生をうけた時から振り返り、人生観や商売観、生き様等々を書いている記事があり、私が存じ上げている方々の「人生劇場」を興味深く楽しみに読ませてもらっている。特に、印象に残っているのは、はるやま商事の

治山正次会長である。苦労人らしく親の商売を引き継いだとはいえ、一代でタタキあげたも同然。私はかなり前のことになりますが岡山店に立ち寄り商品を買った時、店頭で会長がワゴンに入っているチラカッテイル商品をひとつひとつタタンでいる姿を見て、おやっと思ひ感銘を受けたことがあった。苦労人は違うなと思った。なかなか出来ないことですから。

最近では分業が進んで自分の担当以外の分野には手が空いていても手を出さないという人が多い。雑巾がけ・かごかきができるのは、タタキあげた苦労人だからできるのである。二世・三世になれば余程の帝王学でも学んでない限り、勉強のしすぎで頭で物事を考えるためつまらない下働きはしない。だから、丁稚奉公も必要なのであろう。「可愛い子には旅をさせよ」といいます。私は苦労がたりません。反省しています。

また先日、おやっと思ひしたのは、新幹線に乗るときの光景です。両備ホールディングスの松田亮会長が2号車あたりの自由席から降りられていた。グリーン車に乗るものと思っていたが意外でした。人違いかもしれませんが。私は、ほとんどが自由席です。安いのと時間に拘束されないのが魅力です。本数が多いため何時行っても乗れる自由席を利用しています。構内を歩く距離はかなりありますが、歩け歩けです。都会の人の方がよく歩いている。地下鉄や電車の乗換でどうしても駅構内を歩くことになる。あまり退屈でなくて楽しい乗換になるのは、店舗が張り付いているため刺激があって歩くのが楽しいからです。地方では乗換とか町歩きが退屈なのは、ショッピングも出来ないような寂れた街の現状のため面白くないからです。この辺の事情に歩かない問題があるのと交通機関の連携がよくないのでクルマを使う機会が多くなるためでしょう。田舎の人の方が歩かない。すぐに乗り物に乗るようです。経験的にわかることは、何事も楽しいことは時間の経つのが早いですが、嫌なことをするときには長く時間が感じられます。

私は、岡山県内でもっとも交通事故発生率の高い大供（だいく）交叉点を中心に市内を自転車に乗って移動しています。自転車が市民権を得るようにしたいのですが。自転車をこぎかつ歩いているので病気にならず自己満足しています。

10. やはりプロは違う

不景の波は、歓楽街へも波及している。例外ではなく東京の銀座、大阪の北新地など高級ブランドの飲み屋さんも同様に落ち込んでいる。そこで考えたのが「北新地クイーン」である。初代クイーンの方はホステス歴10年になる人で美人とお見受けした。

美人だけでは別段どうっていいことはない。男と女はまず愛相だ。美人系であっても心が通わず気まずい思いをすることだってあるし、それほど美貌といえない人でも愛情こまやかな癒し系の人だっている。この初代北新地クイーンなる女性がさすがプロだと思わせたのはなぜかだ。彼女曰く、仕事とはいえ隣に座って下さった男性は、みんな“恋人”と思って時間を過ごしてもらうように心がけているというのだ。この辺りが、並みの素人に毛がはえた程度のホステスとは違うところ。会話の内容（常に問題意識持つ）や仕事の疲れをとってあげる癒しの言葉や作法を心得ているのだろう。

同じことは男性の場合だっていえる。女性にもてる人は、単なるイケメンというより、内面から発露するオーラあるいは会っている時は、対象の女性のみを対象に一生懸命に尽すという心掛のある人だと思う。だから、他の女性にもてるといいうっかみも生じるものの、嫉妬に狂うこともなく、複数の女性に受け入れられているようだ。私もそういう男性になりたい。また、女性も初代北新地クイーンのような心構えで男性に接すれば評価は変り高まると思う。

余談だが、男性はいつまでも（死ぬるまで）

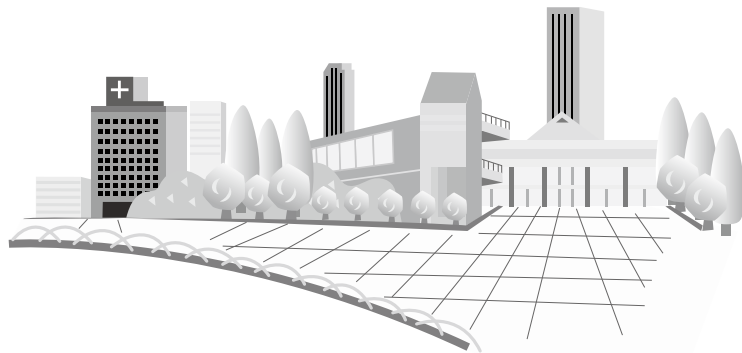
男でありえるらしい。そのためには常に女性に関心を持って恋愛感情を持ち続けることらしい。要は女性に興味を持ち続けるということが大切。ただ一人の女性のみを思い続けてストーカーにならないように。ストーカーにならないためには、視野を広くもって多くの女性に関心と興味をもつことだろう。世の中は広いのだから一人だけに固執することはない。

また、どうでもいいことだが、ある飲み屋さん行ったら「あなた馬場さん」でしようと言われびっくり、確かに十年以上前に行ったことはあるが、何故知っているのかと尋ねたら、「ビジョン岡山」すなわち瀬戸内海経済レポート発行の週刊誌を読んでいるとのこと。何時も馬場さんのコラムを読んで御対面しているとのことだった。飲み屋さんのホステスさんなどは、お客さんと話をあわせるために岡山の情報も丹念に取り入れて話のネタにしているということだ。その道で勝ち組になるには、日頃の心掛けが違うということらしい。

これらのことは、ホステスさんだけに限らず、どのような職種の仕事でも共通していることで何事にも好奇心を持って情報を吸収し「あなたが恋人です」という気持ちで対処しなければならないという当たり前のことです。簡単なことのようにですがその簡単なことがなかなか出来ず、自らを磨けないでいる人が多いのです。

平成20年最後の文章になりました。毎回お読みいただき誠にありがとうございました。来年もよろしく御願います。不動産業界が少しでもよくなる年になりますように祈願します。

H20.11.28 馬場勉 記



不景気に関わらず、インフレが進行する 日本経済の先行き不安。

今年は、半分が残り7月に入った。秋には岡山県知事選がある。岡山の明るい夢を描く人の出現が期待されるのだが…。県民はそれなりの考えを持っている。なめたらダメですよ！

1. 知るを楽しむ

知らないことを学ぶことは、楽しみであり喜びを得ることになる。

テレビの娯楽番組などは、ほとんど時間帯の都合で私は見ることがない。男がパンツ一枚で出てくるような番組もあるようだが、皆さんそろそろテレビに飽きがきて、少しは骨のある硬派の有益でためになる内容を見たいと思うようになってきているのでは…。視聴率が、テレビの収益性（売れ行き）に影響するので楽しい娯楽番組（クイズなど知識をくすぐるものもてはやされている）が多い。しかし、見る人は少なくても、国民の何割かは「知る楽しみ」があり勉強になる内容の物を見たいと思っていると思う。私がやっている「おかやま適塾」は内容の濃いものが多く、皆さんから喜ばれている。

先日、ちくわ笛奏者の住宅（すみたく）さんが担当した。非常に面白おかしくためになった。民謡などを学問的に歌を入れながら講演をした。非常に受けた。私は、話の内容に少し肉を付けたら博士論文にもなるから、博士号が取れるのではと話したのだが…。

いずれにせよ「知るを楽しむ」はNHKの専売特許ではなく、市民活動においても庶民は皆さん未知の世界を知ることに関心している面がある。現在、「おかやま適塾」はケーブルテレビで流している。数万人の人が見ているのではと推測している。将来的には地上波を利用して流すことも視野に入れている。

企業メセナの一環としてKSB（瀬戸内海放送）から流したいと考えているが、何時の事になるか分らず、構想段階で終わるかも知れないが、実現したいと思っている。皆さんに適塾

の話を楽しんでほしいからです。

2. 地下鉄

東京では「赤坂見附」に私は定宿を取っている。何処に行くにも交通は便利のところゆえ。先に副都心線（池袋～渋谷が開通）したとのことで、「新宿三丁目」で乗りかえて「池袋」にでた。初めて走った銀座線から見れば広々として綺麗でよい。何層にも地下鉄が重なって走っているところだ。地上へ地下へと建築が進んでいる。際限がない。土木建築の技術は大変なもので、門外漢の者には想像しがたいパワーと粋が秘められた工事である。

私は、地下鉄の構内を上り下りし、かつ、長い連絡通路を荷物を持って歩きながら何時も思う。自分の足で移動出来るうちが花だ。もし人の力を借りるようになったら、“旅”は終わりだ。

足は立たなくなっても口は達つだろうから、そのときは口先三寸のビジネスをするか？

不動産鑑定業の社長は辞めるつもりはない。実際の作業は若い人にやってもらっても、お客さんとの話し合いは出来るからだ。

岡山から東京間は、3時間余りの距離だから日帰り圏域である。岡山に支店や営業所を置かない企業も多くなった。岡山市は政令指定都市になる予定だが、費用をかけて政令指定都市になったとしても、経済力がバックアップしなければ器が大きくなって経費がかさむだけという赤字体質にならなければよいが。図体が大きくなればその経費が増大するためその重みに耐えかねて潰される事が多い。経済界では支店を増やし人数を多くしたために倒産した店舗は多く別段めずらしいことではなく、よくあることで経験済みのことだ。

岡山が何処にあるかを知っている人は、半分（50%）ぐらい。知らない、行ったことが無い、という人も多い。3時間余りで東京へ来れると言っても半信半疑の人も多いが「きびだんご」は知っている。

政令指定都市になって岡山の知名度アップになればいいが、名前を知ってもらって来てもらうには、どうすれば良いかを考えなければならない。チボリ公園で埒（らち）があかない喧嘩をしている場合ではないのだが…。

3. スタグフレーション (stagflation)

日本のただいまの経済状態は、スタグフレーションになりつつあり困った状況下にある。スタグフレーションとは、景気停滞状況におけるインフレをいう。すなわち停滞を意味するスタグネーション (stagnation) と物価水準が持続的に上昇していることを意味するインフレーション (inflation) の合成語。すなわち、「経済が停滞しているのにも関わらずインフレが続く状態」を言う。最悪の経済状況といえる。

企業決算は、前年は過去最高の収益だったのが一般的企業だが、原油や食糧の高騰により諸物価が軒並み上昇する傾向を示している。反面、アメリカのサブプライム問題などにより、基軸通貨のアメリカドルが相対的に地盤沈下しているため、日本経済はもろに影響を受け株価は連動して下げている。日本経済はできるだけ速やかにアメリカ経済と手を切らねばなるまい。完全に無縁になることは無理だが…。

企業の儲けは株主に厚くなり、労働者の賃金へはあまり反映されていない。したがって所得が増えないのに、諸物価が高くなってくるとどうなるか。要は、可処分所得が少なく個人や企業の消費が減退する傾向が顕著になってくる。したがって、物が売れなくなる。在庫が増大する。

これからは、経済活動がどうにもならない状態に陥るであろう。長い目で見た景気循環が起こればよいのだが、そうとばかりは期待できないというのが私の見通しである。

役所もお金が無いため仕事をしないので役所の金回りが悪くなると経済は益々失速することにもなる。知恵を働かすいいチャンスである。首長の腕の見せ所でもある。ただ金融機関には、昨年秋ごろから預金が増えつつけているらしい。行き場のない個人や企業のお金が銀行等に還流しているらしい。融資先も限られるので金融機関も困っているのが現状かと考えられるが、私の杞憂であればよいが…。

4. 月給、ボーナスの遅配

岡山県は「財政危機宣言」をしたが、知事は何処まで危機感を持って財政建て直しを思いつめているのかは疑問である。坦々と他人事のように話す（読みあげる）だけで、知事の気持ちが伝わってこない。

6月30日は、岡山県職員にボーナスが平均年齢42.7才で81.5万円支給されたとのこと。県の財政がどうであろうと頂くものは頂きます。民間であれば儲けに応じて支払われる。儲からなかったらボーナスは支給されないというのが現状である。

勿論、借金してでも社員には何がしのボーナスを支払うという社長もいる。現実問題、公務員や金融機関等は、一般企業の1.5倍（70%相当）程の給与を支払っているのではないかと想定する。それに見合う仕事であれば誰も文句は言わないし、一般人のやっかみに聞こえるだけでしょ。ところが、どうも仕事ぶりから、判断すれば民間企業の人のの方が働いているようにも見える場合がある。肉体労働でなく頭を使っているのだといえそうかも知れないが…。

「居酒屋タクシー」なるものが話題になっている。金品や米・ビールを貰うのが話題になっている。しかし、問題は、なぜそんなに残業が多いのか？朝は8時半に執務についているのだろうか？、多分、相当遅れて出勤し、夜遅くまでやっているのであろう。残業代も馬鹿にならない。もっと効率のいい仕事は出来ないのか、中央官庁の人達は、自分達が日本を背負って立ち日本を動かしているのだという気概と気持ちが強いのだらうと思う。キャリア組には、留学して国からお金を出してもらって箔が付いたら官庁を辞めるものもある。民間にもそういう資格だけ取得したら条件の良いところ行くチャッカリした者もいるからどっちもどっちだが、残業つづきではまともな仕事が出来るはずがない。何時、寝るのでしょうか？居眠りをしながら仕事をしていたのでは効率はあがらず能率が悪いでしょう。どこかで手を抜いているのではないかな…。

県や市でも似たようなものだろうと思う。私の事務所から見える市役所も遅くまで電気が付いています。余程仕事ははかどらない人達の集

困なのでしょうか？本気でやったらそんなに長くは頭が疲れて続かないはずです。無駄が多いのでしょうか？

私の場合は、仕事というより好きなことを夜遅くまでしていますから、残業の類には入らないでしょう。私の趣味の世界への挑戦ですから、それはそれでよいと思っています。

5. 株式

上場されている株式会社の社長は、タフな精神の持ち主でなければ務まらない。勿論、株式公開をしていない株式会社でも、人を使用する限り責任があるから同じだろう。

会社には、執行役員と従業員さらに株主の三者が存在し、株主には利潤をあげて利益配当しないといけないし、従業員には、月給を支払う必要がある。気の小さい人が社長であれば務まらないだろう。いつ何時、左前になって倒産の憂き目を見なければならぬか分からない。大きく発展すれば、多くの店舗を持ち、多人数を雇用しなければならぬ其の重みに耐えることが必要である。

外国からのファンド等の投資が日本の株式会社の株主配当が少ないと注文を付けているから、気が休まらないだろう。県や市は、収益事業はしない代わりに税金を取り立てて公共事業をしなければならず、外部からの批判にこたえなければならぬ。首長も大変といえる。4年間で任期だから、再選されなければそれまでである。ただの人になる。規模からすれば、大企業並みのスケールであるから、考え方も理念(信念)を持っていなければならず、政策を決めるまでは、県民や市民その他の意見を聞く必要があるが、一度決めたらガンコに貫徹する志がいる。グラグラ変わったり、その場限りの発言に終始しては、信用を無くして務まらない。結局のところ、民間も官庁も基本的な考え方は同じ基盤の上に立って仕事をしているといえる。

ところで、株式の取引を少しやってみて思うことは、忍耐と中庸の精神が必要であるということ。洞察力も必要だが、いいときばかりではないから、値下がりなどでどうにもならないときはどうするかであり、忍耐と長期的展望がいるだろう。また、一日の間でも値動きが激しい

から、常に最高値で売り、最低値で買うという事は無理だ。だから、程々のところでガマンする、諦めるという中庸の心がけが必要となってくる。私は、忍耐と中庸の気持ちが少しできたかと思う。株式をやった結果、人間修業が学習できたことは自分の財産になるであろう。

また、投資の哲学(理念)を持つことも大切であろう。自分流のやり方、生き方をしっかりさせることだろう。証券マンのいう事に乗ってはいは、損をした場合、諦めが悪くなり文句が多くなるだろう。自らの判断であれば、諦めもつくし、自ら反省もするであろう。

それにしても、バブルのごとく消えてゆく富があるということである。いつまでもアメリカの後を追ってはいは如何ともし難い。日本経済は独自の道を歩むようにならなければならないと思う。県だって市だっていつまでも国頼りでは情けない。自立したいものだ。

いずれにせよ、生涯現役の意気込みで授業料を支払っていると思わなければならず、いつまでも勉強の姿勢を崩さないことが大切だと思う。

6. 厭世気分が漂うチボリ

平成20年6月30日に、チボリ・ジャパン社の株主総会があった。石井知事の作戦勝ちというところか？

伊原本副会長・坂口社長などが色々案を出したが、いずれも「転貸し」をしないという考えや「公的支援」をしないということで、もうどうでもいいから勝手にせえ〜という厭世気分になったのではないか。結局、石井知事のネバリ腰で周りが諦めて、投げ出すのを待ったことの勝ちというところか？ただ、会社の解散はそう単純に終わるものでもないから、勝利の美酒に酔うのは早すぎる。

石井知事は、4選されるという前提にたって知事の立場で、主張を続けているが、果たしてそううまくいくかどうかは疑問である。今回の騒動の渦中で、チボリ・ジャパンの徳田専務は県庁のOBの人であり、県から圧力がかかっていたにも関わらず、辞職覚悟で公選存続に賛成し、県庁に反旗を翻した骨のあるかつ自分の良心に忠実だった信念の人である。このような人が多ければ世の中は変わる。しかし残念ながら、世

におもねる人がいるのも事実です。

株主総会は株主全体の問題であるから、一株でも多い方が優越する。したがって、将来的にはどうなるかは不透明である。

ただ、やる気を失うのが一番怖い。「やる気」と「情熱」が何事も大切であり、いつまでもダラダラしていたらその気力さえ萎えてくる。それが心配である。資本金の残りを食いつぶし動きがとれなくなる時を待っている人もいないのか。

世の中は、蛇のように巻くいついて執念深く、

何と言われようと耐えている者の方が勝つのかも知れない。あっさり投げ出すのは潔いが、人生あるいは世の中では負け犬になるということを学んだ。ただ、性格の問題もあるから皆が執念深く他人を介して物事を進める真似ができることではないが…。いずれにしても、事情通の話を聞けば聞くほどチボリ公園の攻防が分からなくなった。「正論」を言っていれば別段恐いことはない。誰からも無用の圧力はかかってこないことだけは真実であり体験済みである。

H20.7.1 馬場勉 記



区切りの平成20年。沈みがちな日本に元気を

例年になく寒い冬。雪がちらつくことの多い年。西大寺「会陽」が終わったので春の訪れも近いだろう。日本（岡山・倉敷）が元気になるための方策を考えよう。

1. 静かに振り返ってみる

昨年の1月からのここ1年余りは多忙だった。色々なことがあったが乗り越えてきた。逆に充実していたし、その気になれば出来るんだという自信もついた。

ちょうど平成19年の年明け頃から「おかやま適塾」の話が具体化して走り出した。3月13日開塾にむけて強引と思えるほど頑張ったように思う。

うんざりしてどうしようかと弱音を吐いたときに一緒に応援してくれていた人に「まだ始まったばかりじゃあないですか、これからですよ」と励まされて、なんとか乗り切った。最初の頃を担当してくれた人には感謝する。いわゆる井戸を掘った人であるから。

最近、スムーズに日程調整だけすれば話して下さる人は確保できる状況になった。ありがたいことです。むしろ「なんで私に話をせよ、と言わないのか」と思われている人もいるのではと思う。それとなくサインを出してくれる人もいますので、こちらが察知する能力・気配りが必要なようです。おかげで各分野から偏ることなく講師をお願いできている。

また、山陽新聞社さんをはじめマスコミの方々が報道して下さりありがたい。山陽新聞社がやっていたものと思いこんでいる人もいます。ケーブルテレビ（オニビジョン等）で放映しているので、数万人の人が茶の間などでみてくれていることはありがたい。

「さん太ホール」で聞く方が臨場感がありますが、夜が遅くなることや、1,000円いること、乗り物で出かけなければならないなど足を運ぶのは大変。だから、炬燵の中でビールを飲みながら観ている方がらくちんということです。オニ

ビジョンとは共同で新聞広告を出す企画中です。賛同金を出してもらわないと私の道楽ばかりでは出来ませんから。それにしてもひとまず軌道に乗ることが出来たようです。話をして下さる人も多くの人が聞いて下さるということで緊張もするし、みずから振り返って話す内容を考えてくれています。

岡山の活性化が主たる目的で始めています。岡山に活を入れるために辻説法を志してみたいのです。県外からの著名人はお願いしないのが原則です。岡山の人の話は聞き飽きたのでいいから、テレビに出ている人を呼べという人もいますが、軍資金や会の体裁が整えばそういうことも加味しますが当分の間は地元で活躍されていらっしゃる人がまだまだたくさんいるのです。3年間ぐらいいは大丈夫でしょう。年間22人ですから3年間で66人。リストアップすればかなりおられるようですから、当面方向は変えられません。遠慮される方もいらっしゃいますが、やむを得ないと考えています。無理をせず、地道に進めてゆきますのでご支援をお願いします。倉敷地区にも放映されていますが、ケーブルテレビの入っていない地区は結構ありますのでそのようなお方は是非会場においで下さい。

2. おかあちゃん、もう辞めたい！

会社や役所を退職したい時、あなたならどうする？ 定年間近の人が管理職についていれば月給もいいだろうし責任もあり、会社（役所）への忠誠心も旺盛であろう。にもかかわらず、大量に退職してゆくのが岡山市役所なのである。退職予定者約330人のうち、あと数年を残して定年を前に退職する人が例年は50人程なのに、今年は130人へとアップしているらしい。どういう理由によるのか知らないが、脂ののった実務担当の責任者がこぞって辞められては仕事に差し支えるということになるだろう。議会对策や市民などの大きな声にビビったりでもう体がもたないというのが本心。よほどタフな精神の持ち主でも、毎日おかあちゃんから小言を言わ

れたら人生が嫌になるのと同じで、役所に行けばトップから市民に至るまで色々な雑音が入ってくるならばもう逃げ出したくなる。部下の気持ちが理解できない鈍感な上層部の人達の発言や行動にも問題があるのではないか。月給をもらって生活をしているだけでは、つまらないし悲しいことだ。やはり楽しく仕事をしたいものです。

3. 人生でもっとも充実した時か？

私は、若い頃は学問はしたが仕事を思い切りしたという満足感がない。

しかるに、60才を越えた頃から結構多忙になってきた。いわゆる、本業の仕事も多いのだがその他のボランティア的な仕事も多くなりかなり充実した日々を過ごしている。嫌だと思ったことは滅多にない。時にはため息がでることもあるが、前進あるのみで乗り切ってきている。

生きるためにはお金を稼がなければならないが、義務的にやるのはつまらないだろう。やはり自分のやる事が少しでも社会のお役に立つこと、また皆さんに喜んでもらえることが重要でみずからやり甲斐が認められれば意外と疲れは残らないものだ。肉体的な疲れは、体を休めば取れるが、精神的なストレスは根本的な治療と根絶がいる。ただ、ある程度のストレスの負荷は、ある方がよい場合もあるから全くないのも良くないだろう。

4. 働くことは悪か

どうも日本の現行の社会保障制度の考え方は、高齢者であってもお金のあるものからは取るという方針。また、お金のあるものには、保障しないという考え。一面の真理はあるから全部間違っているとは言わない。しかし、定年退職者（60才以上）が働く場合、一定の月給があれば年金を減らすという考え、また、70才までは所得があれば厚生年金等を支払うことになっている。これは基本的に問題があると考ええる。所得があれば年金を減らすか支給しないということになれば働くよりはブラブラしている方が得、というナマケ者が生まれる素地があるのである。年金は拠出型であるから掛金で積み立ててきているから一定の年齢になれば所得があろうがなかろうが支給すべきである。「65才以上

のお方も働いて下さい」と、政府の白書が訴えているが働くことが悪だという考えを変えない限り人間は易きに流れる。

会社の社長とか会長とかトップになった人は月給が多く、蓄えが多いからあまり年金を気にしないのだろうが、普通の人が定年後も働くことを考えた場合は年金は入る、かつ、月給も入れば大いに勤労意欲も湧く。総合課税すれば所得に対する不公平は生じない。やっかみではないのだ。

とにかく、従来の考え方を改めない限り、高齢者の労働力確保は難しいのではないか。すなわち「働くことは善」であるという命題を掲げることだ。少子高齢化の社会に対応するための理念をしっかりとつべきなのである。200兆円の蓄えがあるのだから。

5. 中国語をかじって思うこと

「60の手習い」ではないが、縁あって中国語を少しかじっている。中国気は「声調」という4つのイントネーションがある。それによって言葉の意味が異なる。中国語の文法や言葉のいいまわしは、日本語より難しくないようだ。耳が慣れ親しまないと聞き分けることが難しい。日本語は日本人の口の型にもよるのだろうが、比較的発音は単純だと思う。その反面、ひとつのことでいろいろな言い回しがあるからその点が外国人には難しいらしい。

ひとくちに言えば、日本語は口をあまり動かさなくても会話が出来るようになっている。要するに、舌の回転がよくなくてもいいらしい。中国語のみならず、ロシア語やフランス語は発音の表現（発声）が複雑で日本人には難しい。

ただ、語学は子供の時になじむのが大切である。一番言葉を覚える小さい時に学べば日本人でも外国語を話すことがさほど難しくなく出来る。要は、生活環境なのである。大人になって学ぶ（話す）ことはかなり難しいのである。読み書きは出来なくても話すことは出来るのである。教育を受けていなくても新聞は読めるし、仲間との会話に事欠かないのである。

日本人は、口の動かし方や舌の使い方をもっと頻繁に出来るように訓練すれば、うまく話せるようになるかもしれない。

「ジャパニーズ英語」で国際会議において演説

する偉いさんがいるが、日本語で話して通訳に通訳させた方がよいと思う。小さい頃からの素養がないと発音は難しいだろうから。

日本語のよさは、漢字、カタカナ、ひらがななど書く方は楽し話し言葉は難しい発音も少ないからいいことだと思う。先祖の方が編み出した伝統的な言葉だから。そして、色々な表現で潤いをもたせているのである。

この度、大連出身の美人の中国人と出会って、外国語と日本語を比較する機会があったので、せいぜい少しは話せるようになりたいと考えているが無理だろう。なぜなら、外国語に対するセンスがないからだ。とはいうものの少しは努力してみる価値はありそうだ。言葉を通じて相手国を若干でも知ることが出来るのも楽しみであるからです。

6. 授業料を支払う

何事も人にもものを教わり教えてもらう時には、対価（授業料など）を支払うのが世の中である。ボランティアでやる場合ももちろんあるが、長続きするためには何らかの報酬が必要となるだろう。ところが、聞くのはタダと思っている人も多い。ギブアンドテイクで平素から親しい人とか仕事のつながりがある場合は、そういうことも美德であり当然の場合もあることは理解できる。

教育にはお金がかかる。小・中学校は義務教育だが、国が国家予算の内かなりの部分を投資している。また、高校・大学に至るまで補助金を投入している。現実の社会においては、資格を取るためにお金を支払って資格取得に努力しているのが当たり前である。徒弟制度（ギルド）の社会では、一人前になる年季明けまでは殆ど賃金を支払わずタダ働きをして教えてもらうのが社会の構造であった。

何事も技術を磨き知識を得るには、授業料と時間をかけているのが現実である。とにかく、自分にお金をかけてレベルアップする必要があるだろう。

株式でもしかり。損をしてもそこから学ぶべきであり、同じ失敗は二度としないぞという哲学をもつことが大切だろう。さらに、男女関係でも投資することにより、女性を知り男性を知ることになり、自分を大きく飛躍させ成長させ

ることもできるはずである。もし、そうでなければ単なる遊びということになる。時間とお金ももったいない。

いつまでも、授業料ばかり支払って元が取れませんから、一生の間ずっと受験では困りますが、挑戦する世界はいくらでもありますから、次のステップすなわち仕事とつながりのない趣味などに授業料を支払って自分のものにしてはどうではありませんか。一生そのくりかえしですよ～。

7. 税金を大切に使う

日本国民は、納税の義務があり、国税をはじめ各種の税金を支払わなければならない、もし支払わない場合は、強制執行されることは頭の中ではわかっている。お金を支払わないで裁判所により競売になる例はよく耳にするし、件数も多い。借りた金を返さないのだからやむを得ないともいえる。

税金は、儲けがあるから課税されるのはわかっているが、儲けは使ってしまった納める能力がない場合どうなるかである。不動産があれば差押えて強制的に売却して換金されて納付するのである。

私は、国税庁から鑑定を依頼され現地に赴いた。すでに、所有者は観念した模様で住んでいなかったが、自分がそういう立場になれば辛いだろうと思った。どういう理由にせよ、税金を滞納しているから、所有している不動産を強制的に売却して補填するということだ。そんな具合に苦労して集めたお金を湯水のごとく使う人もいるのではないか。公務員あるいは議員が色々な名目をつけて無駄にお金を使っているのではないかと危惧する。取り立てる現場を見ている限り税金は大切な汗と血の結晶であるから有効に使うようにして欲しいものである。予算が余っても他へ流用したりすることのないようにして欲しい。また公務員の勤務も月給に応じた質の高い内容の働きをして欲しいものだ。一般企業の場合でも、稼ぎがあれば税金を納めるのは当然と思って、収益の中から優先的に支払うように心がけているのが普通の人である。とにかく、税金は大切に有効活用して欲しいと思う。当たり前の当然のことだが、私は鑑定業務を通じてあらためてつくづくそのように感じ

た。

8. なぜ指呼や復唱をしないのか

安全・安心の交通機関に携わる人達の最低限のルールは、自分達の行動・動作が正確かどうか見落としは無いかなどを確認するところにある。ところが、この基本となる約束事が十分に行われず、おざなりかあるいはマンネリかタルミかわからぬが、大事故につながる場合が多く人災によることが多いのだ。

少し前、岡山の観光バス3台が関西地方のトンネル内で玉突き事故を起こし運転手は業務上過失致傷で逮捕された。確かに、車間距離不足が原因であることに違いないがベテランのドライバーが逮捕されるなど本人にとっても情けない。

JR、私鉄、地下鉄などでは、指呼がかなり徹底しているようだ。確認を声を出して行うということだ。

私は、旅行などで家を空けるときは電源などを落とすことにしている。その際、確認の意味で「ヨッシ」と声を出して心の整理？をしてい

る。そうすれば、消し忘れたかどうかと旅行中不安にかられることもないというのが経験から生み出された結論である。

ところが、日本航空機が雪の新千歳空港で管制官とのやりとりが不十分のまま他の飛行機がいるにもかかわらず、滑走路から飛び立つ行為をするという困った事件があった。どうも指示を復唱しなかったとか見習いに任せたとかという基本的な動作に重大な問題がありそうだ。

かつて、日本航空は全日空を尻目に我が世の春を謳歌していたが、昨今は全日空が優位にたっているのではないかと思われる。組合がやたら多いのと赤字体質のため安全への保安行為減が、頻繁に問題を起こしていることと因果関係にあるのではないか。客離れがさらに進むように思う。命がけで日本航空に乗るというのはかなわないから。他人事ではない。それぞれの職場や仕事でぬかりはないか、他人から批判されるようなことはないか、みずから反省の余地がある。「他人のふり見て我が身を直せ」ということでしょう。

H20.2.18 馬場勉 記

